

2017

事業年報

公益財団法人 北海道対がん協会

目 次

I はじめに	1
II 管理部門	
1 普及啓発・受診勧奨	
1-1 普及啓発事業の目的	2
1-2 がん征圧運動	2
1-3 研修会、健康教育の実施	4
1-4 普及啓発資料の作成・配布、及び教育機材の貸し出し	6
1-5 北海道・市町村との連携	9
1-6 企業、地区組織、患者団体・ボランティア団体との連携	14
1-7 賛助会実績	17
1-8 受診勧奨	17
2 がん相談	
2-1 がん相談事業実績	18
3 精度管理体制	
3-1 精度管理体制	20
3-2 専門職の研鑽	20
3-3 施設認定	25
4 事後処理の流れ	26
5 事後管理の流れ	27
6 安全管理体制	28
7 検診車の保有状況	29
8 施設整備に対する助成金の受け入れ状況	30
9 研究等事業	31
III 検診部門	
1 検診受診者数	32
2 各がん検診の成績	33
3 検診センターの精密検査成績	89
【参考資料】	
1 がん対策の背景	98
2 市町村が実施するがん検診における当協会の受託状況について	103
3 北海道対がん協会	105
3-1 概要	105
3-2 目的及び事業	106
3-3 検診センター及び細胞診センターの機能	107
3-4 機構図	109
3-5 役員等名簿	110
3-6 沿革概要	112
4 個人情報保護方針	115
5 検診センターにおける各種検診日	116
6 がん対策基金のご案内	117
7 がん征圧賛助会へのご入会案内	121

【利用上の注意】

『2017事業年報』は、公益財団法人北海道対がん協会の平成29年度の事業を集録したものです。

なお、参考資料の一部で、年度が異なるものがあります。

Ⅱ 管理部門 … 平成29年度

Ⅲ 検診部門 … 平成29年度

【参考資料】

1 がん対策の背景 … 平成29年

2 市町村が実施する～ … 平成28年度

3～7 … 平成30年10月1日現在

(別途記載のないもの)

また、Ⅲ 検診部門の 2 平成29年度一次検診の成績においては事後管理（要精検者への受診勧奨）を受託していない北海道職員健診について受診者数から除いています。（P 32の 1 平成29年度検診受診者数には含まれます。）

I は じ め に

北海道対がん協会はわが国で最初の対がん協会で、昭和4年（1929）に創設以来、がんや生活習慣病の予防、治療及び研究事業を柱に活動を継続し、道民の健康の保持増進に寄与することを目的としてまいりました。皆様には、日頃より当協会のがん検診、健康診査に深いご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

北海道におけるがんの年齢調整死亡率は、全国平均を大きく上回り、直近5年間では、いずれも全国上位で推移しています。一方で、がん検診の受診率は全国平均を下回っており、残念なことに、特定健診の受診率についても同様の状況です。

当協会としましては、道民の健康を守るという使命を遂行するために、がん検診や特定健診の受診率をあげるよう日々努力しておりますが、同時に、精度の高い検診を実施し、より早期に、よりの確に疾病を発見できるよう努めることが重要な責務と考えています。

このたび、当協会の平成29年度の事業内容及び検診成績を集計、記録、解析した「2017事業年報」を作成いたしました。

事業推進にあたり、ご協力頂きました北海道、道内各自治体、道内3医育大学、医師会、企業、団体の皆様に感謝申し上げます。またこのデータをご高覧いただき、地域住民の皆様の保健予防や健康増進に役立てていただくと共に、御意見いただければ幸甚でございます。

私達北海道対がん協会職員一同は、今後とも全力をあげて、検（健）診の精度向上、受診率の向上、受診後の受診者の皆様の福祉の増進につとめ、道民のがんや生活習慣病死亡を更に減少させる決意でおります。皆様の一層のご指導、ご支援を心よりお願い申し上げます。

令和元年6月

公益財団法人 北海道対がん協会

会長 長 瀬 清



基本理念

- がん及び生活習慣病等の予防、治療及び研究の事業を通じて疾病の予防と健康寿命の延伸に寄与し、地域社会の健全な発展に貢献します。
- 働く人々の健康を守り、労働衛生の向上に寄与します。

基本方針

- 普及啓発、検（健）診及び調査研究に取り組み、道民一人ひとりの疾病の予防と健康づくりを支援します。
- 最新の知識と常に高い技術の習得に努め、道民の皆様から信頼・安心・満足いただける検（健）診機関として、精度の高いサービスを提供します。
- 良質な労働衛生サービスを提供して、働く人々が健康で安心して働ける環境づくりを支援します。
- 健康づくりのプロとして仕事に誇りを持ち、活力にあふれる職場環境づくりを目指します。
- 関連する諸法令を遵守して業務を遂行し、社会的責任を果たします。
- 情報セキュリティ対策並びにリスクマネジメントの適切な実施により、お客様の個人情報の保護を行います。

Ⅱ 管理部門

1 普及啓発・受診勧奨

1-1 普及啓発事業の目的

公益財団法人北海道対がん協会では、広く道民にがんに関する正しい知識を普及し、併せてがん検診事業の推進を図ることを目的として、がん予防道民大会をはじめとした普及啓発事業に力をいれています。

また、最近では企業のCSR活動と連携し、新たな切り口で、がん早期発見のための検診の重要性を訴えています。

1-2 がん征圧運動

公益財団法人日本対がん協会が、9月に展開する「がん征圧月間」の全国がん征圧運動に参加するとともに、北海道が9・10月に展開する「北海道がん征圧・がん検診受診促進月間」と連携し、様々な運動を実施しています。

(1) 平成29年度がん征圧月間行事

開催日	開催場所	事業名	内容	参加者数等
9月初旬	道内医療機関、市町村、関係機関	がん征圧月間ポスターの配布	日本対がん協会からがん征圧月間ポスターを購入し、北海道医師会と連携して道内の関係機関へ配布	4,550枚
9／1(金)～ 9／29(金)	札幌市保健所・各区役所・保健センター、旭川市、釧路市ほか	がん征圧懸垂幕の掲示	がん早期発見の大切さを訴える懸垂幕・看板を、公的機関に掲示依頼	11機関
9／6(水)～ 7(木)	北海道庁1階 道民ホール	がん予防普及パネル展	パネル・ポスター・パンフレットの配布、乳がん触知モデル体験など	延175名
9／12(火)	北24条駅前	街頭PR (街頭ティッシュ配り)	札幌市北区健康をまもるつどいと連携し、街頭啓発を実施	2,200個
9／21(木)	朝日新聞	がん征圧月間特集	朝日新聞朝刊に2面に渡って特集記事を掲載	—
9／23(土)	イオンモール 旭川西店	がん予防パネル展	パネル、乳がん触知モデル、内視鏡を展示、パンフレット配布	延314名

■第49回がん予防道民大会

がん予防道民大会は、「がん征圧・がん検診受診促進月間」の中心行事として、がんに関する正しい知識の普及を目的に、北海道、北海道健康づくり財団及び開催地の市町村などと共催し、毎年、開催しています。

第49回となる今大会は、「若年層からの予防に対する正しい知識とがん検診の重要性についての普及啓発を図る」を開催テーマとし、10月27日（金）、恵庭市民会館で次のとおり開催し、地元高校生や全道各地域から約800名の参加を得て、盛会裡に終了しました。

10月27日（金） 12：45～15：50 恵庭市民会館大ホール 約800名参加	【第49回がん予防道民大会】 大会の主な行事 ○がん予防功労者表彰 受賞団体 美唄市・浦臼町・美瑛町 ○優良がん対策推進企業表彰 受賞団体 アフラック札幌総合支社・第一生命保険北海道営業局 ○特別講演 「肺がんが怖くなくなる日を目指して」 演者 KKR札幌医療センター 院長 磯部 宏 氏 ○健康講話 「神様に生かされた理由（わけ）」 演者 NPO法人日本がん・生殖医療学会 理事 阿南 理恵 氏 ○ミニ・ライブ 演者 FOLKSボーカリスト 岩井 フミト 氏
--	--



(2) リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017 in 室蘭

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017 とまこまい

8月26日（土）～27日（日）、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017 in 室蘭」にチームTAIGANとして29名の職員が参加し、がん検診の啓発とタスキを繋ぎながら寄附を募りました。加えて、ヘリカルCT検診車を派遣して、チャリティー検診（低線量CT肺がん検診・内臓脂肪測定）も実施しました。

また、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017 とまこまい」（7月22日（土）～23日（日））にも、ヘリカルCT検診車を派遣し、チャリティー検診を行いました。



(3) 禁煙運動への参加

北海道たばこ対策連絡協議会の構成員として、5月31日の世界禁煙デーの啓発と、禁煙パレードを中心とする諸行事に参加協力しました。

1-3 研修会、健康教育の実施

企業、学校、関係団体等からの依頼に応じて、随時講師を派遣し、健康教育を実施しました。

開催日	主 催	研修会名	内 容	従 事 者	参加者数
4/28	札幌市北区健康をまもるつどい	札幌市北区健康をまもるつどい 平成28年度研修報告会	「あなたに役立つがんのお話」	（札幌） 巡回検診課 松原 由布子	70名
5/25	幌北第八町内会女性部	幌北第八町内会、あやめ会に係る講演会	「知って納得、がん検診」	（札幌） 巡回検診課 高島 梓	15名
6/4	北海道建設国民健康保険組合札幌支部	健康づくり教室	「あなたに役立つがんのお話」	（札幌） 巡回検診課 瀧澤 莉代	30名
6/16	北海道市町村職員共済組合	平成29年度レディース健康セミナー（第1回）	「乳がんと子宮がんについて」	（札幌） 企画課 大西 彩香	45名
7/8	苫小牧放射線技師会	苫小牧放射線技師会平成29年度技術セミナー	「乳がん診療における各モダリティのガイドラインの意義」	（札幌） 放射線科 瀬野尾 勤子	47名
7/31	篠路駅前団地長寿会	篠路駅前団地長寿会医療講座	「あなたに役立つがんのお話し」	会長 長瀬 清	25名
8/5	ピンクリボン江別	ピンクリボン江別総会・市民学習会	「あらためて、知ろう、考えよう、乳がんについて」	（札幌） 企画課 熊林 弘美	25名

8 / 6	日本臨床細胞学会	第42回細胞診断学セミナー	「良性疾患・膣外陰腫瘍」	細胞診センター 所長 藤田 博正	200名
8 / 10	北海道市町村職員共済組合	平成29年度レディース健康セミナー（第2回）	「乳がんと子宮がんについて」	（札幌） 企画課 大西 彩香	45名
9 / 3	北海道薬剤師会	健康サポート薬局研修会（第1回）	「北海道対がん協会における普及啓発事業及び検診事業について」	（札幌） 企画課 大西 彩香	80名
9 / 6	岩見沢ヤクルト	岩見沢ヤクルト健康セミナー（第1回）	「あなたに役立つがんのお話」	（札幌） 企画課 大西 彩香	150名
9 / 8	岩見沢ヤクルト	岩見沢ヤクルト健康セミナー（第2回）	「あなたに役立つがんのお話」	（札幌） 巡回検診課 瀧澤 莉代	150名
9 / 13	岩見沢ヤクルト	岩見沢ヤクルト健康セミナー（第3回）	「あなたに役立つがんのお話」	（札幌） 巡回検診課 瀧澤 莉代	150名
9 / 27	札幌市南区健康まつり実行委員会	健康まつり2017 健康講話	「がんを知る ～予防と早期発見のために～」	（札幌） 所長 河原崎 暢	40名
10 / 8	北海道建設国民健康保険組合札幌支部	健康づくり教室	「あなたに役立つがんのお話」	（札幌） 巡回検診課 瀧澤 莉代	40名
11 / 6	北海道静内高校	平成29年度 がん教育講話	「静内高校の皆さんに知ってほしい がんとがん検診について」	（札幌） 企画課 大西 彩香	545名
11 / 8	蘭越町	平成29年度「温泉健康講座」	「毎日を元気に過ごすために」	会長 長瀬 清	70名
11 / 22	根室振興局管内市町保健活動連絡協議会	根室振興局管内市町保健活動連絡協議会研修会	「子宮がん検診の動向及び精度管理について」	（札幌） 細胞診センター 所長 藤田 博正	30名
11 / 24	札幌市厚別区青葉児童会館	子育て中の女性のための乳がん・子宮がんセミナー	「子育て中の女性のための乳がん・子宮がんセミナー」	会長 長瀬 清 （札幌） 企画課 熊林 弘美	15名
11 / 25	北海道放射線技師会 北海道放射線技術学会	ふらりとマンモ会 in 胆振	「ポジショニング実習講師」	（旭川） 放射線科 瀬野尾 勤子	23名
12 / 7	旭川市シニア大学	旭川市シニア大学・大学院講座	「がん検診のすすめ」	（旭川） 検診第2課 前井 絵理	49名
1 / 18	酪農学園大学公衆栄養学研究室	酪農学園大学公衆栄養学研究室 3年生講義	「特定健康診査・特定保健指導について」	（札幌） 巡回検診課 浅川 聡子	40名
1 / 18	2018ミス・ユニバース・ジャパン北海道大会事務局	2018ミス・ユニバース・ジャパン北海道大会	「子宮頸がん検診の重要性について」	（札幌） 巡回検診課 能田 真結	13名

1 / 27 ～28	札幌放射線技師会	第4回マンモグラフィ撮影技術講習会	「マンモグラフィ撮影」	(旭川) 放射線科 瀬野尾 勤子	48名
2 / 4	北海道薬剤師会	健康サポート薬局研修会 (第2回)	北海道対がん協会における普及 啓発事業及び検診事業について	(札幌) 企画課 大西 彩香	80名
2 / 28	札幌市、札幌市北区健康 をまもるつどい	地域健康教室	「がんを知る～がんの現状と 予防に関して～」	(札幌) 所長 河原崎 暢	60名
3 / 27	歌志内市	平成29年度 第2回健康づく り推進委員研修会	「がん検診の必要性について」	(札幌) 巡回検診課 吉川 泰代	20名

1-4 普及啓発資料の作成・配布、及び教育機材の貸し出し

(1) 普及啓発資料の作成・購入

	資 料 名	部 数
①	2016がん対策の概況	800冊
②	機関誌「しらかば」 年3回発行	各2,300部
③	がん検診（日本対がん協会作成リーフレット）	2,800枚
④	乳がんのセルフチェック（日本対がん協会作成リーフレット）	4,800枚
⑤	検診のご案内	3,000部
⑥	がん征圧月間ポスター（日本対がん協会作成ポスター）	4,550枚

(2) 教育機材の貸し出し

乳がんのしこりを体験できる「乳がん触知モデル（精密型）」のほか、乳房疾患模型、肺がん模型、喫煙タール模型、腸疾患模型の各種疾患模型や、がん予防普及パネルなどの教育機材を無償で貸出しています。

平成29年度はピンクリボン活動団体や各市町村に貸出し、イベントや検（健）診時に活用していただきました。

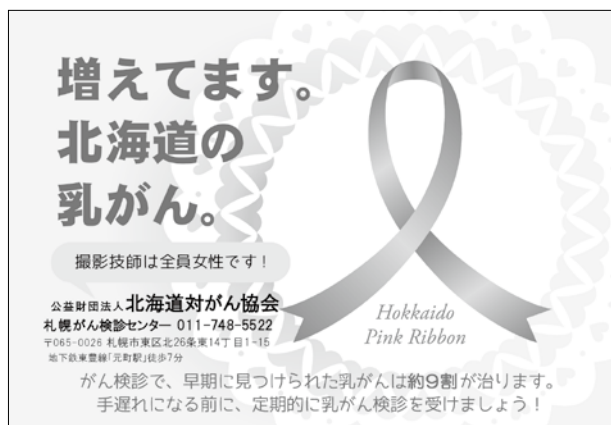
なお、市町村や企業、関係団体で行う健康イベント、研修会等で活用をご希望の際は、お問い合わせください。（担当：経営管理部企画課）

品 名	模 型 説 明	
乳がん触知モデル （精密型）	人体に近似した素材ですので、乳房自己診断技術の習得・実践に理想的なものになっています。片方の乳房には、一般的に乳がんの発生しやすい部分にいくつかのしこりを設けています。もう片方の乳房は比較しやすいよう正常なものにしてあります。 サイズ：37×24×17cm	
乳房疾患模型	断面にカットされた模型により、一般的な乳房疾患（腺癌、のう胞、線維線種）や、乳房の組織構造も学ぶことができます。 サイズ：16.5×11×7.5cm	
肺がん模型	健康な肺と、肺気腫・癌に侵された肺を比較しながら、色や形だけでなく、ポンプで空気を送り、膨らみ方の違いも比較することができます。 サイズ：55×43×30cm	 
喫煙タール模型	1日10本のたばこを吸う喫煙者の肺が、1年間の間に肺に取り込む発がん性物質、タール液がボトルに密封されています。 サイズ：9×9×13.5cm	
腸疾患模型	結腸と直腸の疾患（憩室、ポリープ、痔核、慢性炎症性疾患）と、がんは様々なステージや良性、悪性の変化を見ることができます。 サイズ：18.0×21.0×27cm	

(3) 普及啓発資材の作成・配布

がん検診の受診率向上を目的に、受診を呼びかける普及啓発ポケットティッシュを作成し、街頭で配布したほか、市町村や地区組織にも提供し、啓発活動に役立てていただきました。

なお、配布状況はP15 (2)地区組織との連携【街頭啓発】を参照してください。



普及啓発ポケットティッシュ

1-5 北海道・市町村との連携

(1) がん対策推進会議の実施

次年度の検（健）診事業計画を円滑に推進するため、北海道と共催で、保健所・市町村・事業所関係者を対象とした会議を毎年開催しています。

平成29年度はより多くの方に参加いただくため、道内4カ所で開催し、計102団体から133名の方々の出席をいただきました。

【報告事項】※4会場共通 1 北海道からの報告 ・北海道のがん検診について 2 北海道対がん協会からの報告 ・平成30年度検診の実施計画について ・がん検診の精度管理について ・乳がんのエコー検診について ・胃がん検診について ・子宮頸がんの液状化検体法の導入と自己採取HPV検査について	
10月16日（月） 13：00～16：00 ホテルポールスター札幌	【講演】 「消化器のがんについて」 （公財）北海道対がん協会札幌がん検診センター 所長 河原崎 暢
10月18日（水） 13：00～16：10 旭川大雪クリスタルホール	【講演】 「子宮頸がん検診における細胞診とHPV検査」 （公財）北海道対がん協会旭川がん検診センター 婦人科部長 笠茂 光範 【行政の取組紹介】 旭川市の事例 ・HPV検査の導入について 旭川市保健所 次長 向井 泰子 氏
10月23日（月） 13：00～16：00 帯広市保健福祉センター	【講演】 「内科のがんについて」 （公財）北海道対がん協会釧路がん検診センター 所長 松浦 邦彦
10月24日（火） 13：00～16：00 釧路がん検診センター	

(2) 各がん検診センター所在市とのがん検診打合せ会議

がん検診を円滑かつ効果的に実施するため、各センターが所在する札幌市、旭川市、釧路市と打合せ会議を開催し、協議しました。

(3) 健康に関するイベントへの出席

自治体等が実施する健康に関するイベントなどに出席し、がんに関する普及啓発を実施しました。

開催日	イベント名	開催地	参加人数	内 容
4 / 9	LOVE49街頭活動	札幌市	子宮頸がん資料 1,500部配布	子宮の日（4月9日）の細胞検査士による全国街頭啓発活動に参加
6 / 10	旭川市健康まつり	旭川市	2,700名	パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布、特定健診・肺がん検診実施
9 / 2	検査deフェスティバル	札幌市	1,900名	・札幌臨床検査技師会・北海道細胞検査士会共催の臨床検査に関する催しに参加 子宮がん検診啓発を行う ・子宮頸がんに関するアンケート調査
9 / 3	帯広市健康まつり	帯広市	1,221名	胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、パネル展、パンフ配布
9 / 3	釧路町健康福祉フェスティバル	釧路町	650名	骨検診、パンフ配布
7 / 1	百合が原音楽祭	百合が原公園	200名	パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布、ティッシュ配布
9 / 9	手稲区健康っていいねフェア	手稲区民センター	60名	胃がん検診、大腸がん検診、パネル展、乳がん触知モデル体験、疾患モデル、パンフ配布
9 / 9	清田区健康&介護予防フェア	清田区役所	100名	パネル展、乳がん触知モデル体験、疾患モデル、パンフ配布
9 / 18	けんこうフェスタ2017inちゅうおう	中央区民センター	30名	パネル展、乳がん触知モデル体験
9 / 27	みんなでみに区る健康まつり	南区民センター	120名	健康講話、パネル展、乳がん触知モデル体験、疾患モデル、パンフ配布
9/30	あつべつ健康・福祉フェスタ	厚別保健センター	180名	パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布
10 / 1	いわみざわ健康まつり	岩見沢市	600名	パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布
10 / 14	中沼小学校わいわいフェスタ	中沼小学校	19名	パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布、冠バッチ、ティッシュ配布
10 / 15	釧路市健康まつり	釧路市	830名	胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、CT検診、パネル展、乳がん触診モデル、パンフ配布
11 / 20	あなたの街でけんしん&健康チェック会～まちけんin定山溪	定山溪グランドホテル瑞苑	40名	胃がん検診、大腸がん検診、パネル展、乳がん触知モデル体験、疾患モデル、パンフ配布

12／1	白石すこやかフェスタ	白石区民センター	206名	ミニ講演、顕微鏡による細胞の観察体験、パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布
3／27	来て・診て・創ろう 元気なまちin屯田	イトーヨーカドー屯田店	100名	パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布、ティッシュ配布



(4) がん予防学級の開催

がんに関する正しい知識の普及を目的として、昭和46年から開催地の市町村の共催や協力を得てがん予防学級を開催しています。

平成29年度は、札幌・旭川の2会場で下記のとおり実施しました。

【札幌がん検診センター】※札幌市との共催

日 時：10月4日（水）

場 所：（公財）北海道対がん協会札幌がん検診センター

参加者：31名

講習1 「胃と大腸のがんについて」

（公財）北海道対がん協会札幌がん検診センター 所長 河原崎 暢

講習2 「健康寿命をのばそう」～ロコモ体操～

（公財）北海道対がん協会札幌がん検診センター

検査科集検係長 市川 浩巳

講演3 「がんを体験して」～がんの体験講話

NPO法人パンキャンジャパン北海道アフィリエイト

支部長 松本 眞由美 氏

【旭川がん検診センター】※旭川市との共催

日 時：9月1日（金）

場 所：イオンホール（イオンモール旭川駅前4階）

参加者：98名

講習1 「がんで命を奪われないために」

（公財）北海道対がん協会 会長 長瀬 清

講習2 「がんで悲しむ人をなくしたい」

ピンクリボン・ディスカバ 代表 柴田 直美 氏



(5) 北海道がん対策基金

「がんに負けない社会」の実現を目的として、平成27年2月9日に北海道が中心となり道内企業の協力のもと設立した「北海道がん対策基金」の事務局を担い、基金の管理・運営を行っています。基金に関する詳細は117～120Pを参照してください。

(6) 札幌市がん対策普及啓発キャンペーン実行委員会

平成29年3月に策定した「札幌市がん対策推進プラン」に基づき設置された「札幌市がん対策普及啓発キャンペーン実行委員会」の事務局を担い、がんに関する正しい知識の普及啓発のために、市民・企業等に対し、検診受診を呼び掛けたほか、講演会の開催等を行いました。

1-6 企業、地区組織、患者団体・ボランティア団体との連携

(1) 企業との連携

ピンクリボン活動などを通じて、企業のCSR活動と連携し、一般市民向けの普及啓発イベントを実施しました。また、企業職員向けに健康教育を実施し、がんに対する意識の向上を図りました。

【北海道コカ・コーラボトリング株式会社】

平成22年5月に北海道コカ・コーラボトリング㈱と締結した「ピンクリボン活動推進協定」に基づき、道内でピンクリボン活動支援自動販売機の設置を推進し、これを原資に、乳がんから女性を守るための啓発活動を『リボンの願い事業』と称し、様々な事業を行っています。

①検診ツアーの実施

11月14日（火）にコカ・コーラ工場見学、乳がんに関する正しい知識や検診について学ぶミニ講話と、乳がん検診（無料）を受診する「コカ・コーラ工場見学×無料乳がん検診バスツアー」を開催しました。第2回となった今回は参加人数を2倍に増やし41名の参加があり、高評価を得ることができました。

②啓発資材の購入・作製

乳がん検診の大切さを呼びかける啓発媒体として、ふせんメモや北海道オリジナルの「ひぐまピンクリボンバッヂ」を作製しました。ふせんメモの内側には「増えてます 北海道の乳がん。」というメッセージとともに、北海道内の乳がん検診受診率が全国平均よりも低く、乳がんによる死亡率が全国ワースト10位（2016年度）であることや、メモ用紙1枚1枚にも「定期的に受けようがん検診」と掲載し、メモを受け取った方々へ啓発が広がることを期待しています。



ふせん表紙



ふせん



ひぐまピンクリボンバッヂ

③寄附金贈呈式

平成30年2月28日（水）、「2017年度ピンクリボン活動支援自動販売機寄付金贈呈式」を行い、北海道コカ・コーラボトリング株式会社社長 佐々木様より当協会 長瀬会長へ、平成29年寄付金2,707,962円の目録が贈られました。当協会からは設置いただいた事業者の皆様へ感謝状を贈呈しました。

平成22年からこれまでの寄付金累計額は1千万円を超え、約1,199万円となりました。

贈呈式終了後は、大通ビッセ地下1階でふせんメモを500個配布し、街頭啓発を行いました。



【その他のピンクリボン自動販売機設置協力企業】（自販機を通してがん征圧のための寄附金を頂いています。）

- ・サントリービバレッジサービス株式会社
- ・株式会社アベックス
- ・エスシー・アベックス株式会社

【企業職員向けの健康教育】

- ・北海道薬剤師会（2回）……………約160名
- ・北海道市町村職員共済組合……………約 90名
- ・岩見沢ヤクルト販売株式会社……………約450名



(2) 地区組織との連携

健康推進活動を行っている組織団体と連携し、講習会の開催や各種イベントでの街頭啓発を実施しました。

【第50回北海道家族の健康をまもる講習会】

北海道健康をまもる地域団体連合会、北海道食生活改善推進員協議会、公益財団法人北海道結核予防会と共催で、北海道の後援のもと、平成29年7月7日～8日の2日間、美瑛町国立大雪青少年交流の家において、全道から参加した63名の受講者に対し、がんや結核・栄養等に関する講習会を実施しました。



【街頭啓発】

北海道健康をまもる地域団体連合会、札幌市北区健康をまもるつどいと連携し、各団体のイベント時に当協会の普及啓発ティッシュを延2,300個、配布していただきました。

- ・ 5／13 第17回新川さくらフェスティバル音楽祭
- ・ 9／12 2017年がん征圧月間 街頭PR
- ・ 10／27 第48回がん予防道民大会
- ・ 11／ 6 北区女性連絡協議会文化講演会
- ・ 3／ 1 厚生労働省提案女性の健康週間ピンクリボン運動



(3) 患者・ボランティア団体との協力

ピンクリボン活動・子宮頸がん・難治性がん等に関する普及啓発に取り組んでいる市民団体を支援し、団体の協力のもと、がんに関する正しい知識の啓発を行いました。

【シャインキャンペーン】

一般社団法人ピーキャフが主催する子宮頸がん啓発イベントに参加し、パンフレット等を配布、子宮頸がんについての普及啓発を行いました。

【難治性がん啓発キャンペーン】

標記実行委員会が行うがん撲滅チャリティーイベントに参加し、がんについてパネル展と疾患モデル、パンフレットを設置してがん検診の普及啓発を行いました。

・5/27（土） 難治性がん啓発キャンペーン2017

チ・カ・ホ札幌駅前地下広場

【ピンクリボン in SAPPORO】

・2/25ワーキング・サバイバーズ・フォーラム2018～がんと仕事～（ブース出展）

・「田中賢介選手ピンクリボンプロジェクト2017」

田中賢介選手がピンクカラーの野球用具を身に着けていたことから、「ピンク」がご本人のイメージカラーとして定着したことをきっかけに、乳がんの早期発見、早期治療の大切さを伝えるピンクリボン活動に取り組まれることになり、このプロジェクトが2008年からスタートしました。

これまでは、田中選手がアウトをとって検診をプレゼントする企画でしたが、「バッティングでチームの勝利に貢献する」という決意のもと、2016シーズンからはヒット数に応じてがん検診の料金としてご寄附をいただくこととなりました。

田中賢介選手から当協会へ、これまでで約560万円ものご寄附をいただいております。いただいた尊い寄附金は、乳がん検診費用の補助に使われるほか、乳がんや乳がん検診に関する正しい知識の普及啓発活動に役立てております。



1-7 賛助会実績

がん征圧運動を広げるため、賛助会制度を設けております。個人会員（年1口1,000円）、法人会員（年1口10,000円）で、口数に制限はありません。会員の皆様から頂く賛助会費は、主にがんの正しい知識の普及用教材としてパンフレット・リーフレット等を作成し、道民の皆様にごがん予防の資料としてお配りするほか、がんの研究にも一部援助させて頂いております。賛助会に関する詳細は121ページを参照してください。

平成29年度の会員数は個人会員330人、法人会員121件でした。

H29	札幌	旭川	釧路	計
個人	228	65	37	330
法人	63	26	32	121

1-8 受診勧奨

(1) 未受診者への受診勧奨

検診対象年齢でありながら一度も受診していない方への働きかけや、1年未受診者・2年未受診者への働きかけを積極的に勧めるため、新聞折り込みチラシ等約25万枚、未受診者勧奨はがきを約5千3百枚作製し、市町村に提供しました。

(2) 事業所などへの検診勧奨

検診が未実施の小規模事業所に対し積極的に働きかけを行い、がん検診の定着化を勧めました。

(3) 日曜検診の実施

平日受けられない人などを対象に、3センターでがん検診と各種検診（健診）を16日間実施し、延べ2,507人が受診しました。

2 がん相談

2-1 がん相談事業実績

がん電話相談は、昭和59年11月に開設し、専任の相談員（保健師）が、これまでの30年間で延べ9,569件の電話相談に対応しています。平成29年度の相談内容は以下のとおりです。

近年は、メールによる問い合わせも増えてきており、随時対応しています。

①相談者数 ： 60件

②相談者の住所 ： （単位：件）

札幌市内	55
札幌市外	5
北海道外	0

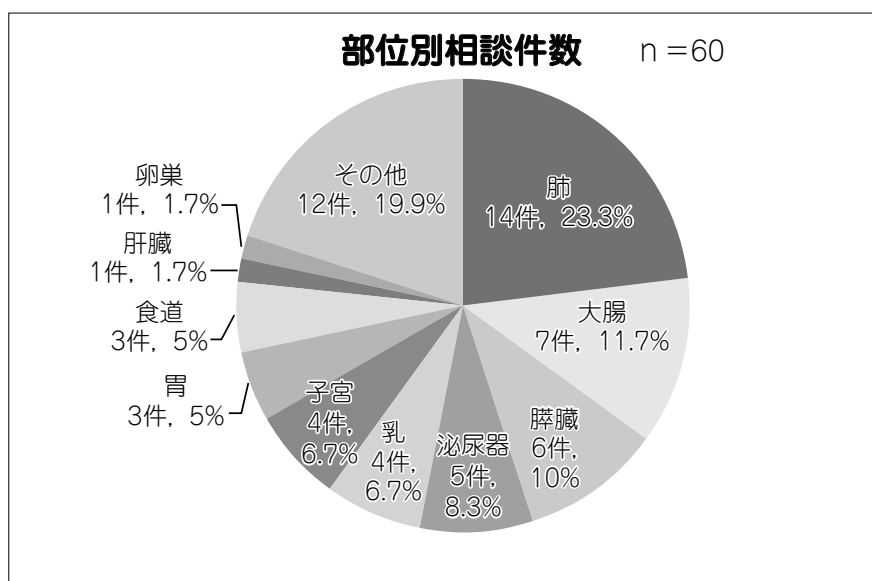
③相談者の属性 ： （単位：件）

本人	46
家族	14

④相談者の年齢・性別 ： （単位：件）

年代	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	不明	総計
男性	0	0	1	4	2	8	0	15
女性	0	1	3	11	13	16	1	45
総計	0	1	4	15	15	24	1	60

⑤ 相談者のがん部位 ：



⑥相談内容（複数の場合は主なものを計上）：

内 容	件数	%
病気・治療内容に関すること	26	43.3
自覚症状あり不安に関すること	5	8.3
日常生活に関すること	2	3.3
医療への不満・不安に関すること	3	5.0
専門病院に関すること	5	8.3
心理的課題に関すること	1	1.7
経済的不安に関すること	1	1.7
その他	14	28.3

「病気・治療内容に関すること」が全体の43.3%と最も多く、例年と同様の傾向です。この中では、医師とのコミュニケーションが円滑にとれておらず、病気や治療のことを確認する電話が目立ちました。また、同様の内容で複数回相談が寄せられたケースがあり、周囲に相談できていない状況がうかがえました。

部位別では、道内で多い膵臓がんに関する問い合わせが上位にきており、関心の高さがうかがえました。また、患者会に関する問い合わせも寄せられました。

3 精度管理体制

3-1 精度管理体制

国が推奨する「がん検診事業評価のためのチェックリスト」にそった精度の高いがん検診を実施するため、業務仕様書を作成し、遵守しています。

3-2 専門職の研鑽

(1) 資格保有状況（常勤職員）

■医師

資 格 名 称	人 数
日本消化器がん検診学会指導医	1
日本消化器内視鏡学会専門医	1
日本消化器内視鏡学会指導医	1
日本消化器病学会専門医	2
日本内科学会認定医	2
日本肝臓学会専門医	1
日本外科学会認定医	1
日本乳がん検診学会認定医	1
NPO法人マンモグラフィ検診制度管理中央委員会 認定マンモグラフィ読影医	2
日本臨床細胞学会細胞診専門医	2
国際細胞学会認定細胞診断医	1
日本産科婦人科学会専門医	2
日本医師会認定産業医	2
日本医師会認定健康スポーツ医	1

■放射線技師、臨床検査技師、保健師、看護師

資 格 名 称	人 数
胃がん検診専門技師	29
胃がん検診基準撮影法指導員	6
マンモグラフィ撮影技術認定技師	32
乳房超音波講習会履修者	13
超音波検査士（消化器）	7

超音波検査士（体表臓器）	3
肺がんＣＴ検診認定技師	7
放射線管理士	2
放射線機器管理士	1
細胞検査士	17
国際細胞検査士	10
健康運動指導士	2
健康食品管理士	1
人間ドック検診情報管理指導士	4
医療情報技師	2
医用画像情報専門技師	1
消化器内視鏡技師	4

(2) 学会・研修会活動

■学会等所属状況

学会・委員会名	活動内容
日本消化器がん検診学会	理事を擁し、日本における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本消化器がん検診学会北海道支部	支部長及び事務局を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本消化器がん検診学会北海道支部 放射線研修委員会	事務局を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本放射線技術学会北海道支部	副支部長を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。
NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構	委員を擁し、精度管理及び啓発のため活動しています。
北海道臨床細胞学会	理事及び事務局を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。
北海道細胞検査士会	理事及び事務局を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本超音波医学会	日々の検査精度の維持・向上及び各分野毎の資格更新を目的に加入
日本超音波検査学会	日々の検査精度の維持・向上及び各分野毎の資格更新を目的に加入
日本CT検診学会	CT検診、特に肺がん検診における検査精度の維持・向上及び資格更新を目的に加入

日本乳癌検診学会	日々の検査精度の維持・向上及び資格更新を目的に加入
日本医療情報学会	医療画像を始め医療全般にかかる患者保護や取扱いの最新の情報を取得するため

■学会発表（平成29年度）

日 時	会 名	演 題	報 告 者			開催地
			所 属	氏 名		
5／26 ～28	第58回日本臨床細胞学会総会 春期大会	『ASC-US症例の追跡調査－臨床経過と細胞像の検討－』ワークショップ指定演者	札幌	検査科	加藤 修	大阪
		『子宮頸部類基底細胞がんの一例』		検査科	栄田 尚子	大阪
		『札幌におけるヒトパピローマウイルス16型E6バリエーションと子宮頸がんとの関連』		細胞診センター	佐々木 隆之	大阪
9／2 ～3	第26回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会	HPV-DNA検査併用子宮がん検診での若い世代の再受診状況の現状	札幌	検査科	阿部 里絵	仙台
11／18	北海道公衆衛生学会	低線量CT肺がん検診における保健師の役割についての考察	札幌	巡回検診課	横内 紫乃	札幌
11／18 ～19	第56回日本臨床細胞学会秋期大会	尿検体からのHPV-DNA検出について有用性の検討	札幌	検査科	和田 恒之	福岡
		2014年子宮頸部腫瘍新WHO分類とベセスダシステムが意味するもの	札幌	検査科	小西 加奈子	福岡
11／18 ～19	北海道公衆衛生学会	HPV検査の有用性～細胞診陰性・HPV陽性症例の検討～	札幌	検査科	加藤 修	札幌
11／25	旭川放射線技師会 会員研究発表会	『被ばく低減への取り組み～DRLSの理解』	旭川	放射線科	細川 肇	旭川

■研修会参加（平成29年度）

日 時	研 修 会 名	主 催	報 告 者			開催地
			所 属		氏 名	
4 / 1	日本消化器がん検診学会北海道支部 第15回超音波研修会	日本消化器がん検診 学会北海道支部	釧路	検査科	倉兼 俊之	札幌市
			札幌	検査科	小西 加奈	札幌市
					長崎 葉菜	
4 / 1	第15回超音波研修会	日本消化器がん検診 学会北海道支部	釧路	検査科	倉兼 俊之	札幌市
5 / 13	第 4 回一般検査セミナー in札幌	栄研化学株式会社	旭川	検査科	中山 仁	札幌市
					平野 真理	
5 / 21	新人会員研修会	北海道臨床衛生検査 技師会	釧路	検査科	三浦 葉奈	札幌市

5／26 ～27	第90回学術集会	日本超音波医学会	釧路	検査科	倉兼 俊之	宇都宮市
5／26 ～28	第90回日本超音波医学会学術集会	日本超音波医学会	札幌	検査科	横山 恵	宇都宮
5／26 ～28	第58回日本臨床細胞学会総会春期大会	日本臨床細胞学会	札幌	細胞診センター 所長	藤田 博正	大阪
			札幌	検査科	高橋 奈穂美	
			旭川	検査科	中山 仁	
					平野 真理	
6／16 ～18	第42回日本超音波検査学会学術集会	日本超音波検査学会	札幌	検査科	茂木 由紀	福岡
6／20	生理検査勉強会	道東臨床検査技師会	釧路	検査科	倉兼 俊之	釧路市
					三浦 葉奈	
7／8	日本消化器がん検診学会北海道地方会	日本消化器がん検診 学会北海道支部	札幌	放射線技術部	山本 仁史 ほか	札幌市
7／8	第47回日本消化器がん検診学会北海道地方会	日本消化器がん検診 学会北海道支部	旭川	放射線科	阿部 さくら	札幌市
					岸 あゆみ	
8／19 ～20	第73回細胞検査士セミナー	細胞検査士会	札幌	検査科	市川 浩巳	横浜
8／19 ～20	第73回細胞検査士教育セミナー	日本臨床細胞学会	釧路	検査科	倉兼 俊之	横浜市
8／27	第73回細胞検査士教育セミナー	日本臨床細胞学会	旭川	検査科	石川 文秋	東京
					佐藤 利男	
9／9 ～10	第74回細胞検査士セミナー	細胞検査士会	札幌	検査科	日野 順子	倉敷
9／22 ～24	第33回日本診療放射線技師学術大会	示説発表座長	札幌	放射線科	瀬野尾 勤子	函館
11／18	第2回学術研修会	NPO法人日本消化 器がん検診精度管理 評価機構北海道支部	旭川	放射線科	門司 麻央	札幌市
11／18 ～19	腹部超音波検査研修会	全国労働衛生団体連 合会	札幌	検査科	長崎 葉菜	東京
11／18 ～19	第56回日本臨床細胞学会総会秋期大会	日本臨床細胞学会	札幌	細胞診センター 所長	藤田 博正	福岡
			旭川	検査科	石山 好人	福岡
11／18 ～19	第56回日本臨床細胞学会秋期大会	日本臨床細胞学会	釧路	検査科	三浦 務	福岡市
11／26	第38回北海道臨床細胞学会総会 ならびに学術集会	北海道臨床細胞学会	札幌	検査科	加藤 修	札幌市
					小西 加奈子	
					市川 浩巳	
					日野 順子	
					柴田 尚子	

12／1	多発性嚢胞腎を考える会	大塚製薬(株)	釧路	所長	松浦 邦彦	釧路市
				検査科	倉兼 俊之	
					横堀 峰義	
					三浦 務	
12／2	第19回溪流会実技講習会	西野学園 溪流会	釧路	検査科	三浦 葉奈	札幌市
1／13	超音波講習会in札幌	フクダ電子株式会社	旭川	検査科	石山 好人	札幌市
					平山 景子	
1／20	日本消化器がん検診学会北海道支部地域保健研修会 平成29年度研修会	日本消化器がん検診学会北海道支部	旭川	検診第2課	辰己 朋子	札幌市
1／23	生理検査勉強会	道東臨床検査技師会	釧路	検査科	和泉 東子	釧路市
					倉兼 俊之	
					三浦 務	
					三浦 葉奈	
2／3	細胞診わかばセミナー ～細胞診の見方、考え方～	北海道細胞検査士会	旭川	検査科	中村 朱里	札幌市
2／10 ～11	第8回乳房超音波技術講習会	日本対がん協会	旭川	放射線科	門司 麻央	東京
					竹村 真美	
					岸 あゆみ	
2／24	第1回細胞検査士ワークショップ	日本臨床細胞学会	札幌	検査科	市川 浩巳	大阪
2／24	第14回しばれセミナー 心不全	北海道臨床衛生検査技師会	札幌	検査科	横山 恵	札幌市
3／4	第30回細胞診従事者講習会	北海道臨床細胞学会	札幌	検査科	加藤 修	札幌市
					小西 加奈子	
					市川 浩巳	
					阿部 里絵	
					茂木 由紀	
		日本臨床細胞学会	旭川	検査科	中山 仁	札幌市
					石山 好人	
					石川 文秋	
					佐藤 利男	
					平野 真理	
3／7 ～9	平成29年度診療放射線技師研修会	日本対がん協会	旭川	放射線科	阿部 さくら	東京
3／10	第43回放射線研修委員会研修会	日本消化器がん検診学会北海道支部放射線研修委員会	札幌	放射線技術部	田中 茉衣 ほか	札幌市
					畠山 佳那子 ほか	札幌市
3／10	第43回放射線研修委員会研修会 (平成29年度生活習慣病従事者指導講習会)	日本消化器がん検診学会北海道支部	旭川	放射線科	田中・細川・ 福原・西田	札幌市

3／11	第13回北海道胃がん検診専門技師技術研修会	日本消化器がん検診学会北海道支部	旭川	放射線科	田中・細川・福原・西田	札幌市
3／17 ～18	検体採取等に関する厚生労働省指定講習会	日本臨床検査技師会	旭川	検査科	山口 尚実	札幌市

3－3 施設認定

- 日本消化器がん検診学会認定指導施設
- 日本臨床細胞学会教育研修施設認定
- 日本臨床細胞学会施設認定
- 日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィ撮影施設認定（A評価）

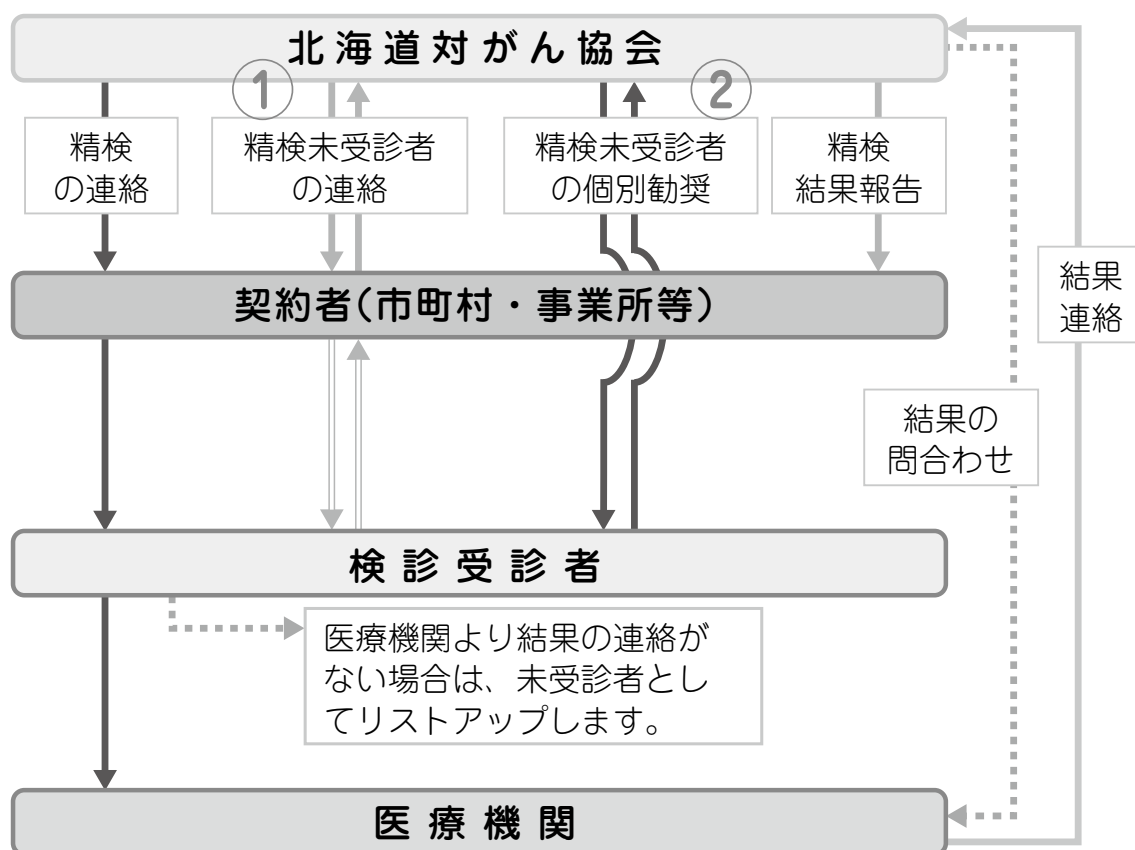
4 事後処理の流れ

厚生労働省「有効性評価に基づくがん検診ガイドライン」に準拠し、事後処理を行っています。

胃がん検診	札幌がん検診センターでは、開成病院・吉田クリニック・KKR札幌医療センターと、旭川がん検診センターでは、独立行政法人国立病院機構旭川医療センター・旭川赤十字病院・旭川厚生病院・くにもと病院と連携し、日本消化器がん検診学会認定医を加え、二重読影を行います。 また、過去に当協会で受診されている方は、必要に応じてその結果を参考に比較読影を行います。
子宮頸がん検診	日本臨床細胞学会の認定を受けた十分な経験を有する細胞検査士及び細胞診専門医が判定を行います。当協会では、細胞診結果の分類はBethesda systemによる分類を用います。過去に当協会で受診されている方は、必要に応じてその結果を参考にします。
子宮体がん検診	日本臨床細胞学会の認定を受けた十分な経験を有する細胞検査士及び細胞診専門医によりパパニコロウ染色を行い、顕微鏡下で観察します。細胞診結果は、「陰性」・「疑陽性」及び「陽性」に区分します。
乳がん検診	「検診マンモグラフィ読影認定医」A評価の医師を加え、二重読影を行います。また、過去に当協会で受診されている方は、必要に応じてその結果を参考に読影を行います。
肺がん検診	札幌がん検診センターは、独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター・KKR札幌医療センター・JCHO北海道病院・JR札幌病院と、旭川がん検診センターは、独立行政法人国立病院機構旭川医療センター・旭川医科大学病院・まつもと呼吸器内科クリニックと、釧路センターは、札幌医科大学附属病院・NTT東日本札幌病院と連携し、日本がん検診・診断学会がん検診認定医を加え、二重読影を行います。 また、判定結果により比較読影を行います。さらに、過去に当協会で受診されている方はその結果を参考にします。
喀痰細胞診	判定は日本臨床細胞学会認定の細胞検査士が実施し、異常が疑われる場合には標本を追加作成して、日本臨床細胞学会認定の細胞診専門医による再鏡検を実施します。同一検体から作成された2枚以上のスライドは、2名以上の技師によりスクリーニングします。 喀痰細胞診の結果の判定は、「肺癌集団検診の手びき」(日本肺癌学会集団検診委員会編)の「集団検診における喀痰細胞診の判定基準と指導区分」によって行います。
大腸がん検診	便潜血検査は、免疫便潜血検査2日法により行います。
基本健康診査	健診当日の診察結果・血液データ・心電図・眼底結果を基に医師が総合的に判定し、「標準的な健診・保健指導プログラム(改訂版)」に基づき、保健指導対象者の選定と階層化を行います。

5 事後管理の流れ

受診者への結果通知で終了とせず、精検未受診者に対して、検診に関する専門的な知識をもった保健師が契約者と連携し、受診後数回にわたってフォローアップをすることで、精検受診につなげ、疾病の早期発見に努めています。



①未受診者調査	検診受診後2カ月が経過しても医療機関より結果の連絡がない場合は、精検未受診者としてリストアップし、契約者へ送付して、契約者から未受診者へ受診勧奨を行っていただきます。
②アンケートの送付	①を実施後、一定期間過ぎても医療機関より結果の連絡がない場合は、対がん協会から未受診者へ直接アンケートを送付し、受診を勧奨します。
結果の問い合わせ	未受診者から医療機関を受診した情報を得た場合は、医療機関へ直接結果の問い合わせを行います。

6 安全管理体制

医療安全管理マニュアルを定め、日頃から事故防止に努めています。

事故が発生（または未遂）した場合は、原因を分析し、解決方法を記載した報告書を速やかに作成することとしており、報告書は全職員がシステム上で閲覧できるようになっています。また、医療安全推進会議（各科担当者）と医療安全管理委員会（課長級）をそれぞれ月1回開催し、報告書をもとに類似事例の発生予防につながる改善策を検討して、全職員へ還元しています。

7 検診車の保有状況

(単位：千円)

種 別	検診車名称	購入年月 (納入年月)	購入金額	財 源 内 訳			備 考
				道	中央補助金	自 己 資 金	
胃 肺 検 診 車	1	〃 102号	H 6. 9	57,917	54,000	3,917	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	2	〃 107号	H 8. 3	57,917	54,000	3,917	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	3	〃 108号	H10. 3	59,220	33,811	25,409	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	4	〃 109号	H12. 2	62,685	56,700	5,985	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	5	〃 113号	H 6.11	57,917	54,000	3,917	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	6	〃 114号	H 5. 1	57,546	54,000	3,546	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	7	〃 115号	H 9. 1	59,740	54,000	5,740	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	8	〃 118号	H 6. 4	56,583		56,583	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	9	〃 120号	(H15. 5)	22,659		22,659	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	10	〃 122号	(H18. 1)	30,030		30,030	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	11	〃 123号	(H26. 3)	29,568		29,568	胃、肺併用車 13吋 I I X線TV車
	12	〃 163号	(H27.12)	3,240		3,240	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	13	〃 201号	H13.12	60,900	56,700	4,200	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	14	〃 202号	(H14.12)	62,790	日本宝くじ協会 62,790		胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	15	〃 203号	H21. 2	91,140	日本宝くじ協会 63,000	28,140	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	16	〃 204号	H27. 2	65,880	J K A 22,050	43,830	胃、肺併用車 13吋 I I X線TV車
	17	〃 205号	H29. 2	69,660	日本宝くじ協会 69,660		胃、肺併用車 13吋 X線TV車
	18	〃 206号	H29. 3	58,104		58,104	胃、肺併用車 13吋 I I X線TV車
	19	〃 207号	H30. 2	69,876	J K A 31,000	38,876	胃、肺併用車 F P D X線TV車
胸部 検診車	1	胸 部 検 診 車	(H15.11)	0	譲 与		ミラーカメラ車
	2	エ ル ム 号	H19. 2	97,545	日本宝くじ協会 60,900	(リース) 36,645	低線量ヘリカルCT検診車
婦人科 検診車	1	しらゆり 2号	H 4. 7	29,767		14,767 (秋山愛生館) 15,000	超音波診断装置搭載
	2	〃 5号	H26.12	46,000		46,000	超音波診断装置搭載
乳房 検診車	1	すずらん 3号	(H18. 2)	63,840	日本宝くじ協会 63,840		乳房X線装置(SMG対応)
	2	〃 5号	H24. 2	65,520	J K A 11,550	53,970	乳房X線装置(SMG対応)
	3	〃 6号	(H29. 4)	44,928		44,928	乳房X線装置(SMG対応)
	4	〃 7号	(H30. 3)	69,940	69,940		乳房X線装置(SMG対応) 超音波検査併用
送 迎 用 バ ス	1	はまなす 1号	H22. 7	26,460		26,460	受診者送迎車
	2	〃 2号	H 6. 9	17,201		17,201	受診者送迎車
	3	〃 3号	H21. 4	6,031		6,031	受診者送迎車
	4	〃 4号	H29. 4	3,520		3,520	受診者送迎車
	5	〃 5号	H27. 3	5,908		5,908	受診者送迎車

(平成30年3月現在)

8 施設整備に対する助成金の受け入れ状況

(単位：円)

年度	助 成 機 関	助成対象				年 度 計
		検 診 車	センター建設	センター設備	基 本 財 産	
34	昭和33年度継承資金				128,699	
	北海道補助	253,550,000	769,900,000	98,500,000	300,000	
	札幌市補助	7,792,000	10,000,000	18,500,000	100,000	
	旭川市補助		45,000,000			
	郵政省配分金	37,500,000				
	郵政省ガン切手益金			10,080,000		
	日本自転車振興会	92,850,000	91,070,000	25,500,000		
	中央競馬社会福祉財団	17,000,000		15,000,000		
	日本ガン協会	3,000,000				
	日本小型自動車振興会	65,000,000	116,020,000	25,500,000		
	日本船舶振興会	38,750,000		4,600,000		
	釧路市補助			95,000,000		
63	一町村補助	3,980,000	20,617,041	22,569,884		
	一般寄付		54,240,952	81,706,454		
元	中央競馬社会福祉財団			4,750,000		2,023,755,030
2	日本宝くじ協会	55,620,000				4,750,000
	日本自転車振興会	21,630,000				77,250,000
3	北海道補助	33,849,000				
	札幌市補助	27,246,000				
	中央競馬社会福祉財団			6,400,000		67,495,000
4	北海道補助	33,849,000	40,000,000			
	旭川市補助		4,700,000			
	秋山愛生館	15,000,000				93,549,000
5	北海道補助	54,000,000				
	日本自転車振興会			5,072,000		
	中央競馬社会福祉財団			7,000,000		66,072,000
6	北海道補助	108,000,000				108,000,000
7	北海道補助	54,000,000				
	日本自転車振興会			12,823,000		
	中央競馬社会福祉財団			7,400,000		74,223,000
8	北海道補助	54,000,000	97,190,000			
	一般寄付		18,128,723			169,318,723
9	北海道補助	33,811,000	602,000,000	147,290,000		
	札幌市補助		287,744,000	73,645,000		
	日本自転車振興会	11,550,000				
	一般寄付		40,665,515			1,196,705,515
11	北海道補助	81,100,000				
	日本自転車振興会			13,335,000		
	中央競馬社会福祉財団			4,000,000		98,435,000
13	北海道補助	56,700,000				56,700,000
14	日本宝くじ協会	62,790,000				62,790,000
16	日本対がん協会			1,000,000		1,000,000
17	日本宝くじ協会	63,840,000				63,840,000
18	北海道補助			5,696,000		
	日本宝くじ協会	60,900,000				66,596,000
20	厚生労働省			95,550,000		
	日本宝くじ協会	63,000,000				158,550,000
21	日本対がん協会			2,000,000		2,000,000
23	J K A	11,550,000				11,550,000
26	J K A	22,050,000				22,050,000
28	日本宝くじ協会	69,660,000				69,660,000
29	J K A	31,000,000				
	北海道補助	69,940,000		9,900,000		110,840,000
累 計		1,614,507,000	2,197,276,231	792,817,338	528,699	4,605,129,268

(平成30年12月現在)

9 研究等事業

年 度	事 業 名	業 務 概 要
平成24年度 ～ 平成29年度	北海道におけるHPV併用検診に関する臨床試験	子宮頸がん検診受診者を対象に、HPVDNA検査併用検診の有用性及び子宮頸部病変の検出におけるHR-HPVの検出または遺伝子型16型／18型の判別の有用性を検討する。
平成25年度 ～継続中	J-START	乳がん検診における超音波検査（エコー検査）の有効性に関する研究
平成28年度 ～ 平成29年度	ヘリコバクターピロリ除菌療法の臨床経過に関する後方視的解析研究	ヘリコバクターピロリ除菌治療の有効性を評価するための研究であり、慢性胃炎に対するヘリコバクターピロリ菌除菌療法の除菌率を集計し、除菌プロトコール間での成績について比較検討を行う。
平成29年度	デンスブレストにおける乳房内病変の低被ばくCT検査での検出能	肺がん検診として実施されている胸部の低被爆CT検査において、高濃度乳房における乳房内病変を検出できるか明らかにする。
平成29年度	肺がん検診の胸部X線画像への骨透過処理の適用による偽陽性率の改善効果	胸部X線画像に対して骨組織を透過させる画像処理を適用することによる、肺がん検診の偽陽性率の改善効果を明らかにする。

※ H29年度中に進行中であった取組みについて記載

Ⅲ 検診部門

1 平成29年度 検診受診者数

(単位：人)

センター別		合 計	札 幌	旭 川	釧 路
部位別					
胃 が ん	検 診 車	82,449	46,457	23,416	12,576
	検診センター	25,944	15,300	7,216	3,428
	計	108,393	61,757	30,632	16,004
子 宮 が ん	検 診 車	22,267	10,685	8,153	3,429
	検診センター	41,815	24,018	13,360	4,437
	計	64,082	34,703	21,513	7,866
乳 が ん	検 診 車	25,149	12,182	8,929	4,038
	検診センター	45,358	26,466	14,273	4,619
	計	70,507	38,648	23,202	8,657
肺 が ん	検 診 車	81,784	42,920	23,968	14,896
	検診センター	25,879	13,795	8,376	3,708
	計	107,663	56,715	32,344	18,604
大 腸 が ん	検 診 車	91,871	52,809	26,019	13,043
	検診センター	42,629	26,291	10,689	5,649
	計	134,500	79,100	36,708	18,692
前 立 腺 が ん	検 診 車	11,023	4,580	3,452	2,991
	検診センター	4,795	2,782	1,310	703
	計	15,818	7,362	4,762	3,694
特 定 健 診	検 診 車	44,067	19,242	15,422	9,403
	検診センター	13,412	8,536	3,368	1,508
	計	57,479	27,778	18,790	10,911
定期健康診断	検 診 車	20,205	16,294	2,684	1,227
	検診センター	7,164	4,081	1,086	1,997
	計	27,369	20,375	3,770	3,224
協 会 け ん ぽ (生活習慣病 予防健診)	検 診 車	747	151	415	181
	検診センター	6,987	4,633	1,187	1,167
	計	7,734	4,784	1,602	1,348
人 間 ド ッ ク	検 診 車	0	0	0	0
	検診センター	2,298	1,519	599	180
	計	2,298	1,519	599	180
骨 検 診	検 診 車	1,062	836	78	148
	検診センター	8,868	6,108	2,337	423
	計	9,930	6,944	2,415	571
婦人科超音波	検 診 車	18,190	7,425	7,883	2,882
	検診センター	39,751	21,989	13,626	4,136
	計	57,941	29,414	21,509	7,018
腹 部 超 音 波	検 診 車	237	0	237	0
	検診センター	3,475	2,983	141	351
	計	3,712	2,983	378	351
合 計	検 診 車	399,051	213,581	120,656	64,814
	検診センター	268,375	158,501	77,568	32,306
	計	667,426	372,082	198,224	97,120

※肺がん検診は肺がんCT検査を含む

※事後管理を受託していない団体の受診数を含める（以降のページの受診数とは一致しない）

2 平成29年度 一次検診の成績

胃がん検診

平成29年度は、18台の検診車で124市町村¹⁾を延1,859日間²⁾巡回したほか、81事業所³⁾に延266日間⁴⁾巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、116名（平成30年12月10日現在）のがんを発見した。

1) 札幌58・旭川48・釧路18市町村 2) 札幌716・旭川664・釧路479日間 3) 札幌48・旭川20・釧路13事業所 4) 札幌146・旭川85・釧路35日間

	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	91,356	50,195	26,906	14,255	24,171	14,494	6,491	3186	67,185	35,701	20,415	11,069
事業所 ⁶⁾	9,206	3,770	3,709	1,727	1,651	716	710	225	7,555	3,054	2,999	1,502
個 人 ⁷⁾	130	91	17	22	122	90	15	17	8	1	2	5
合 計	100,692	54,056	30,632	16,004	25,944	15,300	7,216	3,428	74,748	38,756	23,416	12,576

5) 実施主体が市町村のもの

6) 実施主体が事業所のもの

7) 上記以外のもの

【検診の受診状況】

受診総数100,692名のうち、検診センターでの施設検診は25,944名（25.8%）、検診車による巡回検診は74,748名（74.2%）であった。前年度に比べ、個人受診が微増したが、全体として検診センターでは1,226名、検診車は5,243名の減少、減少率は6.0%と前年度8.4%より抑えられた。

受診者別では、前年度よりも自治体で6,065名、事業所で412名の減少が見られた。

年齢別では、男女ともに60歳代以上から増加し、全体でおよそ69.1%を占めている。

【精密検査の受診状況】

要精検者数は5,424名で、要精検率は5.4%であった。精検受診数は4,817名、精検受診率は88.8%で、前年度より1.3ポイントの上昇がみられた（表1）。

男女別の要精検率は男性6.6%、女性4.5%で男性が高い。精検受診率は男性85.0%、女性92.9%と男性が前年度より1.6ポイント上昇した。しかし年齢別では、男性は30歳代と50歳代、女性は30歳代と、若い年齢層での精検受診率の低下がみられた（表4）。

【発見がんについて】

平成29年度の胃がん発見数は116名で、がん発見率は0.12%であった。男女別では、男性80名（0.19%）、女性36名（0.06%）であった。男女ともに、年齢が上がるにつれてがん発見率も高い傾向にある。

受診歴別では、初回受診が最も高く（0.22%）、次いで2年前受診（0.15%）、3年前受診（0.08%）の順に高い（表7）。

追跡調査による発見がんの内訳では、平成28年度の発見がん142名のうち、手術施行者は132名であった。手術結果の内訳は早期がん91名（68.9%）、進行がん39名（29.5%）であり、早期がんが全体のおよそ69%を占めている（表8）。

【まとめ】

平成29年度の受診状況として、新たに検診を受託した市町村や事業所があったが、全体の受診数は減少した。厚生労働省の指針の改正（H28.2.4）で、胃がん検診の検査方法に内視鏡検査が追加され、導入した市町村があったためと考えられるが、高齢に伴い安全を考慮し受診を控える傾向がある。

ただ、この改正（H28.2.4）では、内視鏡検査が追加されるとともに、対象年齢が引き上げられ、受診間隔が延長されたが、“当分の間、X線検査に関しては、40歳以上、年1回実施しても差支えない”という但し書きが付与されている。当協会としては、本道の広域性や医師の地域偏在の状況を鑑み、すべての市町村・事業所において早期に内視鏡検査へ切り替えるのは困難と考えることから、X線検査の有効性をアピールし、安全面に最大限の配慮しながら、今後も質の高いX線検査を提供することで、胃がんの早期発見に寄与していきたい。

要精検者に対しては、男性は40～50歳代、女性は40歳代前半の受診率が低下傾向にある。この年代は働き盛りで仕事や家庭での役割が非常に大きいことや、胃がんが増えてくる年齢層である。職場検診の開設などにより、積極的に検診の機会を提供し多くの方が受診することは、胃がんの早期発見につなげていくうえで重要であるが、要精検となった場合は確実に精密検査を受けることも、がんを早期発見し生命をつなげるために、不可欠であると考え。そのため、50歳代以下を中心に受診勧奨に力を入れ、精密検査の必要性を理解したうえで、受診行動を起こすための働きかけをしていきたい。

（保健師 高島 梓）

表1 胃がん検診実施状況及び精検結果（累計）

昭和38年度～平成29年度

年 度	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	精検 受診者数	精検 受診率 (%)	精 検 結 果 内 訳							
						胃がん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 瘢痕	十二指 腸潰瘍	胃炎	その他	異常なし
38～24	7,606,150	836,091	11.0	733,037	87.7	11,268	62,065	55,755	95,083	12,622	197,196	30,170	268,878
25	117,225	7,601	6.5	6,605	86.9	220	889	265	771	69	3,252	478	661
26	113,815	6,962	6.1	6,152	88.4	193	697	225	571	57	3,399	485	525
27	116,739	5,450	4.7	4,823	88.5	164	555	193	471	37	2,675	390	338
28	107,161	4,863	4.5	4,254	87.5	142	482	152	394	34	2,376	377	297
29	100,692	5,424	5.4	4,817	88.8	116	509	93	297	32	2,940	406	424
計	8,161,782	866,391	10.6	759,688	87.7	12,103	65,197	56,683	97,587	12,851	211,838	32,306	271,123

国の指標値（許容値） 11.0%以下 70.0%以上

※平成26年度よりシステム変更に伴い、これまで含まれていなかった事業所分・人間ドック分の受診者数を含めるように改変した。（胃がん・肺がん・大腸がん）

表2 胃がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

昭和38年度～平成29年度

年度	受 診 者 数			発 見 が ん 数						陽性反応 適中度 (%)
	総 数	検診 センター	検 診 車	総 数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
38～24	7,606,150	815,885	6,790,265	11,268	0.15	1,050	0.13	10,218	0.15	1.35
25	117,225	29,462	87,763	220	0.19	38	0.13	182	0.21	2.89
26	113,815	28,553	85,262	193	0.17	44	0.15	149	0.17	2.77
27	116,739	29,452	87,287	164	0.14	37	0.13	127	0.15	3.01
28	107,161	27,170	79,991	142	0.13	33	0.12	109	0.14	2.92
29	100,692	25,944	74,748	116	0.12	26	0.10	90	0.12	2.14
合計	8,161,782	956,466	7,205,316	12,103	0.15	1,228	0.13	10,875	0.15	1.40

国の指標値（許容値） 0.11%以上

1.0%以上

表3 胃がん検診実施状況及び発見がん数（平成29年度・管轄別）

管轄	受 診 者 数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	54,056	15,300	38,756	2,523	4.7	665	4.3	1,858	4.8	2,263	89.7	66	0.12	19	0.12	47	0.12	2.62
旭川	30,632	7,216	23,416	2,315	7.6	374	5.2	1,941	8.3	2,031	87.7	33	0.11	5	0.07	28	0.12	1.43
釧路	16,004	3,428	12,576	586	3.7	100	2.9	486	3.9	523	89.2	17	0.11	2	0.06	15	0.12	2.90
合計	100,692	25,944	74,748	5,424	5.4	1,139	4.4	4,285	5.7	4,817	88.8	116	0.12	26	0.10	90	0.12	2.14

国の指標値（許容値） 11.0%以下

70%以上

0.11%以上

1.0%以上

表4 性・年齢別胃がん検診実施状況及び精検結果（平成29年度）

年齢	性別	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳							
					胃がん	胃ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍癒痕	十二指腸潰瘍	胃炎	その他	異常なし
～39	男	1,663	53	41	0	4	0	2	0	19	9	7
	女	1,216	21	19	0	4	1	0	0	9	1	4
	計	2,879	74	60	0	8	1	2	0	28	10	11
40～44	男	3,050	106	80	1	8	2	2	1	46	11	9
	女	3,813	99	84	1	21	0	2	1	49	4	6
	計	6,863	205	164	2	29	2	4	2	95	15	15
45～49	男	3,062	158	120	1	14	2	5	2	67	19	10
	女	3,682	103	91	0	19	2	2	0	52	3	13
	計	6,744	261	211	1	33	4	7	2	119	22	23
50～54	男	2,687	158	120	1	9	4	6	1	75	13	11
	女	4,270	144	126	1	15	3	2	3	81	10	11
	計	6,957	302	246	2	24	7	8	4	156	23	22
55～59	男	2,805	189	138	0	6	3	15	0	84	12	18
	女	4,833	201	186	1	18	2	9	4	121	13	18
	計	7,638	390	324	1	24	5	24	4	205	25	36
60～64	男	4,455	343	278	7	18	11	15	2	170	31	24
	女	7,699	409	370	7	37	10	16	3	244	24	29
	計	12,154	752	648	14	55	21	31	5	414	55	53
65～69	男	8,361	640	550	23	37	7	49	4	336	48	46
	女	12,137	615	575	6	69	6	36	2	378	42	36
	計	20,498	1,255	1,125	29	106	13	85	6	714	90	82
70～74	男	7,457	513	467	12	36	14	46	1	287	42	29
	女	10,324	503	483	8	66	6	21	4	292	42	44
	計	17,781	1,016	950	20	102	20	67	5	579	84	73
75～79	男	5,515	353	327	23	34	4	21	2	179	30	34
	女	6,675	341	324	7	47	3	9	2	207	19	30
	計	12,190	694	651	30	81	7	30	4	386	49	64
80～	男	3,754	299	269	12	22	7	26	0	156	19	27
	女	3,234	176	169	5	25	6	13	0	88	14	18
	計	6,988	475	438	17	47	13	39	0	244	33	45
合計	男	42,809	2,812	2,390	80	188	54	187	13	1,419	234	215
	女	57,883	2,612	2,427	36	321	39	110	19	1,521	172	209
	計	100,692	5,424	4,817	116	509	93	297	32	2,940	406	424

表5 年齢別受診者数と発見がん数（累計）
昭和38年度～平成28年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率（％）
～29	61,522	9	0.01
30～39	808,228	224	0.03
40～49	2,025,939	1,042	0.05
50～59	2,102,687	2,217	0.11
60～69	2,024,740	4,537	0.22
70～	1,037,808	3,958	0.38
年齢不詳	166	0	0.00
計	8,061,090	11,987	0.15

※10歳階級表

表6 性・年齢別受診者数と発見がん数（平成29年度）

年 齢	受 診 者 数			発見がん数			発見率（％）		
性 別	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性
～29	96	54	42	0	0	0	0.00	0.00	0.00
30～34	696	423	273	0	0	0	0.00	0.00	0.00
35～39	2,087	1,186	901	0	0	0	0.00	0.00	0.00
40～44	6,863	3,050	3,813	2	1	1	0.03	0.03	0.03
45～49	6,744	3,062	3,682	1	1	0	0.01	0.03	0.00
50～54	6,957	2,687	4,270	2	1	1	0.03	0.04	0.02
55～59	7,638	2,805	4,833	1	0	1	0.01	0.00	0.02
60～64	12,154	4,455	7,699	14	7	7	0.12	0.16	0.09
65～69	20,498	8,361	12,137	29	23	6	0.14	0.28	0.05
70～74	17,781	7,457	10,324	20	12	8	0.11	0.16	0.08
75～79	12,190	5,515	6,675	30	23	7	0.25	0.42	0.10
80～	6,988	3,754	3,234	17	12	5	0.24	0.32	0.15
計	100,692	42,809	57,883	116	80	36	0.12	0.19	0.06

※5歳階級表

表7 性・受診歴別受診者数及び発見がん数（平成29年度）

受診歴	受 診 者 数			発見がん数			発見率（％）		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
初 回	22,119	9,045	13,074	48	30	18	0.22	0.33	0.14
1 年 前	61,244	27,700	33,544	45	35	10	0.07	0.13	0.03
2 年 前	13,473	4,698	8,775	20	13	7	0.15	0.28	0.08
3 年 前	3,856	1,366	2,490	3	2	1	0.08	0.15	0.04
計	100,692	42,809	57,883	116	80	36	0.12	0.19	0.06

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表8 追跡調査による発見がんの内訳（累計）

昭和38年度～平成28年度

年度	発見がん 数 (A)	手術施行 数 (B)	B/A (%)	手術施行内訳 (C)						(再掲) 内視鏡 切除数 (D)	D/B (%)	手術未 施行数 (E)	E/A (%)
				早期 がん	C/B (%)	進行 がん	C/B (%)	深達度 不明	C/B (%)				
38～24	11,268	10,533	93.5	6,310	59.9	4,029	38.3	194	1.8			735	6.5
25	220	203	92.3	164	80.8	38	18.7	1	0.5	83	40.9	17	7.7
26	193	182	94.3	132	72.5	48	26.4	2	1.1	83	45.6	11	5.7
27	164	156	95.1	111	71.2	44	28.2	1	0.6	60	38.5	8	4.9
28	142	132	93.0	91	68.9	39	29.5	2	1.5	48	36.4	10	7.0
計	11,987	11,206	93.5	6,808	60.8	4,198	37.5	200	1.8			781	6.5

表9 発見がんにおける手術施行者の深達度（平成28年度）

手術施行	早 期		進 行			深達度不明
	M	S M	M P	S S	S	
132	59	32	10	16	13	2

胃癌取扱い規約に準ずる。

子宮頸がん検診

平成29年度は、2台の検診車で121市町村¹⁾を延252日間²⁾巡回したほか、7事業所³⁾に延13日間⁴⁾巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、46名（平成30年12月15日現在）のがんを発見した。

1) 札幌65・旭川38・釧路18市町村 2) 札幌126・旭川86・釧路40日間 3) 札幌4・旭川1・釧路2事業所 4) 札幌9・旭川1・釧路3日間

	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	53,931	29,068	18,533	6,330	33,279	19,139	10,820	3,320	20,652	9,929	7,713	3,010
事業所 ⁶⁾	8,452	4,486	2,577	1,389	6,865	3,732	2,163	970	1,587	754	414	419
個 人 ⁷⁾	1,700	1,149	404	147	1,672	1,147	378	147	28	2	26	0
合 計	64,083	34,703	21,514	7,866	41,816	24,018	13,361	4,437	22,267	10,685	8,153	3,429

5) 実施主体が市町村のもの 6) 実施主体が事業所のもの 7) 上記以外のもの

【子宮頸がん検診】

子宮頸がん検診の受診総数は64,083名で、検診車による巡回検診は22,267名（34.7%）、検診センターでの施設検診は41,816名（65.3%）を実施した。平成29年度の受診数は前年度の受診数と比較すると1,621名減となっており、巡回検診は増加したが、施設検診は減少した。

年齢階級別では依然として20歳代、30歳代の受診割合は低い。

検診結果は平成22年度よりベセスダシステムによる細胞診分類を実施しており、細胞診陰性者が63,305名、細胞診陽性者が778名という結果であった（表2）。

精密検査該当者（要経過観察は除く）545名のうち、精密検査受診数は513名であり、精検受診率は94.1%、発見がん数は44名であった。また、経過観察の指示がでたものは一定期間経過を追っており、経過観察該当者250名のうち経過観察受診数は194名で、経過観察後2名のがんが見つかった（表3）。

発見がんを受診歴別で比べると初回受診者から見つかるがんの割合が圧倒的に高い（表10）。

平成29年度の発見がん46名のうち32名はCIN3（上皮内がん）であり、7割を占めている（表11）。年齢階級別の発見がん数では40歳代が19名と最も多かった（表9）。子宮頸がんは20歳以上を対象としているが、当協会では20歳代・30歳代の受診数は少ない。またこの年代の細胞診陽性率が高い。これらのことから、早期にがんを見つけるためには、若年層に検診の重要性を理解してもらえよう働きかけ、受診につなげていくことが必要である。

【子宮体がん検診】

子宮体がん検診の受診総数は2,471名で、検診車による巡回検診は408名、検診センターでの施設検診は2,063名を実施した。子宮体がん検診は不正出血等の症状のある者を対象とし、最終的には医師の判断で実施している（表13）。

子宮体がん検診からの精密検査該当者は22名で、精密検査該当者のうち全員が精密検査を受診し、精検受診率は100%、これは平成25年より続いている（表12）。

発見がん数は12名で、年齢階級別では70歳代で体がんが最も多く見つかり、発見率は1.02%であった（表12）。

（保健師 縣 有）

表1 子宮がん検診（頸部・体部）実施状況及び発見がん数（累計）

昭和41年度～平成29年度

年 度	受 診 者 数			発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
41～24	4,180,391	1,693,444	2,486,947	6,740	0.16	3,193	0.19	3,547	0.14	
25	67,282	43,853	23,429	107	0.16	77	0.18	30	0.13	10.45
26	66,145	43,808	22,337	93	0.14	57	0.13	36	0.16	10.26
27	66,477	44,507	21,970	79	0.12	60	0.13	19	0.09	10.05
28	65,704	43,777	21,927	78	0.12	51	0.12	27	0.12	11.47
29	64,083	41,816	22,267	63	0.10	40	0.10	23	0.10	10.36
合計	4,510,082	1,911,205	2,598,877	7,160	0.16	3,478	0.18	3,682	0.14	

※（別掲）S45～53まで実施した自己採取の実施数は7,179名、発見がん数は8名

表2 子宮がん検診（頸部）細胞診結果（累計）

昭和41年度～平成21年度

年 度	受診者数	ク ラ ス 分 類							
		Ⅰ	Ⅱ		Ⅲ			Ⅳ	Ⅴ
			Ⅱ	Ⅱ r	Ⅲ a	Ⅲ	Ⅲ b		
実 数									
41～16	3,579,330	2,219,770	1,327,347	8,413	13,740	960	5,711	2,304	1,085
17	78,393	31,378	46,098	226	527	0	137	11	16
18	71,549	27,549	43,200	181	432	0	140	31	16
19	78,037	29,947	47,260	238	419	0	140	22	11
20	73,109	26,007	46,185	287	426	0	167	20	17
21	80,255	31,264	48,130	216	401	0	187	33	24
計	3,960,673	2,365,915	1,558,220	9,561	15,945	960	6,482	2,421	1,169
率 (％)									
41～16	100	62.02	37.08	0.24	0.38	0.03	0.16	0.06	0.03
17	100	40.03	58.80	0.29	0.67	0.00	0.17	0.01	0.02
18	100	38.50	60.38	0.25	0.60	0.00	0.20	0.04	0.02
19	100	38.38	60.56	0.30	0.54	0.00	0.18	0.03	0.01
20	100	35.57	63.17	0.39	0.58	0.00	0.23	0.03	0.02
21	100	38.96	59.97	0.27	0.50	0.00	0.23	0.04	0.03
計	100	59.74	39.34	0.24	0.40	0.02	0.16	0.06	0.03

※自己採取を除く

平成22年度～平成29年度

年度	受診者数	ベセスダシステム											
		NILM	ASCUS	LSIL	ASC-H	HSIL	SCC	AGC-N	AGC-F	AIS	ADC	OTH	USAT
22～24	219,718	217,485	754	598	122	593	23	61	34	3	12	1	32
25	67,282	66,173	480	230	87	227	7	20	6	1	1	0	50
26	66,145	65,090	457	228	59	232	17	16	11	0	0	0	35
27	66,477	65,649	392	151	48	153	8	24	6	0	5	0	41
28	65,704	64,875	393	145	68	138	21	15	6	0	4	0	39
29	64,083	63,305	323	150	56	136	8	19	7	0	1	1	77
計	549,409	542,577	2,799	1,502	440	1,479	84	155	70	4	23	2	274

注）平成22年度よりベセスダシステムによる細胞診分類を実施
子宮頸部癌取り扱い規約に準ずる。

表3 子宮がん（頸部）検診結果（累計）

昭和41年度～平成29年度

年 度	受診者数	有 所 見 者 数				
		要精検者数	要精検率 (%)	経過 観察者数	経過観察率 (%)	その他 有所見
41～24	4,180,391	23,648	0.6	45,808	1.1	563,344
25	67,282	859	1.3	327	0.5	8,958
26	66,145	850	1.3	253	0.4	1,548
27	66,477	619	0.9	232	0.3	1,729
28	65,704	632	1.0	217	0.3	1,368
29	64,083	545	0.9	250	0.4	1,690
計	4,510,082	27,153	0.6	47,087	1.0	578,637

国の指標値（許容値）

1.4%以下

※H25までその他に超音波所見を含む

表4 子宮がん検診（頸部）実施状況及び発見がん数（累計）

昭和41年度～平成29年度

年 度	受 診 者 数			発 見 が ん 数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
41～24	4,180,391	1,693,444	2,486,947	6,336	0.15	2,898	0.17	3,438	0.14	
25	67,282	43,853	23,429	89	0.13	62	0.14	27	0.12	9.43
26	66,145	43,808	22,337	75	0.11	40	0.09	35	0.16	8.24
27	66,477	44,507	21,970	58	0.09	45	0.10	13	0.06	8.72
28	65,704	43,777	21,927	62	0.09	38	0.09	24	0.11	9.49
29	64,083	41,816	22,267	46	0.07	30	0.07	16	0.07	8.07
合計	4,510,082	1,911,205	2,598,877	6,666	0.15	3,113	0.16	3,553	0.14	8.82

国の指標値（許容値）

0.05%以上

4.0%以上

※（別掲）S45～53まで実施した自己採取の実施数は7,179名、発見がん数は8名

表5 子宮がん検診（頸部）実施状況及び発見がん数（平成29年度・管轄別）

管 轄	受 診 者 数			要 精 検 者 数						精 検 受 診 者 数		発 見 が ん 数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	34,703	24,018	10,685	405	1.17	286	1.19	119	1.11	382	94.3	26	0.07	21	0.09	5	0.05	6.42
旭川	21,514	13,361	8,153	104	0.48	59	0.44	45	0.55	98	94.2	14	0.07	6	0.04	8	0.10	13.46
釧路	7,866	4,437	3,429	36	0.46	18	0.41	18	0.52	33	91.7	4	0.05	1	0.02	3	0.09	11.11
合計	64,083	41,816	22,267	545	0.85	363	0.87	182	0.82	513	94.1	44	0.07	28	0.07	16	0.07	8.07

国の指標値（許容値）

1.4%以下

70%以上

0.05%以上

4.0%以上

※経過観察からの発見がんを除く

表6 子宮がん検診（頸部）精密検査結果（累計）

昭和41年度～平成29年度

年 度	精密検査 該当数	精密検査 受診者数	精検受診 率（％）	組織診結果内訳						(別掲) がん 経過観察期 間を経た者 数
				が ん		異型上皮		良 性		
				数	率（％）	数	率（％）	数	率（％）	
41～24	23,648	23,274	98.4	4,640	19.9	5,123	22.0	13,487	57.9	
25	859	804	93.6	63	7.8	350	43.5	373	46.4	18
26	850	802	94.4	50	6.2	334	41.6	397	49.5	20
27	619	574	92.7	39	6.8	210	36.6	310	54.0	15
28	632	589	93.2	45	7.6	240	40.7	289	49.1	15
29	545	513	94.1	36	7.0	234	45.6	235	45.8	8
計	27,153	26,556	97.8	4,873	18.3	6,491	24.4	15,091	56.8	76

※組織診結果は確定診断ではない。自己採取を除く。

※この発見がん数は“組織診ののちすぐにがんと診断されたもの”の数であるため、表4・5とは一致しない。

表7 子宮がん検診（頸部）経過観察結果（累計）

昭和41年度～平成25年度

年 度	経過観察該当数	経過観察受診者数	率（％）	経過観察からの 発見がん
41～24	53,447	49,182	92.0%	2,110
25	938	744	79.3%	16
計	54,385	49,926	91.8%	2,126

平成26年度～平成29年度

年 度	経過観察該当数	経過観察 受診者数	率（％）	経過観察からの 発見がん	該当月未到達
26	253	205	81.0	5	0
27	232	195	84.1	5	0
28	217	167	77.0	2	0
29	250	194	77.6	2	1
計	952	761	79.9	14	

※平成26年度よりシステム変更に伴い、経過観察該当数は当該年度に検診を受診し経過観察となった者のみとし、精検受診後に経過観察となった者や、前年度以前に検診を受診し経過観察中の者を含めないこととしたため、該当数が減少した。

表8 子宮がん検診（頸部）年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和41年度～平成28年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	46,122	118	0.26
30～39	916,904	2,076	0.23
40～49	1,344,672	2,245	0.17
50～59	1,167,287	1,161	0.10
60～69	751,532	628	0.08
70～	217,603	178	0.08
計	4,444,120	6,406	0.14

※10歳階級表

※この発見がん数は体部で要精検になったもののうち頸部がんの診断を受けたものも含むため表4・5とは一致しない。

表10 子宮がん検診（頸部）受診歴別発見がん数（平成29年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率(%)
初 回	20,652	31	0.15
1 年前	17,183	4	0.02
2 年前	22,498	6	0.03
3 年前	3,750	5	0.13
計	64,083	46	0.07

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表9 子宮がん検診（頸部）年齢別受診者数と発見がん数（平成29年度）

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～19	26	0	0.00
20～24	695	0	0.00
25～29	1,197	2	0.17
30～34	2,440	6	0.25
35～39	3,589	5	0.14
40～44	6,960	10	0.14
45～49	6,394	9	0.14
50～54	6,629	1	0.02
55～59	6,263	3	0.05
60～64	7,958	4	0.05
65～69	9,566	3	0.03
70～74	7,366	3	0.04
75～79	3,647	0	0.00
80～	1,353	0	0.00
計	64,083	46	0.07

※5歳階級表

※この発見がん数は体部で要精検になったもののうち頸部がんの診断を受けたものも含むため表4・5及び表10とは一致しない。

表11 子宮がん検診（頸部・体部）追跡調査による発見がんの内訳（累計）
昭和41年度～平成28年度

年 度	発見がん数	内 訳					
		頸 部 が ん				体部がん	その他のがん
		上皮内がん	浸潤がん		区分不能		
			I a	I b以上			
41～24	6,740	3,853	1,236	825	69	395	362
25	107	64	13	12	0	12	6
26	93	57	10	5	3	15	3
27	79	45	5	8	0	16	5
28	78	47	9	6	0	14	2
計	7,097	4,066	1,273	856	72	452	378

平成29年度

年 度	発見がん数	内 訳							
		頸 部 が ん						体部がん	その他のがん
		CIN3 (上皮内がん)	扁平上皮がん		上皮内 腺がん	腺がん	区分不能		
			I a	I b以上					
29	63	32	2	6	5	1	0	12	5

※子宮頸癌取扱い規約第4版に基づき、平成29年度のCIN3の分類を変更した。

表11 【再掲】 子宮がん検診（体部）発見がんの臨床病期

年度	発見がん数	0期	I a期	I b期	I c期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	肉腫	転移性 腺がん	進行期 不明	他	卵巣 がん
62～29	464	12	172	152	28	30	39	3	13	1	14	12	9

表12 子宮がん（体部）検診結果（累計）

昭和62年度～平成29年度

年 度	受診者数	有 所 見 者 数					細胞診結果			発見がん数
		要精検者数	要精検率 (%)	経過 観察者数	経過観察率 (%)	精検不要	陰性	疑陽性	陽性	
62～24	100,870	1,645	1.6	2,147	2.1		97,354	3,236	280	395
25	3,597	26	0.7	207	5.8	3,364	3,371	216	10	12
26	3,373	33	1.0	246	7.3	3,094	3,094	270	9	15
27	3,095	25	0.8	230	7.4	2,840	2,840	230	25	16
28	2,461	18	0.7	136	5.5	2,307	2,308	135	18	14
29	2,471	22	0.9	100	4.0	2,349	2,349	100	22	12
計	115,867	1,769	1.5	3,066	2.6	13,954	111,316	4,187	364	464

※H25までその他に超音波所見を含む

表13 子宮がん検診（体部）実施状況及び発見がん数（累計）

昭和62年度～平成29年度

年 度	受 診 者 数			発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
62～24	100,870	75,730	25,140	395	0.39	292	0.39	103	0.41	
25	3,597	2,963	634	12	0.33	10	0.34	2	0.32	42.31
26	3,373	2,830	543	15	0.44	14	0.49	1	0.18	36.36
27	3,095	2,588	507	16	0.52	11	0.43	5	0.99	40.00
28	2,461	2,002	459	14	0.57	11	0.55	3	0.65	61.11
29	2,471	2,063	408	12	0.49	7	0.34	5	1.23	54.55
合計	115,867	88,176	27,691	464	0.40	345	0.39	119	0.43	45.16

表14 子宮がん検診（体部）実施状況及び発見がん数（平成29年度・管轄別）

管轄	受診者数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	1,667	1,458	209	14	0.84	11	0.75	3	1.44	14	100.0	7	0.42	4	0.27	3	1.44	50.00
旭川	726	584	142	7	0.96	5	0.86	2	1.41	7	100.0	4	0.55	3	0.51	1	0.70	57.14
釧路	78	21	57	1	1.28	0	0.00	1	1.75	1	100.0	1	1.28	0	0.00	1	1.75	100.00
合計	2,471	2,063	408	22	0.89	16	0.78	6	1.47	22	100.0	12	0.49	7	0.34	5	1.23	54.55

※陽性反応適中度は経過観察からの発見がんをのぞいて算出。

表15 子宮がん検診（体部）精密検査結果（累計）

平成23年度～平成29年度

年 度	精密検査 該当数	精密検査 受診者数	精検受診 率（％）	組織診結果内訳						(別掲) がん 経過観察期 間を経た者 数
				が ん		子宮内膜増殖症		良 性		
				数	率（％）	数	率（％）	数	率（％）	
23～24	70	65	92.9	28	43.1	6	9.2	30	46.2	1
25	26	26	100.0	10	38.5	2	7.7	13	50.0	1
26	33	33	100.0	12	36.4	2	6.1	19	57.6	0
27	25	25	100.0	10	40.0	1	4.0	14	56.0	0
28	18	18	100.0	9	50.0	0	0.0	7	38.9	2
29	22	22	100.0	12	54.5	1	4.5	9	40.9	0
計	194	189	97.4	81	42.9	12	6.3	92	48.7	4

※組織診結果は確定診断ではない。自己採取を除く。

※この発見がん数は“組織診ののちすぐにごんと診断されたもの”の数であるため、表12～14とは一致しない。

表16 子宮がん検診（体部）経過観察結果（累計）

平成23年度～平成29年度

年度	経過観察該当数	経過観察受診者数	率（％）	経過観察からの 発見がん
23～24	218	197	90.4	5
25	207	188	90.8	1
26	246	235	95.5	3
27	230	219	95.2	5
28	135	126	93.3	3
29	100	87	87.0	0
計	1,136	1,052	92.6	17

表17 子宮がん検診（体部）年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和62年度～平成28年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率（％）
～29	15	0	0.00
30～39	505	4	0.79
40～49	7,513	51	0.68
50～59	22,022	298	1.35
60～69	18,307	164	0.90
70～	6,999	62	0.89
計	55,361	579	1.05

※10歳階級表

※この発見がん数は頸部で要精検になったもののうち体部がんの診断を受けたものも含むため表12・13とは一致しない。

表19 子宮がん検診（体部）受診歴別発見がん数（平成29年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率（％）
初 回	1,597	5	0.31
1 年前	333	3	0.90
2 年前	426	4	0.94
3 年前	115	0	0.00
計	2,471	12	0.49

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表18 子宮がん検診（体部）年齢別受診者数と発見がん数（平成29年度）

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率（％）
～29	3	0	0.00
30～34	3	0	0.00
35～39	23	0	0.00
40～44	106	0	0.00
45～49	213	1	0.47
50～54	447	3	0.67
55～59	301	1	0.33
60～64	392	2	0.51
65～69	459	3	0.65
70～74	353	4	1.13
75～79	137	1	0.73
80～	34	1	2.94
計	2,471	16	0.65

※5歳階級表

※この発見がん数は頸部で要精検になったもののうち体部がんの診断を受けたものも含むため表12～14及び表19とは一致しない。

乳がん検診

平成29年度は、3台の検診車で123市町村¹⁾を延330日間²⁾巡回したほか、8事業所³⁾に延17日間⁴⁾巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、296名（平成30年12月15日現在）のがんを発見した。

1) 札幌64・旭川38・釧路21市町村 2) 札幌162・旭川114・釧路54日間 3) 札幌6・釧路2事業所 4) 札幌13・釧路4日間

	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	59,151	32,677	19,065	7,409	35,255	21,125	10,433	3,697	23,896	11,552	8,632	3,712
事業所 ⁶⁾	7,724	4,176	2,398	1,150	6,518	3,546	2,148	824	1,206	630	250	326
個 人 ⁷⁾	4,512	2,297	1,963	252	4,465	2,297	1,916	252	47	0	47	0
合 計	71,387	39,150	23,426	8,811	46,238	26,968	14,497	4,773	25,149	12,182	8,929	4,038

5) 実施主体が市町村のもの 6) 実施主体が事業所のもの 7) 上記以外のもの

【検診の受診状況】

受診総数71,387名のうち、検診車による巡回検診は25,149名（35.2%）、検診センターでの施設検診は46,238名（64.8%）であった。国の指針による40歳以上のマンモグラフィ併用検診対象者は隔年受診のため、平成27年度の受診数と比較すると118名減（検診車2,966名増、検診センター3,084名減）であった（表1）。受診歴別にみると、初回受診者数は1,049名減、1年前受診者数は1143名増、2年前受診者数は171名増、3年前受診者数は383名減となっている。49歳以下の受診数は316名増、70歳以上の受診数は1,139名増であったが、50歳～69歳の受診数は1,573名減であった。

要精検者は1,964名（要精検率2.8%）、経過観察者は87名であった（表1）。

【発見がんの状況】

平成29年度の発見がん数は296名、乳がん発見率0.41%、陽性反応適中度15.02%であった（表2、3）。

発見率を年齢階級別にみると、70～74歳で0.62%と最も高く、ついで80歳以上で0.54%、65～69歳で0.49%となっている。全体的には、60歳以上の発見率が高いが、45～49歳の発見率が0.47%、50～54歳で0.43%と高い傾向がみられている（表7）。

また、受診歴別にみると、初回受診者は0.64%と最も多く、次いで3年前受診者は0.4%、2年前受診者が0.37%、1年前受診者で0.17%であった（表8）。平成24年度から平成28年度では、I期以下の早期がん割合は69.1%、そのうち非浸潤癌の割合は22.7%であった。

【まとめ】

ここ数年、タレントの乳がん告白などメディアによる乳がんの情報が多く取り上げられ、その影響もあるのか平成27年度から受診数は増加していたが、平成29年度は減少となった。乳がんへの関心が一旦落ち着いたことも考えられるが、40歳代以下の受診数は伸びており、若い世代の乳がんへの関心が高まっている傾向がうかがえた。受診数の増加が一時的なものではなく、継続して関心を持ってもらえるよう、今後も啓発活動・ピンクリボン活動など積極的に参加していき、北海道の受診率向上に役立てていきたい。

（保健師 吉川 泰代）

表1 乳がん検診結果（累計）

昭和48年度～平成29年度

年度	受診者数	有所見者数						有所見内訳					精検検査方法内訳		
		要精検者数	要精検率 (%)	経過観察者数	(%)	良性	(%)	乳がん	発見率 (%)	乳腺症	乳腺線維腺腫	その他	XP	超音波	細胞診
48～24	2,368,026	137,303	5.8	18,144	0.8	59,570	2.5	7,176	0.30	139,252	7,376	63,455	69,657	65,214	12,684
25	68,885	2,953	4.3	131	0.2	586	0.9	308	0.45	962	229	1,975	345	811	109
26	68,309	2,764	4.0	149	0.2	389	0.6	304	0.45	403	212	1,909	331	810	91
27	71,505	2,618	3.7	75	0.1	354	0.5	325	0.45	303	160	1,846	269	661	92
28	71,864	2,285	3.2	67	0.1	93	0.1	260	0.36	204	107	1,735	361	805	89
29	71,387	1,964	2.8	87	0.1	59	0.1	296	0.41	160	97	1,383	307	638	69
計	2,719,976	149,887	5.5	18,653	0.7	61,051	2.2	8,669	0.32	141,284	8,181	72,303	71,270	68,939	13,134

国の指標値（許容値）

11.0%以下

0.23%以上

※有所見内訳と有所見総数は1人で2つ以上の所見を有する場合があります一致しない。

※精検検査方法内訳と要精検者数は1人で2つ以上を実施する場合があります一致しない。

表2 乳がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

昭和48年度～平成29年度

年度	受診者数			発見がん数						陽性反応 適中度 (%)
	総数	検診 センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
48～24	2,368,026	1,379,951	988,075	7,176	0.30	5,181	0.38	1,995	0.20	
25	68,885	46,927	21,958	308	0.45	229	0.49	79	0.36	8.74
26	68,309	46,907	21,402	304	0.45	217	0.46	87	0.41	10.96
27	71,505	49,322	22,183	325	0.45	231	0.47	94	0.42	12.41
28	71,864	48,503	23,361	260	0.36	196	0.40	64	0.27	11.20
29	71,387	46,238	25,149	296	0.41	210	0.45	86	0.34	15.02
合計	2,719,976	1,617,848	1,102,128	8,669	0.32	6,264	0.39	2,405	0.22	

国の指標値（許容値）

0.23%以上

2.5%以上

※平成17年度よりマンモグラフィを全員に実施。

※陽性反応適中度は経過観察からの発見がんを除いて算出。

表3 乳がん検診実施状況及び発見がん数（平成29年度・管轄別）

管轄	受診者数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	39,150	26,968	12,182	932	2.4	630	2.3	302	2.5	914	98.1	165	0.42	128	0.47	37	0.30	17.70
旭川	23,426	14,497	8,929	688	2.9	406	2.8	282	3.2	680	98.8	102	0.44	68	0.47	34	0.38	14.68
釧路	8,811	4,773	4,038	344	3.9	232	4.9	112	2.8	332	96.5	29	0.33	14	0.29	15	0.37	8.43
合計	71,387	46,238	25,149	1,964	2.8	1,268	2.7	696	2.8	1926	98.1	296	0.41	210	0.45	86	0.34	15.02

国の指標値（許容値）

11.0%以下

80%以上

0.23%以上

2.5%以上

※陽性反応適中度は経過観察からの発見がんを除いて算出。

表4 乳がん検診要組織診結果（累計）

昭和53年度～平成25年度

年 度	要 組 織 診 該 当 数	組 織 診 受 診 数	有 所 見							
			乳 が ん	(%)	乳 腺 症	(%)	乳 腺 線 維 腺 腫	(%)	そ の 他	(%)
53～24	41,164	40,278	6,210	15.1	11,645	28.3	2,790	6.8	18,939	46.0
25	2,370	2,295	302	12.7	241	10.2	106	4.5	1,606	67.8
計	43,534	42,573	6,512	15.0	11,886	27.3	2,896	6.7	20,545	47.2

※組織診受診者数と有所見は1人で2つ以上の所見を有する場合がありますが一致しない。

※この表の有所見内訳は、経過観察期間を経ずに診断された件数であり、表1の内訳とは一致しない。

表5 乳がん検診要精検結果（累計）

平成26年度～平成29年度

年 度	要精検者数	精検 受診者数	有 所 見 内 訳							
			乳 が ん	(%)	乳 腺 症	(%)	乳 腺 線 維 腺 腫	(%)	そ の 他	(%)
26	2,764	2,713	303	11.0	287	10.4	209	7.6	1,828	66.1
27	2,618	2,568	325	12.4	303	11.6	152	5.8	1,814	69.3
28	2,285	2,247	256	11.2	204	8.9	107	4.7	1,735	75.9
29	1,964	1,926	295	15.0	160	8.1	97	4.9	1,383	70.4
計	9,631	9,454	1,179	12.2	954	9.9	565	5.9	6,760	70.2

※平成26年度よりシステム変更に伴い、要組織診該当数の算出が困難となったため、表4から表5へと変更した。

※精検受診者数と有所見内訳は1人で2つ以上の所見を有する場合がありますが一致しない。

※この表の有所見内訳は、経過観察からの発見がんを除く。

表6 年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和48年度～平成28年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	16,795	16	0.10
30～39	339,862	379	0.11
40～49	719,789	2,290	0.32
50～59	754,788	2,298	0.30
60～69	607,211	2,344	0.39
70～	210,144	1,046	0.50
計	2,648,589	8,373	0.32

※10歳階級表

表7 年齢別受診者数と発見がん数

(平成29年度)

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	751	0	0.00
30～34	1,592	1	0.06
35～39	2,683	3	0.11
40～44	8,794	20	0.23
45～49	7,472	35	0.47
50～54	7,897	34	0.43
55～59	7,222	27	0.37
60～64	9,141	39	0.43
65～69	11,072	54	0.49
70～74	8,719	54	0.62
75～79	4,365	20	0.46
80～	1,679	9	0.54
計	71,387	296	0.41

※5歳階級表

表8 受診歴別発見がん数（平成29年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率(%)
初回受診	23,730	151	0.64
1年前受診	16,409	28	0.17
2年前受診	27,030	100	0.37
3年前受診	4,218	17	0.40
計	71,387	296	0.41

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表9 がん発見時の受診状況（累計）

昭和48年度～平成28年度

年度	発見がん数	発見時の内訳		
		初回受診	経過観察	再受診
48～23	6,840	3,291	1,003	2,546
24	336	191	30	115
25	308	147	50	111
26	304	158	27	119
27	325	182	27	116
28	260	122	26	112
計	8,373	4,091	1,163	3,119

※再受診とは・・・前回の検診から3年以内に検診を受診し、
1ヶ月以上の経過観察指示を受けずに乳癌と診断された方

表10 追跡調査による発見がんの病期区分（累計）

昭和48年度～平成28年度

年 度	総 数	病 期 分 類								
		早 期 が ん				進 行 が ん				不 明
		計	O	I	旧分類O	計	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	
48～23	6,840	3,938	694	3,189	55	2,846	2,414	366	66	56
24	336	229	46	183	0	102	91	9	2	5
25	308	217	55	162	0	85	79	5	1	6
26	304	206	40	166	0	94	80	9	5	4
27	325	224	58	166	0	96	84	9	3	5
28	260	183	41	142	0	73	69	4		4
合計	8,373	4,997	934	4,008	55	3,296	2,817	402	77	80

乳癌取扱い規約に準ずる。

肺がん検診

平成29年度は、18台の検診車で121市町村¹⁾を延1,777日間²⁾巡回したほか、23事業所³⁾に延23日間⁴⁾巡回し、検診を実施した。胸部CT検査に関しては、1台の検診車で22市町村を延49日間巡回したほか、5事業所に延8日間巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、胸部X線検査では79名、胸部CT検査では17名（平成30年12月15日現在）のがんを発見した。

1) 札幌57・旭川45・釧路19市町村 2) 札幌684・旭川615・釧路478日間 3) 札幌13・旭川4・釧路6事業所 4) 札幌10・旭川4・釧路9日間

胸部 X線検査	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	80,036	31,779	30,765	17,492	16,955	5,220	8,111	3,624	63,081	26,559	22,654	13,868
事業所 ⁶⁾	3,033	2,272	101	660	103	64	61	33	2,930	2,208	95	627
個人 ⁷⁾	6,688	6,590	71	27	6,670	6,589	6	20	18	1	10	7
合計	89,757	40,641	30,937	18,179	23,728	11,873	8,178	3,677	66,029	28,768	22,759	14,502

胸部 CT検査	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	2,201	526	1,337	338	189	61	128	0	2,012	465	1,209	338
事業所 ⁶⁾	283	274	6	3	117	108	6	3	166	166	0	0
個人 ⁷⁾	1,901	1,753	64	84	1,845	1,753	64	28	56	0	0	56
合計	4,385	2,553	1,407	425	2,151	1,922	198	31	2,234	631	1,209	394

5) 実施主体が市町村のもの 6) 実施主体が事業所のもの 7) 上記以外のもの

【胸部X線による肺がん検診】

胸部X線検査の総受診者数は89,757名（前年比1,179名減、増加率-1.3%）で、性・年齢別受診者数では、男女とも65～74歳代の受診が多く、実施形態別では検診車が66,029名で73.6%を占めている（表6）。受診歴別受診者数では1年前受診が54,220名と経年受診が半数以上を占めた（表7）。肺がん検診結果では、精検受診率や、がん発見率、陽性反応的中度は例年と変わりなく、いずれも国の指標を大きく上回っている（表1、2、3）。

追跡調査による発見がんの平成28年度までの累計では、発見がん2,358名のうち、0期21名、I期1,270名で合わせると54.7%が早期で発見されている（表8）。

肺がんは罹患数が多く、死亡率も高い。とりわけ、北海道の肺がん死亡率は全国でもトップレベルである。検診では早期がんの発見率が高いため、今後も受診拡大や、継続受診に向けたアプローチが必要である。

【低線量CTによる肺がん検診】

胸部X線検査の総受診数は減少傾向だが、胸部CT検査の総受診数は4,385名で増加傾向である。（124名増、増加率3.0%）。精検受診率は96.1%で高い割合を維持している（表2）。平成29年の肺がん発見率は0.36%で例年より低いが、現時点ではまだ追跡中で、確定診断がついていない受診者もいることから、今後の上昇が見込まれる（表1）。

追跡調査による発見がんの平成28年までの累計では0期4名、I期144名で、合わせると79.6%が早期に発見されている（表4）。胸部X線と比べ、早期の割合が高いが、確定診断が不可能な大きさのうちに要精検となったものは、がんを疑いながら経過観察を必要とされるため、検診の性質を理解したうえで受診できるよう十分な配慮が必要である。

（保健師 横内 紫乃）

表1 肺がん検診結果（累計）

昭和51年度～平成29年度

年 度	受 診 者 数		要精検者数	要精検率 (%)	有所見者数	有所見率 (%)	精検受診数	精検受診率 (%)
		(再掲) 喀痰実施数						
51～24	2,705,963	213,436	93,598	3.5	321,316	11.9	86,659	92.6
25	91,329	3,419	2,091	2.3	10,608	11.6	1,933	92.4
26	90,431	2,592	2,040	2.3	10,642	11.8	1,896	92.9
27	94,015	2,454	1,829	1.9	11,633	12.4	1,676	91.6
28	90,936	2,329	2,386	2.6	11,762	12.9	2,227	93.3
29	89,757	2,040	2,012	2.2	11,452	12.8	1,862	92.5
計	3,162,431	226,270	103,956	3.3	377,413	11.9	96,253	92.6

国の指標値（許容値）

3.0%以下

指標なし

70%以上

※平成26年度よりシステム変更に伴い、これまで含まれていなかった事業所分・人間ドック分の受診者数を含めるように改変した。（胃がん・肺がん・大腸がん）

表2 肺がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

昭和51年度～平成29年度

年 度	受 診 者 数			発 見 が ん 数						陽性反応 適中度 (%)
	総 数	検診 センター	検 診 車	総 数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
51～24	2,705,963	491,579	2,214,384	2,018	0.07	435	0.09	1,583	0.07	2.16
25	91,329	25,778	65,551	85	0.09	20	0.08	65	0.10	4.07
26	90,431	24,982	65,449	91	0.10	22	0.09	69	0.11	4.46
27	94,015	25,934	68,081	79	0.08	15	0.06	61	0.09	4.32
28	90,936	24,544	66,392	85	0.09	14	0.06	67	0.10	3.56
29	89,757	23,728	66,029	79	0.09	21	0.09	58	0.09	3.93
合計	3,162,431	616,545	2,545,886	2,437	0.08	527	0.09	1,903	0.07	2.34

国の指標値（許容値）

0.03%以上

1.3%以上

表3 肺がん検診実施状況及び発見がん数（平成29年度・管轄別）

管轄	受 診 者 数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	40,641	11,873	28,768	559	1.4	154	1.3	405	1.4	517	92.5	29	0.07	9	0.08	20	0.07	5.19
旭川	30,937	8,178	22,759	1,121	3.6	65	0.8	1,056	4.6	1,042	93.0	33	0.11	5	0.06	28	0.12	2.94
釧路	18,179	3,677	14,502	332	1.8	61	1.7	271	1.9	303	91.3	17	0.09	7	0.19	10	0.07	5.12
合計	89,757	23,728	66,029	2,012	2.2	280	1.2	1,732	2.6	1,862	92.5	79	0.09	21	0.09	58	0.09	3.93

国の指標値（許容値）

3.0%以下

70%以上

0.03%以上

1.3%以上

表4 喀痰細胞診実施結果（累計・抜粋）

昭和62年度～平成29年度

年 度	喀痰検査 実施数	要精検者数	要経過 観察者数	判 定 区 分					肺がん	その他の がん
				A	B	C	D	E		
62～24	196,742	408	3,179	662	192,523	3,160	216	181	228	39
25	3,419	4	30	3	3,382	29	3	2	4	1
26	2,592	2	25	2	2,566	22	1	1	3	0
27	2,454	0	9	2	2,447	5	0	0	0	0
28	2,329	2	5	1	2,321	5	1	1	0	1
29	2,040	2	7	1	2,350	9	3	1	1	0
計	209,576	418	3,255	671	205,589	3,230	224	186	236	41

表5 年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和51年度～平成28年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～39	206,012	4	0.002
40～49	493,706	62	0.01
50～59	699,145	230	0.03
60～69	992,188	1,011	0.10
70～	681,623	1,051	0.15
計	3,072,674	2,358	0.08

※10歳階級表

表6 性・年齢別受診者数と発見がん数（平成29年度）

年 齢	受 診 者 数			発見がん数			発見率 (%)		
性 別	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性
～39	4,119	1,868	2,251	0	0	0	0.00	0.00	0.00
40～44	4,331	1,469	2,862	0	0	0	0.00	0.00	0.00
45～49	4,295	1,525	2,770	0	0	0	0.00	0.00	0.00
50～54	4,919	1,585	3,334	1	0	1	0.02	0.00	0.03
55～59	5,894	1,784	4,110	3	2	1	0.05	0.11	0.02
60～64	10,468	3,357	7,111	4	1	3	0.04	0.03	0.04
65～69	19,685	7,459	12,226	20	11	9	0.10	0.15	0.07
70～74	17,192	6,789	10,403	21	14	7	0.12	0.21	0.07
75～79	11,632	5,022	6,610	22	15	7	0.19	0.30	0.11
80～	7,222	3,701	3,521	8	6	2	0.11	0.16	0.06
総 数	89,757	34,559	55,198	79	49	30	0.09	0.14	0.05

※5歳階級表

表7 性・受診歴別受診者数および発見がん数（平成29年度）

受診歴	受診者数			発見がん数			発見率（％）		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
初 回	35,537	12,437	23,100	44	22	22	0.12	0.18	0.10
1 年 前	54,220	22,122	32,098	35	27	8	0.06	0.12	0.02
計	89,757	34,559	55,198	79	49	30	0.09	0.14	0.05

※初回受診には、2年以上受診のなかった方も含む

表8 追跡調査による発見がんの病期区分（累計）

昭和51年度～平成28年度

年 度	発見がん数	病 期 分 類						
		〇 C	〇	I	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	不 明
51～23	1,931	2	20	1,044	135	456	230	44
24	87	0	1	50	9	13	12	2
25	85	0	0	49	6	15	13	2
26	91	0	0	40	12	22	15	2
27	79	0	0	43	4	15	12	5
28	85	0	0	44	7	21	10	3
計	2,358	2	21	1,270	173	542	292	58

肺癌取扱い規約準ずる。

C T肺がん検診

表1 C T肺がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

平成14年度～平成29年度

年度	受診者数			要精検者数						発見がん数					
	総数	検診センター	検診車	総数	要精検率(%)	検診センター	要精検率(%)	検診車	要精検率(%)	総数	発見率(%)	検診センター	発見率(%)	検診車	発見率(%)
14～24	21,160	14,166	6,994	1,176	5.6	882	6.2	294	4.2	112	0.53	76	0.54	36	0.51
25	3,908	2,027	1,881	162	4.1	113	5.6	49	2.6	20	0.51	16	0.79	4	0.21
26	3,766	1,947	1,819	111	2.9	78	4.0	33	1.8	14	0.37	9	0.46	5	0.27
27	4,138	2,140	1,998	144	3.5	78	3.6	66	3.3	22	0.53	14	0.65	8	0.40
28	4,261	2,129	2,132	248	5.8	112	5.3	136	6.4	18	0.42	11	0.52	7	0.33
29	4,385	2,151	2,234	206	4.7	79	3.7	127	5.7	16	0.36	4	0.19	12	0.54
合計	41,618	24,560	17,058	2,047	4.9	1,342	5.5	705	4.1	202	0.49	130	0.53	72	0.42

表2 C T肺がん検診結果（累計）

平成14年度～平成29年度

年 度	受診者数		要精検者数	要精検率(%)	有所見者数	有所見率(%)	精検受診数	精検受診率(%)
	(再掲) 喀痰実施数							
14～24	21,160	3,991	1,176	5.6	15,404	72.8	1,120	95.2
25	3,908	579	162	4.1	3,221	82.4	155	95.7
26	3,766	398	111	2.9	3,233	85.8	105	94.6
27	4,138	455	144	3.5	3,453	83.4	136	94.4
28	4,261	378	248	5.8	3,497	82.1	237	95.6
29	4,385	324	206	4.7	3,578	81.6	198	96.1
計	41,618	6,125	2,047	4.9	32,386	77.8	1,951	95.3

注) 平成18年度より政管・ドック分も含む

表3 C T肺がん検診喀痰細胞診結果（累計・抜粋）

平成14年度～平成29年度

年 度	喀痰検査 実施数	要精検者数	要経過 観察者数	判 定 区 分					肺がん	その他の がん
				A	B	C	D	E		
14～23	3,445	7	81	14	3,350	76	4	1	2	0
24	546	1	4	2	539	4	1	0	0	0
25	579	0	4	3	572	3	1	0	0	0
26	398	0	6	3	392	3	0	0	0	0
27	455	0	2	0	453	2	0	0	0	0
28	378	0	2	0	376	2	0	0	0	0
29	324	0	4	0	319	3	2	0	1	0
計	6,125	8	103	22	6,001	93	8	1	3	0

表4 追跡調査による発見がんの病期区分（ＣＴ検診発見分・累計）

平成14年度～平成28年度

年 度	発見がん数	病 期 分 類						
		ＯＣ	Ｏ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	不明
14～23	89	0	0	72	4	8	5	0
24	23	0	0	17	5	1	0	0
25	20	0	0	16	1	2	1	0
26	14	0	3	10	0	1	0	0
27	22	0	1	16	0	3	2	0
28	18	0	0	13	2	2	1	0
計	186	0	4	144	12	17	9	0

注）平成18年度より政管・ドック分も含む

大腸がん検診

平成29年度は、128市町村¹⁾、1,999事業所²⁾で検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、391名（平成30年12月15日現在）のがんを発見した。

1) 札幌62・旭川45・釧路21市町村 2) 札幌1,215・旭川431・釧路353事業所

	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ³⁾	114,353	63,592	34,054	16,707	32,550	19,680	8,921	3,949	81,803	43,912	25,133	12,758
事業所 ⁴⁾	10,905	6,478	2,504	1,923	9,265	6,003	1,623	1,639	1,640	475	881	284
個 人 ⁵⁾	826	613	151	62	815	608	146	61	11	5	5	1
合 計	126,084	70,683	36,709	18,692	42,630	26,291	10,690	5,649	83,454	44,392	26,019	13,043

3) 実施主体が市町村のもの 4) 実施主体が事業所のもの 5) 上記以外のもの

【最近の動向について】

平成29年度、がん死亡数は373,334名（大腸がん死亡数50,681名）で昨年度よりも増加していた^{※1}。また部位別死亡数順位（2016）は、大腸がんが男性3位、女性1位、がん罹患数全国推計値（2014）は男性3位、女性2位であった^{※2}。※1 厚労省人口動態統計 ※2 最新がん統計

【検診の受診状況】

受診総数は126,084名（前年比3,872名減、増加率-3.0%）で、検診車による巡回検診が83,454名（前年比増加率-4.0%）、検診センターでの施設検診が42,630名（前年比増加率-1.2%）であった。とりわけ、札幌管轄の巡回検診の減少が多かった（3,342名減、表2）。受診歴別にみると、初回受診者（過去3年間、当協会における大腸がん検診の受診歴がない者）の割合は全体の22.5%であった（表7）。

【精密検査の受診状況】

要精検者は10,000名（検診車7,020名、検診センター2,980名）で、要精検率は7.9%、精検受診率は83.4%であった（表3）。また男女ともに若年であるほど精検受診率は低く、最低65.3%（～39歳）、最高90.3%（75～79歳）と世代間の差が大きかった。また、性別の精検受診率は男性80.9%、女性85.7%と性別間でも差が見られた（表4）。

【発見がんについて】

平成29年度の発見がんの総数は391名（男性207名、女性184名）で、がん発見率は0.31%、陽性反応適中度は3.91%であった（表2）。男女共に初回受診者において、また、高齢になるほどがん発見率が高かった（表4）。追跡調査の結果、平成28年度の検診で発見されたがんのうち73.0%が早期がんであった（表8）。

【まとめ】

受診数は平成28年度より減少したが、減少率は下がった。また、経年受診が多く、がん発見率の高い初回受診割合が少ないことから、新規受診の開拓が必要である。さらに、精検未受診で検診を受診する人もおり、検診および精検の目的を正しく伝えることも必要と考える。

（保健師 辻 香里）

表1 大腸がん検診結果及び精検結果（累計）

昭和62年度～平成29年度

年 度	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	精検受診者数	精検受診率(%)	精 検 結 果 内 訳					
						大腸がん	炎症	潰瘍	ポリープ	そ の 他	異常なし
62～24	2,558,323	264,273	10.3	224,570	85.0	7,808	2,834	214	88,114	28,494	97,106
25	124,216	9,614	7.7	8,334	86.7	436	165	12	4,147	1,260	2,314
26	130,777	10,701	8.2	9,120	85.2	446	149	8	4,596	1,351	2,570
27	140,181	11,128	7.9	9,352	84.0	468	148	11	4,749	1,445	2,531
28	129,956	9,814	7.6	8,177	83.3	414	139	7	4,060	1,321	2,236
29	126,084	10,000	7.9	8,344	83.4	391	130	6	3,703	1,971	2,143
計	3,209,537	315,530	9.8	267,897	84.9	9,963	3,565	258	109,369	35,842	108,900

国の指標値（許容値）

7.0%以下

70.0%以上

表2 大腸がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

昭和62年度～平成29年度

年 度	受 診 者 数			発 見 が ん 数						陽性反応適中度(%)
	総 数	検診センター	検 診 車	総 数	%	検診センター	%	検 診 車	%	
62～24	2,558,323	683,118	1,875,205	7,808	0.31	1,978	0.29	5,830	0.31	2.95
25	124,216	40,107	84,109	436	0.35	118	0.29	318	0.38	4.54
26	130,777	43,103	87,674	446	0.34	119	0.28	327	0.37	4.17
27	140,181	45,673	94,508	468	0.33	126	0.28	342	0.36	4.21
28	129,956	43,160	86,796	414	0.32	110	0.25	304	0.35	4.22
29	126,084	42,630	83,454	391	0.31	113	0.27	278	0.33	3.91
合計	3,209,537	897,791	2,311,746	9,963	0.31	2,564	0.29	7,399	0.32	3.16

国の指標値（許容値）

0.13%以上

1.9%以上

表3 大腸がん検診実施状況及び発見がん数（平成29年度・管轄別）

管 轄	受 診 者 数			要 精 検 者 数						精検受診者数		発 見 が ん 数						陽性反応適中度(%)
	総 数	検診センター	検診車	総数	%	検診センター	%	検診車	%	総数	%	総数	%	検診センター	%	検診車	%	
札幌	70,683	26,291	44,392	5,605	7.9	1,846	7.0	3,759	8.5	4,726	84.3	214	0.30	62	0.24	152	0.34	3.82
旭川	36,709	10,690	26,019	2,802	7.6	724	6.8	2,078	8.0	2,324	82.9	110	0.30	31	0.29	79	0.30	3.93
釧路	18,692	5,649	13,043	1,593	8.5	410	7.3	1,183	9.1	1,294	81.2	67	0.36	20	0.35	47	0.36	4.21
合計	126,084	42,630	83,454	10,000	7.9	2,980	7.0	7,020	8.4	8,344	83.4	391	0.31	113	0.27	278	0.33	3.91

国の指標値（許容値）

7.0%以下

70%以上

0.13%以上

1.9%以上

※陽性反応適中率は経過観察からの発見がんをのぞいて算出した。

表4 性・年齢別大腸がん検診実施状況及び精密検査結果（平成29年度）

年齢	性別	受診者数	要精検者数	精検 受診者数	精 検 結 果 内 訳					
					大腸がん	炎症	潰瘍	ポリープ	その他	異常なし
～39	男	1,597	80	51	1	3	0	11	14	22
	女	1,591	93	62	0	2	0	12	15	33
	計	3,188	173	113	1	5	0	23	29	55
40～44	男	2,878	171	117	1	8	1	39	31	37
	女	4,888	276	191	4	9	0	41	48	89
	計	7,766	447	308	5	17	1	80	79	126
45～49	男	2,799	154	84	1	1	0	40	21	21
	女	4,830	280	202	8	2	0	59	50	83
	計	7,629	434	286	9	3	0	99	71	104
50～54	男	2,799	193	124	6	5	0	55	24	34
	女	5,716	309	241	12	5	0	70	63	91
	計	8,515	502	365	18	10	0	125	87	125
55～59	男	3,134	225	151	7	2	1	76	31	34
	女	6,397	313	265	8	7	1	78	71	100
	計	9,531	538	416	15	9	2	154	102	134
60～64	男	4,890	405	297	19	3	0	157	72	46
	女	10,167	584	502	23	12	1	166	119	181
	計	15,057	989	799	42	15	1	323	191	227
65～69	男	9,999	951	782	53	10	0	406	190	123
	女	16,228	1,074	977	43	17	1	402	237	277
	計	26,227	2,025	1,759	96	27	1	808	427	400
70～74	男	9,087	1,015	876	56	6	0	491	176	147
	女	13,716	1,007	912	41	11	0	385	215	260
	計	22,803	2,022	1,788	97	17	0	876	391	407
75～79	男	6,757	832	748	44	9	0	404	172	119
	女	8,883	786	713	31	6	1	303	168	204
	計	15,640	1,618	1,461	75	15	1	707	340	323
80～	男	4,911	740	627	19	2	0	340	146	120
	女	4,817	512	422	14	10	0	168	108	122
	計	9,728	1,252	1,049	33	12	0	508	254	242
合計	男	48,851	4,766	3,857	207	49	2	2,019	877	703
	女	77,233	5,234	4,487	184	81	4	1,684	1,094	1,440
	計	126,084	10,000	8,344	391	130	6	3,703	1,971	2,143

表5 年齢別受診者数と発見がん数（累計）
昭和62年度～平成28年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率（％）
～29	5,167	1	0.02
30～39	62,907	33	0.05
40～49	433,042	432	0.10
50～59	696,932	1,404	0.20
60～69	1,111,960	4,059	0.37
70～	773,445	3,643	0.47
計	3,083,453	9,572	0.31

※10歳階級表

表6 性・年齢別受診者数と発見がん数（平成29年度）

年 齢	受 診 者 数			発見がん数			発見率（％）		
性 別	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性
～29	186	104	82	0	0	0	0.00	0.00	0.00
30～34	656	335	321	0	0	0	0.00	0.00	0.00
35～39	2,346	1,158	1,188	1	1	0	0.04	0.09	0.00
40～44	7,766	2,878	4,888	5	1	4	0.06	0.03	0.08
45～49	7,629	2,799	4,830	9	1	8	0.12	0.04	0.17
50～54	8,515	2,799	5,716	18	6	12	0.21	0.21	0.21
55～59	9,531	3,134	6,397	15	7	8	0.16	0.22	0.13
60～64	15,057	4,890	10,167	42	19	23	0.28	0.39	0.23
65～69	26,227	9,999	16,228	96	53	43	0.37	0.53	0.26
70～74	22,803	9,087	13,716	97	56	41	0.43	0.62	0.30
75～79	15,640	6,757	8,883	75	44	31	0.48	0.65	0.35
80～	9,728	4,911	4,817	33	19	14	0.34	0.39	0.29
総 数	126,084	48,851	77,233	391	207	184	0.31	0.42	0.24

※5歳階級表

表7 性・受診歴別受診者数及び発見がん数（平成29年度）

受診歴	受 診 者 数			発見がん数			発見率（％）		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
初 回	28,409	10,804	17,605	183	98	85	0.64	0.91	0.48
1 年 前	76,875	31,727	45,148	142	78	64	0.18	0.25	0.14
2 年 前	16,288	4,827	11,461	45	24	21	0.28	0.50	0.18
3 年 前	4,512	1,493	3,019	21	7	14	0.47	0.47	0.46
計	126,084	48,851	77,233	391	207	184	0.31	0.42	0.24

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表8 追跡調査による発見がんの内訳（累計）

昭和62年度～平成28年度

年度	発見がん数 (A)	手術 施行数 (B)	B/A (%)	手術施行内訳 (C)						(再掲) 内視鏡 切除数 (D)	D/B (%)	手術 未施行 (E)	E/A (%)
				早期 がん	C/B (%)	進行 がん	C/B (%)	深達度 不明	C/B (%)				
62～23	7,406	7,343	99.1	4,908	66.8	2,408	32.8	27	0.4	3,533	48.1	63	0.9
24	402	397	98.8	276	69.5	121	30.5	0	0.0	208	52.4	5	1.2
25	436	430	98.6	305	70.9	125	29.1	0	0.0	227	52.8	6	1.4
26	446	440	98.7	301	68.4	137	31.1	2	0.5	225	51.1	6	1.3
27	468	464	99.1	316	68.1	148	31.9	0	0.0	230	49.6	4	0.9
28	414	407	98.3	297	73.0	109	26.8	1	0.2	233	57.2	7	1.7
計	9,572	9,481	99.0	6,403	67.5	3,048	32.1	30	0.3	4,656	49.1	91	1.0

表9 発見がんにおける手術施行者の深達度（平成28年度）

手術施行	早 期 が ん		進 行 が ん				深達度不明
	m	s m	m p	s s	s e (a)	s i (a i)	
407	204	93	30	50	25	4	1

大腸癌取扱い規約に準ずる。

前立腺がん検診

平成29年度は、65市町村¹⁾、4事業所²⁾を巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、138名（平成30年1月11日現在）のがんを発見した。

1) 札幌25・旭川26・釧路14市町村 2) 札幌4事業所

	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ³⁾	11,917	4,769	3,582	3,566	1,104	369	160	575	10,813	4,400	3,422	2,991
事業所 ⁴⁾	687	363	273	51	563	341	171	51	124	22	102	0
個 人 ⁵⁾	3,335	2,278	980	77	3,177	2,120	980	77	158	158	0	0
合 計	15,939	7,410	4,835	3,694	4,844	2,830	1,311	703	11,095	4,580	3,524	2,991

3) 実施主体が市町村のもの 4) 実施主体が事業所のもの 5) 上記以外のもの

【検診の受診状況】

対象者は基本的に50歳以上と定められているが、実施主体によっては50歳以下も対象とし、PSA（前立腺特異抗原）の検査を実施している。受診総数は平成18年度から28年度まで年々増加していたが、平成29年度は648名の減少（減少率3.9%）であった（表1）。

【精密検査の受診状況】

要精検者数は824名で、要精検率は5.2%であった。そのうち精検受診者数は691名であり、精検受診率は83.9%で、例年と大きな差はなかった（表1）。

【発見がんについて】

発見がん（率）は138名（0.87%）で、検診センター42名、検診車96名であった（表3）。

年齢階級別にみると、50歳～54歳の階級以降からがんが発見されており、70歳～74歳の階級で発見率はピークとなっている（表5）。

受診歴別発見がんでは、初回受診者のがん発見率が最も高く、次いで2年前の受診者の発見率が高かった（表6）。

【まとめ】

前立腺がんは高齢化に伴って急増しており、現在は男性の11人に1人が罹患するといわれている。

前立腺がん検診は血液検査で行い、食事制限もないことから、健康診査等と同時に受診しやすい。特に50歳以上の働き盛りの世代を中心に、他のがん検診や健康診査等とあわせて受診するよう勧奨していきたい。

（保健師 安住 香代子）

表1 前立腺がん検診実施状況及び精検結果（累計）

平成9年度～平成29年度

年 度	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	精検 受診者数	精検受診率 (%)	精 検 結 果 内 訳			
						前立腺がん	前立腺肥大	そ の 他	異常なし
9～24	111,769	7,151	6.4	5,417	75.8	1,224	1,966	1,351	876
25	14,220	787	5.5	627	79.7	124	213	173	117
26	14,825	776	5.2	624	80.4	137	177	175	135
27	16,208	770	4.8	641	83.2	162	167	175	137
28	16,587	724	4.4	610	84.3	141	165	182	122
29	15,939	824	5.2	691	83.9	138	215	193	145
計	189,548	11,032	5.8	8,610	78.0	1,926	2,903	2,249	1,532

※平成26年度よりシステム変更に伴い、これまで含まれていなかった人間ドック分の受診者数を含めるように改変した。

表2 前立腺がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

平成9年度～平成29年度

年 度	受 診 者 数			発 見 が ん 数						陽性反応 適中度 (%)
	総 数	検診 センター	検診車	総 数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
9～24	111,769	34,748	77,021	1,224	1.10	421	1.21	803	1.04	17.12
25	14,220	4,830	9,390	124	0.87	51	1.06	73	0.78	15.76
26	14,825	4,974	9,851	137	0.92	47	0.94	90	0.91	17.65
27	16,208	5,113	11,095	161	1.00	53	1.04	108	0.97	21.04
28	16,587	5,079	11,508	141	0.85	51	1.00	90	0.78	19.48
29	15,939	4,844	11,095	138	0.87	42	0.87	96	0.87	16.75
計	189,548	59,588	129,960	1,925	1.02	665	1.12	1,260	0.97	

表3 前立腺がん検診実施状況及び発見がん数（平成29年度・管轄別）

管轄	受 診 者 数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反応 適中度 (%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	7,410	2,830	4,580	383	5.2	138	4.9	245	5.3	322	84.1	68	0.92	27	0.95	41	0.90	17.75
旭川	4,835	1,311	3,524	230	4.8	66	5.0	164	4.7	189	82.2	31	0.64	9	0.69	22	0.62	13.48
釧路	3,694	703	2,991	211	5.7	34	4.8	177	5.9	180	85.3	39	1.06	6	0.85	33	1.10	18.48
総数	15,939	4,844	11,095	824	5.2	238	4.9	586	5.3	691	83.9	138	0.87	42	0.87	96	0.87	16.75

表4 年齢別受診数と発見がん数（累計）
平成9年度～平成28年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～39	1,065	0	0.00
40～49	6,196	2	0.03
50～59	29,416	69	0.23
60～69	72,353	650	0.90
70～	64,549	1,067	1.65
年齢不詳	30	0	0.00
総 数	173,609	1,788	1.03

※10歳階級表

表6 受診歴別発見がん数（平成28年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率(%)
初 回	4,437	70	1.58
1年前	9,323	47	0.50
2年前	1,643	17	1.03
3年前	536	4	0.75
計	15,939	138	0.87

初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む。

表5 年齢別受診数と発見がん数
（平成29年度）

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～39	99	0	0.00
40～44	266	0	0.00
45～49	345	0	0.00
50～54	943	1	0.11
55～59	1,293	2	0.15
60～64	2,054	11	0.54
65～69	4,232	42	0.99
70～74	3,491	48	1.37
75～79	2,091	25	1.20
80～	1,125	9	0.80
総 数	15,939	138	0.87

※5歳階級表

健康診査

各市町村と契約し、国民健康保険加入者、その他の健康保険組合加入者の特定健康診査ならびに後期高齢者の健康診査、市町村の一般健康診査を実施している。

平成29年度は、86市町村¹⁾を巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりである。

なお、実施主体がその他の健康診査は41,187名であった。当協会の受託は巡回検診・施設検診ともに増加傾向となっている。

1) 札幌37・旭川32・釧路17市町村

	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ²⁾	52,999	25,060	17,567	10,372	9,777	6,265	2,483	1,029	43,222	18,795	15,084	9,343
その他 ³⁾	41,187	29,306	6,407	5,474	19,275	11,895	3,605	3,775	21,912	17,411	2,802	1,699
合 計	94,186	54,366	23,974	15,846	29,052	18,160	6,080	4,804	65,134	36,206	17,886	11,042

2) 実施主体が市町村国民健康保険、後期高齢者健康保険組合、市町村のもの

3) 実施主体がその他の健康保険組合のもの

○市町村健康診査

表1・2について、市町村健康診査の実施数をまとめたものです。

【表について】

特定健診が開始された平成20年度以降は、健康増進法施行規則第4条の2に基づき、集計項目を表2のとおり変更した。

要指導・要医療の基準値については、厚生労働省健康局や各専門学会のガイドラインを参考に定めている。

また、現在治療中の者は要医療に含めている。

貧血検査、腎機能検査については、市町村の選択項目であるため、市町村によって対象者が異なる。

【受診動向について】

平成29年度の受診総数は52,999名であり、前年度より2,825名減少した。検診車による巡回健診は43,222名、検診センターでの施設健診は9,777名であり、巡回健診、施設健診ともに減少した。

健診結果別にみると、「異常なし」は2,436名、「要指導」は15,081名、「要医療（治療継続を含む）」は35,482名で、「要指導」・「要医療」をあわせると約95.4%となり、ほとんどの者が、いずれかの項目で要指導以上の判定となっている（表2）。

【各項目について】

各項目において、予備群以上に該当する者・有病者ともに、脂質異常、高血圧、糖尿病、肝疾患の順に多かった。喫煙率（総受診数における現在喫煙している者の数）は14.0%と前年度より大きくは変わらないが、減少した。

【まとめ】

メタボリックシンドロームによる動脈硬化性疾患の発症を予防するためには、特定健診を受診し自身の健康状況を知ることが重要である。受診率向上のため各市町村と連携しながら、健診の周知・受診勧奨・受診しやすい環境づくり等に力を入れていきたい。

（保健師 吉川 泰代）

表1 基本健康診査

平成5年度～平成19年度

年 度	受診者数	異常なし	要指導	要医療	要 医 療 内 訳						
					循環器疾患	貧 血	肝疾患	糖尿病	尿路系疾患	腎機能障害	その他
5～15	203,295	35,450	57,453	110,392	86,568	4,467	18,718	14,006	13,884	2,007	22,284
16	34,512	5,184	11,020	18,308	15,075	772	2,815	2,641	1,719	463	5,061
17	36,581	5,442	12,199	18,940	15,771	792	3,067	2,878	1,645	589	4,380
18	45,650	6,395	12,919	26,336	22,633	1,052	3,377	4,307	1,962	905	6,130
19	50,399	7,548	14,269	28,582	23,234	1,237	3,930	4,735	2,037	769	7,516
計	370,437	60,019	107,860	202,558	163,281	8,320	31,907	28,567	21,247	4,733	45,371

注) 1人で2以上の疾患を有するものがあるため要医療と要医療内訳の計は一致しない。

要医療はすでに治療継続中も含む。

平成20年度より、健康増進法施行規則第4条の2に基づき、表2の健診診査に変わった。

表2 健康診査

平成20年度～平成29年度

年度	受診 者数	異常 なし	要指導	要医療	要指導・要医療内訳													喫煙率 (%)
					高 血 圧			脂質異常		糖 尿 病			肝疾患(疑いを含む)		貧血 (注1) (疑いを含む)	腎機能 障害 (注1) (疑いを含む)		
					(再 掲)		(再掲)	(再掲)	(再掲)	(再掲)								
					予備群	有病者					予備群	有病者						
20～24	237,250	12,466	84,606	140,178	116,140	48,858	67,282	39,287	5,385	160,114	148,321	11,793	55,763	32,714	16,359	6,671	13.3	
25	49,329	3,193	15,606	30,530	23,288	10,066	13,222	8,070	1,071	12,219	10,096	2,123	11,845	6,505	2,806	2,013	11.5	
26	52,299	3,304	14,201	34,794	25,219	10,794	14,425	32,410	16,703	21,454	17,836	3,618	12,692	9,487	2,873	2,318	14.3	
27	57,054	3,360	16,459	37,235	28,537	11,933	16,604	35,547	18,641	24,497	20,303	4,194	13,710	10,231	3,416	2,872	14.3	
28	55,824	3,092	15,921	36,811	28,712	11,744	16,968	34,296	17,561	24,029	19,806	4,223	13,291	9,878	3,192	2,776	14.3	
29	52,999	2,436	15,081	35,482	27,873	11,437	16,436	31,949	15,797	25,256	21,037	4,219	13,057	9,815	2,906	2,758	14.0	
計	504,755	27,851	161,874	315,030	249,769	104,832	144,937	181,559	75,158	267,569	237,399	30,170	120,358	78,630	31,552	19,408		

※1人で2つ以上の疾患を有する場合があるため、要医療と要医療内訳の計は一致しない。

※要医療はすでに治療継続中も含む。

※平成20年度より、健康増進法施行規則第4条の2に基づき、表2の健診診査に変わった。

注1) 貧血検査と腎機能検査は、市町村が実施対象者を選択するため全数ではない。

【特定健診】メタボリック判定結果

平成29年度

		受診者数	判 定							
			非 該 当		予備群該当		基 準 該 当		判 定 不 能	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	3	3	100.0		0.0		0.0		0.0
	20～24歳	37	30	81.1	4	10.8	1	2.7	2	5.4
	25～29歳	77	58	75.3	8	10.4	7	9.1	4	5.2
	30～34歳	230	177	77.0	33	14.3	16	7.0	4	1.7
	35～39歳	363	268	73.8	55	15.2	30	8.3	10	2.8
	40～44歳	766	509	66.4	148	19.3	109	14.2		0.0
	45～49歳	880	530	60.2	194	22.0	155	17.6	1	0.1
	50～54歳	887	534	60.2	173	19.5	180	20.3		0.0
	55～59歳	1,071	611	57.0	198	18.5	262	24.5		0.0
	60～64歳	1,960	1,068	54.5	365	18.6	527	26.9		0.0
	65～69歳	5,055	2,694	53.3	941	18.6	1,390	27.5	30	0.6
	70～74歳	5,167	2,846	55.1	884	17.1	1,398	27.1	39	0.8
	75～79歳	3,384	1,159	34.2	378	11.2	532	15.7	1,315	38.9
	80歳以上	2,467	819	33.2	261	10.6	322	13.1	1,065	43.2
小 計		22,347	11,306	50.6	3,642	16.3	4,929	22.1	2,470	11.1
女 性	～19歳	2	2	100.0		0.0		0.0		0.0
	20～24歳	58	54	93.1		0.0	1	1.7	3	5.2
	25～29歳	141	127	90.1	4	2.8	1	0.7	9	6.4
	30～34歳	411	381	92.7	13	3.2	3	0.7	14	3.4
	35～39歳	730	681	93.3	16	2.2	10	1.4	23	3.2
	40～44歳	1,402	1,311	93.5	68	4.9	22	1.6	1	0.1
	45～49歳	1,474	1,336	90.6	87	5.9	46	3.1	5	0.3
	50～54歳	1,693	1,517	89.6	93	5.5	81	4.8	2	0.1
	55～59歳	2,146	1,905	88.8	110	5.1	126	5.9	5	0.2
	60～64歳	3,826	3,389	88.6	210	5.5	225	5.9	2	0.1
	65～69歳	7,788	6,756	86.7	405	5.2	598	7.7	29	0.4
	70～74歳	7,075	6,087	86.0	365	5.2	587	8.3	36	0.5
	75～79歳	4,163	2,254	54.1	155	3.7	262	6.3	1,492	35.8
	80歳以上	2,258	1,041	46.1	89	3.9	137	6.1	991	43.9
小 計		33,167	26,841	80.9	1,615	4.9	2,099	6.3	2,612	7.9
総 数	～19歳	5	5	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	95	84	88.4	4	4.2	2	2.1	5	5.3
	25～29歳	218	185	84.9	12	5.5	8	3.7	13	6.0
	30～34歳	641	558	87.1	46	7.2	19	3.0	18	2.8
	35～39歳	1,093	949	86.8	71	6.5	40	3.7	33	3.0
	40～44歳	2,168	1,820	83.9	216	10.0	131	6.0	1	0.0
	45～49歳	2,354	1,866	79.3	281	11.9	201	8.5	6	0.3
	50～54歳	2,580	2,051	79.5	266	10.3	261	10.1	2	0.1
	55～59歳	3,217	2,516	78.2	308	9.6	388	12.1	5	0.2
	60～64歳	5,786	4,457	77.0	575	9.9	752	13.0	2	0.0
	65～69歳	12,843	9,450	73.6	1,346	10.5	1,988	15.5	59	0.5
	70～74歳	12,242	8,933	73.0	1,249	10.2	1,985	16.2	75	0.6
	75～79歳	7,547	3,413	45.2	533	7.1	794	10.5	2,807	37.2
	80歳以上	4,725	1,860	39.4	350	7.4	459	9.7	2,056	43.5
合 計		55,514	38,147	68.7	5,257	9.5	7,028	12.7	5,082	9.2

メタボリックシンドローム判定結果

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、55,514人にメタボリックシンドローム判定を行った。

男女別では、男性22,347人（40.3％）女性33,167人（59.7％）であった。

また、年齢階級でみると、65～69歳が最も高く、次いで、70～74歳、75～79歳の順であった。

判定結果

腹囲条件該当者で血糖、糖尿、脂質検査項目のいずれか1項目が該当する予備軍該当者が9.5％、いずれか2項目以上が該当する基準該当が12.7％非該当は68.7％であった。

腹囲未実施など、判定条件をみたまらず判定不能となったものが9.2％あった。

予備軍該当を男女別にみると、男性14.7％、女性3.8％であった。

また、基準該当者の男女別では、男性15.3％、女性3.9％であった。

【特定健診】腹囲測定結果

平成29年度

		受診者数	判 定			
			男性 85cm未満、女性 90cm未満		男性 85cm以上、女性 90cm以上	
			(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	3	3	100.0	0	0.0
	20～24歳	35	29	82.9	6	17.1
	25～29歳	73	39	53.4	34	46.6
	30～34歳	226	137	60.6	89	39.4
	35～39歳	353	211	59.8	142	40.2
	40～44歳	766	406	53.0	360	47.0
	45～49歳	879	428	48.7	451	51.3
	50～54歳	887	450	50.7	437	49.3
	55～59歳	1,071	520	48.6	551	51.4
	60～64歳	1,960	951	48.5	1,009	51.5
	65～69歳	5,025	2,489	49.5	2,536	50.5
	70～74歳	5,128	2,659	51.9	2,469	48.1
	75～79歳	2,069	1,108	53.6	961	46.4
	80歳以上	1,402	785	56.0	617	44.0
	小 計	19,877	10,215	51.4	9,662	48.6
女 性	～19歳	2	2	100.0	0	0.0
	20～24歳	55	52	94.5	3	5.5
	25～29歳	132	120	90.9	12	9.1
	30～34歳	397	369	92.9	28	7.1
	35～39歳	707	646	91.4	61	8.6
	40～44歳	1,401	1,252	89.4	149	10.6
	45～49歳	1,470	1,271	86.5	199	13.5
	50～54歳	1,691	1,450	85.7	241	14.3
	55～59歳	2,141	1,838	85.8	303	14.2
	60～64歳	3,824	3,311	86.6	513	13.4
	65～69歳	7,759	6,643	85.6	1,116	14.4
	70～74歳	7,039	6,004	85.3	1,035	14.7
	75～79歳	2,672	2,230	83.5	442	16.5
	80歳以上	1,267	1,035	81.7	232	18.3
	小 計	30,557	26,223	85.8	4,334	14.2
総 数	～19歳	5	5	100.0	0	0.0
	20～24歳	90	81	90.0	9	10.0
	25～29歳	205	159	77.6	46	22.4
	30～34歳	623	506	81.2	117	18.8
	35～39歳	1,060	857	80.8	203	19.2
	40～44歳	2,167	1,658	76.5	509	23.5
	45～49歳	2,349	1,699	72.3	650	27.7
	50～54歳	2,578	1,900	73.7	678	26.3
	55～59歳	3,212	2,358	73.4	854	26.6
	60～64歳	5,784	4,262	73.7	1,522	26.3
	65～69歳	12,784	9,132	71.4	3,652	28.6
	70～74歳	12,167	8,663	71.2	3,504	28.8
	75～79歳	4,741	3,338	70.4	1,403	29.6
	80歳以上	2,669	1,820	68.2	849	31.8
	合 計	50,434	36,438	72.2	13,996	27.8

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、50,434人に腹囲測定を行った。
男女別では、男性19,877人（39.4％）女性30,557人（60.6％）であった。
また、年齢階級でみると、65～69歳が最も高く、次いで、70～74歳、60～64歳の順であった。

判定結果

男性85女性90cm未満の異常なし（精検不要）72.2％、男性85女性90cm以上の要指導は27.8％であった。

【特定健診】血圧測定結果

平成29年度

		受診者数	判 定				定			
			異常なし		要 指 導		治療継続		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	3	3	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	37	30	81.1	6	16.2	1	2.7	0	0.0
	25～29歳	77	58	75.3	17	22.1	0	0.0	2	2.6
	30～34歳	230	179	77.8	49	21.3	2	0.9	0	0.0
	35～39歳	363	274	75.5	74	20.4	7	1.9	8	2.2
	40～44歳	766	496	64.8	207	27.0	39	5.1	24	3.1
	45～49歳	880	518	58.9	240	27.3	82	9.3	40	4.5
	50～54歳	887	465	52.4	266	30.0	115	13.0	41	4.6
	55～59歳	1,071	459	42.9	318	29.7	232	21.7	62	5.8
	60～64歳	1,960	683	34.8	568	29.0	603	30.8	106	5.4
	65～69歳	5,055	1,435	28.4	1,469	29.1	1,873	37.1	278	5.5
	70～74歳	5,171	1,196	23.1	1,346	26.0	2,357	45.6	272	5.3
	75～79歳	3,444	671	19.5	874	25.4	1,716	49.8	183	5.3
	80歳以上	2,536	389	15.3	591	23.3	1,405	55.4	151	6.0
小 計		22,480	6,856	30.5	6,025	26.8	8,432	37.5	1,167	5.2
女 性	～19歳	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	58	56	96.6	1	1.7	1	1.7	0	0.0
	25～29歳	141	133	94.3	8	5.7	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	411	384	93.4	25	6.1	2	0.5	0	0.0
	35～39歳	730	671	91.9	51	7.0	5	0.7	3	0.4
	40～44歳	1,402	1,216	86.7	142	10.1	24	1.7	20	1.4
	45～49歳	1,474	1,153	78.2	234	15.9	59	4.0	28	1.9
	50～54歳	1,693	1,170	69.1	317	18.7	171	10.1	35	2.1
	55～59歳	2,146	1,374	64.0	438	20.4	284	13.2	50	2.3
	60～64歳	3,826	1,992	52.1	965	25.2	756	19.8	113	3.0
	65～69歳	7,791	3,354	43.0	2,043	26.2	2,067	26.5	327	4.2
	70～74歳	7,078	2,232	31.5	1,846	26.1	2,724	38.5	276	3.9
	75～79歳	4,260	1,042	24.5	1,113	26.1	1,948	45.7	157	3.7
	80歳以上	2,326	403	17.3	497	21.4	1,303	56.0	123	5.3
小 計		33,338	15,182	45.5	7,680	23.0	9,344	28.0	1,132	3.4
総 数	～19歳	5	5	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	95	86	90.5	7	7.4	2	2.1	0	0.0
	25～29歳	218	191	87.6	25	11.5	0	0.0	2	0.9
	30～34歳	641	563	87.8	74	11.5	4	0.6	0	0.0
	35～39歳	1,093	945	86.5	125	11.4	12	1.1	11	1.0
	40～44歳	2,168	1,712	79.0	349	16.1	63	2.9	44	2.0
	45～49歳	2,354	1,671	71.0	474	20.1	141	6.0	68	2.9
	50～54歳	2,580	1,635	63.4	583	22.6	286	11.1	76	2.9
	55～59歳	3,217	1,833	57.0	756	23.5	516	16.0	112	3.5
	60～64歳	5,786	2,675	46.2	1,533	26.5	1,359	23.5	219	3.8
	65～69歳	12,846	4,789	37.3	3,512	27.3	3,940	30.7	605	4.7
	70～74歳	12,249	3,428	28.0	3,192	26.1	5,081	41.5	548	4.5
	75～79歳	7,704	1,713	22.2	1,987	25.8	3,664	47.6	340	4.4
	80歳以上	4,862	792	16.3	1,088	22.4	2,708	55.7	274	5.6
合 計		55,818	22,038	39.5	13,705	24.6	17,776	31.8	2,299	4.1

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、55,818人に血圧測定を行った。
男女別では、男性2,2480人（40.2%）女性33,338人（59.7%）であった。
また、年齢階級でみると、65～69歳が最も高く、次いで、70～74歳、75～79歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）39.5%、要指導24.6%、治療継続31.8%、要医療4.1%であった。

【特定健診】血中脂質検査結果

平成29年度

		受診者数	判 定				要 医 療			
			異常なし		要 指 導		治療継続		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	3	3	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	37	23	62.2	10	27.0	1	2.7	3	8.1
	25～29歳	77	46	59.7	24	31.2	0	0.0	7	9.1
	30～34歳	230	100	43.5	101	43.9	1	0.4	28	12.2
	35～39歳	363	141	38.8	163	44.9	5	1.4	54	14.9
	40～44歳	766	237	30.9	327	42.7	45	5.9	157	20.5
	45～49歳	880	260	29.5	379	43.1	67	7.6	174	19.8
	50～54歳	887	228	25.7	384	43.3	112	12.6	163	18.4
	55～59歳	1,071	267	24.9	439	41.0	166	15.5	199	18.6
	60～64歳	1,960	523	26.7	809	41.3	355	18.1	273	13.9
	65～69歳	5,057	1,334	26.4	1,987	39.3	1,158	22.9	578	11.4
	70～74歳	5,172	1,458	28.2	1,977	38.2	1,249	24.1	488	9.4
	75～79歳	3,444	1,123	32.6	1,178	34.2	914	26.5	229	6.6
	80歳以上	2,536	960	37.9	843	33.2	585	23.1	148	5.8
小 計		22,483	6,703	29.8	8,621	38.3	4,658	20.7	2,501	11.1
女 性	～19歳	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	58	50	86.2	7	12.1	0	0.0	1	1.7
	25～29歳	141	107	75.9	28	19.9	0	0.0	6	4.3
	30～34歳	411	296	72.0	103	25.1	3	0.7	9	2.2
	35～39歳	730	496	67.9	202	27.7	1	0.1	31	4.2
	40～44歳	1,402	875	62.4	435	31.0	17	1.2	75	5.3
	45～49歳	1,474	704	47.8	575	39.0	54	3.7	141	9.6
	50～54歳	1,693	543	32.1	748	44.2	152	9.0	250	14.8
	55～59歳	2,148	496	23.1	940	43.8	318	14.8	394	18.3
	60～64歳	3,826	721	18.8	1,571	41.1	871	22.8	663	17.3
	65～69歳	7,792	1,407	18.1	2,962	38.0	2,242	28.8	1,181	15.2
	70～74歳	7,079	1,280	18.1	2,459	34.7	2,528	35.7	812	11.5
	75～79歳	4,260	841	19.7	1,366	32.1	1,676	39.3	377	8.8
	80歳以上	2,326	519	22.3	740	31.8	865	37.2	202	8.7
小 計		33,342	8,337	25.0	12,136	36.4	8,727	26.2	4,142	12.4
総 数	～19歳	5	5	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	95	73	76.8	17	17.9	1	1.1	4	4.2
	25～29歳	218	153	70.2	52	23.9	0	0.0	13	6.0
	30～34歳	641	396	61.8	204	31.8	4	0.6	37	5.8
	35～39歳	1,093	637	58.3	365	33.4	6	0.5	85	7.8
	40～44歳	2,168	1,112	51.3	762	35.1	62	2.9	232	10.7
	45～49歳	2,354	964	41.0	954	40.5	121	5.1	315	13.4
	50～54歳	2,580	771	29.9	1,132	43.9	264	10.2	413	16.0
	55～59歳	3,219	763	23.7	1,379	42.8	484	15.0	593	18.4
	60～64歳	5,786	1,244	21.5	2,380	41.1	1,226	21.2	936	16.2
	65～69歳	12,849	2,741	21.3	4,949	38.5	3,400	26.5	1,759	13.7
	70～74歳	12,251	2,738	22.3	4,436	36.2	3,777	30.8	1,300	10.6
	75～79歳	7,704	1,964	25.5	2,544	33.0	2,590	33.6	606	7.9
	80歳以上	4,862	1,479	30.4	1,583	32.6	1,450	29.8	350	7.2
合 計		55,825	15,040	26.9	20,757	37.2	13,385	24.0	6,643	11.9

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、55,825人に血中脂質検査を行った。
男女別では、男性22,483人（40.3%）女性33,342人（59.7%）であった。
また、年齢階級でみると、65～69歳が最も高く、次いで、70～74歳、75～79歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）26.9%、要指導37.1%、治療継続24.0%、要医療11.9%であった。

【特定健診】糖代謝検査結果

平成29年度

		受診者数	判				定			
			異常なし		要 指 導		治療継続		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	3	2	66.7	1	33.3	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	37	31	83.8	6	16.2	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	77	65	84.4	11	14.3	0	0.0	1	1.3
	30～34歳	230	194	84.3	34	14.8	0	0.0	2	0.9
	35～39歳	363	270	74.4	90	24.8	1	0.3	2	0.6
	40～44歳	766	481	62.8	246	32.1	22	2.9	17	2.2
	45～49歳	880	500	56.8	319	36.3	34	3.9	27	3.1
	50～54歳	887	432	48.7	373	42.1	49	5.5	33	3.7
	55～59歳	1,071	477	44.5	468	43.7	71	6.6	55	5.1
	60～64歳	1,960	751	38.3	944	48.2	169	8.6	96	4.9
	65～69歳	5,057	1,831	36.2	2,371	46.9	617	12.2	238	4.7
	70～74歳	5,172	1,728	33.4	2,506	48.5	696	13.5	242	4.7
	75～79歳	3,444	1,109	32.2	1,688	49.0	490	14.2	157	4.6
	80歳以上	2,536	874	34.5	1,217	48.0	324	12.8	121	4.8
小 計		22,483	8,745	38.9	10,274	45.7	2,473	11.0	991	4.4
女 性	～19歳	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	58	53	91.4	5	8.6	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	141	130	92.2	9	6.4	1	0.7	1	0.7
	30～34歳	411	346	84.2	64	15.6	1	0.2	0	0.0
	35～39歳	730	605	82.9	120	16.4	1	0.1	4	0.5
	40～44歳	1,402	1,099	78.4	283	20.2	11	0.8	9	0.6
	45～49歳	1,474	1,077	73.1	353	23.9	22	1.5	22	1.5
	50～54歳	1,693	1,096	64.7	540	31.9	34	2.0	23	1.4
	55～59歳	2,148	1,202	56.0	855	39.8	59	2.7	32	1.5
	60～64歳	3,826	1,906	49.8	1,727	45.1	134	3.5	59	1.5
	65～69歳	7,792	3,326	42.7	3,867	49.6	435	5.6	164	2.1
	70～74歳	7,079	2,691	38.0	3,740	52.8	462	6.5	186	2.6
	75～79歳	4,260	1,669	39.2	2,181	51.2	297	7.0	113	2.7
	80歳以上	2,326	863	37.1	1,211	52.1	184	7.9	68	2.9
小 計		33,342	16,065	48.2	14,955	44.9	1,641	4.9	681	2.0
総 数	～19歳	5	4	80.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	95	84	88.4	11	11.6	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	218	195	89.4	20	9.2	1	0.5	2	0.9
	30～34歳	641	540	84.2	98	15.3	1	0.2	2	0.3
	35～39歳	1,093	875	80.1	210	19.2	2	0.2	6	0.5
	40～44歳	2,168	1,580	72.9	529	24.4	33	1.5	26	1.2
	45～49歳	2,354	1,577	67.0	672	28.5	56	2.4	49	2.1
	50～54歳	2,580	1,528	59.2	913	35.4	83	3.2	56	2.2
	55～59歳	3,219	1,679	52.2	1,323	41.1	130	4.0	87	2.7
	60～64歳	5,786	2,657	45.9	2,671	46.2	303	5.2	155	2.7
	65～69歳	12,849	5,157	40.1	6,238	48.5	1,052	8.2	402	3.1
	70～74歳	12,251	4,419	36.1	6,246	51.0	1,158	9.5	428	3.5
	75～79歳	7,704	2,778	36.1	3,869	50.2	787	10.2	270	3.5
	80歳以上	4,862	1,737	35.7	2,428	49.9	508	10.4	189	3.9
合 計		55,825	24,810	44.4	25,229	45.2	4,114	7.4	1,672	3.0

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、55,825人に糖代謝検査を行った。
男女別では、男性22,483人（40.3%）女性33,342人（59.7%）であった。
また、年齢階級でみると、65～69歳が最も高く、次いで、70～74歳、75～79歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）44.4%、要指導45.2%、治療継続7.4%、要医療3.0%であった。

【特定健診】尿検査（蛋白）結果

平成29年度

		受診者数	判 定					
			異常なし		要 指 導		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	3	3	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	37	37	100.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	77	77	100.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	230	227	98.7	2	0.9	1	0.4
	35～39歳	363	351	96.7	10	2.8	2	0.6
	40～44歳	762	746	97.9	16	2.1	0	0.0
	45～49歳	878	854	97.3	17	1.9	7	0.8
	50～54歳	883	860	97.4	14	1.6	9	1.0
	55～59歳	1,067	1,040	97.5	12	1.1	15	1.4
	60～64歳	1,955	1,890	96.7	40	2.0	25	1.3
	65～69歳	5,038	4,879	96.8	102	2.0	57	1.1
	70～74歳	5,159	4,931	95.6	115	2.2	113	2.2
	75～79歳	3,443	3,270	95.0	102	3.0	71	2.1
	80歳以上	2,536	2,373	93.6	87	3.4	76	3.0
小 計		22,431	21,538	96.0	517	2.3	376	1.7
女 性	～19歳	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	58	57	98.3	1	1.7	0	0.0
	25～29歳	140	136	97.1	3	2.1	1	0.7
	30～34歳	410	404	98.5	3	0.7	3	0.7
	35～39歳	728	719	98.8	6	0.8	3	0.4
	40～44歳	1,400	1,368	97.7	27	1.9	5	0.4
	45～49歳	1,472	1,446	98.2	18	1.2	8	0.5
	50～54歳	1,687	1,672	99.1	9	0.5	6	0.4
	55～59歳	2,140	2,122	99.2	13	0.6	5	0.2
	60～64歳	3,821	3,793	99.3	20	0.5	8	0.2
	65～69歳	7,778	7,707	99.1	48	0.6	23	0.3
	70～74歳	7,070	6,997	99.0	40	0.6	33	0.5
	75～79歳	4,260	4,189	98.3	45	1.1	26	0.6
	80歳以上	2,326	2,253	96.9	44	1.9	29	1.2
小 計		33,292	32,865	98.5	277	0.8	150	0.5
総 数	～19歳	5	5	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	95	94	98.9	1	1.1	0	0.0
	25～29歳	217	213	98.2	3	1.4	1	0.5
	30～34歳	640	631	98.6	5	0.8	4	0.6
	35～39歳	1,091	1,070	98.1	16	1.5	5	0.5
	40～44歳	2,162	2,114	97.8	43	2.0	5	0.2
	45～49歳	2,350	2,300	97.9	35	1.5	15	0.6
	50～54歳	2,570	2,532	98.5	23	0.9	15	0.6
	55～59歳	3,207	3,162	98.6	25	0.8	20	0.6
	60～64歳	5,776	5,683	98.4	60	1.0	33	0.6
	65～69歳	12,816	12,586	98.2	150	1.2	80	0.6
	70～74歳	12,229	11,928	97.5	155	1.3	146	1.2
	75～79歳	7,703	7,459	96.8	147	1.9	97	1.3
	80歳以上	4,862	4,626	95.1	131	2.7	105	2.2
合 計		55,723	54,403	98.0	794	1.4	526	0.9

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、55,723人に血中脂質測定を行った。
男女別では、男性22,431人（40.3%）女性33,292人（59.7%）であった。
また、年齢階級でみると、65～69歳が最も高く、次いで、70～74歳、75～79歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）97.6%、要指導1.4%、要医療0.9%であった。

【特定健診】尿検査（糖）結果

平成29年度

		受診者数	判 定					
			異常なし		要 指 導		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	3	3	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	37	37	100.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	77	77	100.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	230	227	98.7	3	1.3	0	0.0
	35～39歳	363	362	99.7	0	0.0	1	0.3
	40～44歳	762	743	97.5	2	0.3	17	2.2
	45～49歳	878	854	97.3	4	0.5	20	2.3
	50～54歳	883	849	96.1	5	0.6	29	3.3
	55～59歳	1,067	1,018	95.4	14	1.3	35	3.3
	60～64歳	1,955	1,862	95.2	25	1.3	68	3.5
	65～69歳	5,038	4,813	95.5	63	1.3	162	3.2
	70～74歳	5,159	4,949	95.9	65	1.3	145	2.8
	75～79歳	3,443	3,309	96.1	44	1.3	90	2.6
	80歳以上	2,536	2,454	96.8	29	1.1	53	2.1
小 計		22,431	21,557	96.1	254	1.1	620	2.8
女 性	～19歳	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	58	58	100.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	140	139	99.3	0	0.0	1	0.7
	30～34歳	410	410	100.0	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	728	727	99.9	0	0.0	1	0.1
	40～44歳	1,400	1,399	99.9	0	0.0	1	0.1
	45～49歳	1,472	1,458	99.0	1	0.1	13	0.9
	50～54歳	1,687	1,674	99.2	3	0.2	10	0.6
	55～59歳	2,140	2,113	98.7	3	0.1	24	1.1
	60～64歳	3,821	3,783	99.0	8	0.2	30	0.8
	65～69歳	7,778	7,695	98.9	15	0.2	68	0.9
	70～74歳	7,070	7,001	99.0	20	0.3	49	0.7
	75～79歳	4,260	4,219	99.0	8	0.2	33	0.8
	80歳以上	2,326	2,298	98.8	6	0.3	22	0.9
小 計		33,292	32,976	99.1	64	0.2	252	0.8
総 数	～19歳	5	5	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	95	95	100.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	217	216	99.5	0	0.0	1	0.5
	30～34歳	640	637	99.5	3	0.5	0	0.0
	35～39歳	1,091	1,089	99.8	0	0.0	2	0.2
	40～44歳	2,162	2,142	99.1	2	0.1	18	0.8
	45～49歳	2,350	2,312	98.4	5	0.2	33	1.4
	50～54歳	2,570	2,523	98.2	8	0.3	39	1.5
	55～59歳	3,207	3,131	97.6	17	0.5	59	1.8
	60～64歳	5,776	5,645	97.7	33	0.6	98	1.7
	65～69歳	12,816	12,508	97.6	78	0.6	230	1.8
	70～74歳	12,229	11,950	97.7	85	0.7	194	1.6
	75～79歳	7,703	7,528	97.7	52	0.7	123	1.6
	80歳以上	4,862	4,752	97.7	35	0.7	75	1.5
合 計		55,723	54,533	97.9	318	0.6	872	1.6

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、55,723人に血中脂質測定を行った。
男女別では、男性22,431人（40.3%）女性33,292人（59.7%）であった。
また、年齢階級でみると、65～69歳が最も高く、次いで、70～74歳、75～79歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）97.9%、要指導0.6%、要医療1.6%であった。

【事業所健診】 診察結果

平成29年度

		受診者数	判 定							
			異常なし		有 所 見		治療継続		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	104	103	99.0	1	1.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	687	681	99.1	3	0.4	0	0.0	3	0.4
	25～29歳	705	699	99.1	6	0.9	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	924	911	98.6	13	1.4	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	1,160	1,144	98.6	8	0.7	0	0.0	8	0.7
	40～44歳	1,551	1,534	98.9	15	1.0	0	0.0	2	0.1
	45～49歳	1,528	1,510	98.8	10	0.7	0	0.0	8	0.5
	50～54歳	1,251	1,239	99.0	9	0.7	0	0.0	3	0.2
	55～59歳	1,272	1,245	97.9	17	1.3	0	0.0	10	0.8
	60～64歳	1,115	1,071	96.1	26	2.3	0	0.0	18	1.6
	65～69歳	754	722	95.8	16	2.1	0	0.0	16	2.1
	70～74歳	284	270	95.1	5	1.8	0	0.0	9	3.2
	75～79歳	66	49	74.2	5	7.6	0	0.0	12	18.2
	80歳以上	14	12	85.7	2	14.3	0	0.0	0	0.0
小 計		11,415	11,190	98.0	136	1.2	0	0.0	89	0.8
女 性	～19歳	24	24	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	518	513	99.0	4	0.8	0	0.0	1	0.2
	25～29歳	507	502	99.0	4	0.8	0	0.0	1	0.2
	30～34歳	569	556	97.7	12	2.1	0	0.0	1	0.2
	35～39歳	842	831	98.7	9	1.1	0	0.0	2	0.2
	40～44歳	1,692	1,657	97.9	27	1.6	1	0.1	7	0.4
	45～49歳	1,736	1,713	98.7	17	1.0	0	0.0	6	0.3
	50～54歳	1,519	1,496	98.5	15	1.0	8	0.5	0	0.0
	55～59歳	1,236	1,214	98.2	14	1.1	0	0.0	8	0.6
	60～64歳	1,032	1,015	98.4	14	1.4	0	0.0	3	0.3
	65～69歳	638	603	94.5	26	4.1	0	0.0	9	1.4
	70～74歳	205	199	97.1	5	2.4	0	0.0	1	0.5
	75～79歳	38	36	94.7	2	5.3	0	0.0	0	0.0
	80歳以上	4	4	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
小 計		10,560	10,363	98.1	149	1.4	9	0.1	39	0.4
総 数	～19歳	128	127	99.2	1	0.8	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	1,205	1,194	99.1	7	0.6	0	0.0	4	0.3
	25～29歳	1,212	1,201	99.1	10	0.8	0	0.0	1	0.1
	30～34歳	1,493	1,467	98.3	25	1.7	0	0.0	1	0.1
	35～39歳	2,002	1,975	98.7	17	0.8	0	0.0	10	0.5
	40～44歳	3,243	3,191	98.4	42	1.3	1	0.0	9	0.3
	45～49歳	3,264	3,223	98.7	27	0.8	0	0.0	14	0.4
	50～54歳	2,770	2,735	98.7	24	0.9	8	0.3	3	0.1
	55～59歳	2,508	2,459	98.0	31	1.2	0	0.0	18	0.7
	60～64歳	2,147	2,086	97.2	40	1.9	0	0.0	21	1.0
	65～69歳	1,392	1,325	95.2	42	3.0	0	0.0	25	1.8
	70～74歳	489	469	95.9	10	2.0	0	0.0	10	2.0
	75～79歳	104	85	81.7	7	6.7	0	0.0	12	11.5
	80歳以上	18	16	88.9	2	11.1	0	0.0	0	0.0
合 計		21,975	21,553	98.1	285	1.3	9	0.0	128	0.6

実施状況

事業所健診のなかで、21,975人に診察を行った。

男女別では、男性11,415人（51.9%）女性10,560人（48.1%）であった。

また、年齢階級でみると、45～49歳が最も高く、次いで、40～44歳、50～54歳の順であった。

判定結果

他覚所見が認められない異常なし（精検不要が）98.1%、他覚所見が認められたもののうち、変化がなければ次回検診まで様子を見ていいもの（有所見）1.3%、要医療0.6%であった。

【事業所健診】 血圧測定結果

平成29年度

		受診者数	判 定				要 医 療			
			異常なし		要 指 導		治療継続		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	677	453	66.9	222	32.8	0	0.0	2	0.3
	20～24歳	1,944	1,404	72.2	525	27.0	3	0.2	12	0.6
	25～29歳	1,264	1,043	82.5	197	15.6	10	0.8	14	1.1
	30～34歳	1,384	1,138	82.2	230	16.6	12	0.9	4	0.3
	35～39歳	1,798	1,426	79.3	303	16.9	38	2.1	31	1.7
	40～44歳	2,810	2,056	73.2	495	17.6	177	6.3	82	2.9
	45～49歳	2,995	1,955	65.3	562	18.8	344	11.5	134	4.5
	50～54歳	2,894	1,628	56.3	609	21.0	502	17.3	155	5.4
	55～59歳	2,955	1,423	48.2	578	19.6	792	26.8	162	5.5
	60～64歳	2,096	846	40.4	445	21.2	712	34.0	93	4.4
	65～69歳	766	230	30.0	194	25.3	307	40.1	35	4.6
	70～74歳	284	73	25.7	71	25.0	130	45.8	10	3.5
	75～79歳	53	12	22.6	11	20.8	27	50.9	3	5.7
	80歳以上	15	3	20.0	3	20.0	9	60.0	0	0.0
小 計		21,935	13,690	62.4	4,445	20.3	3,063	14.0	737	3.4
女 性	～19歳	528	487	92.2	41	7.8	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	1,552	1,452	93.6	99	6.4	0	0.0	1	0.1
	25～29歳	869	829	95.4	36	4.1	1	0.1	3	0.3
	30～34歳	837	791	94.5	41	4.9	3	0.4	2	0.2
	35～39歳	1,166	1,053	90.3	75	6.4	23	2.0	15	1.3
	40～44歳	2,208	1,937	87.7	202	9.1	40	1.8	29	1.3
	45～49歳	2,233	1,788	80.1	281	12.6	108	4.8	56	2.5
	50～54歳	1,943	1,420	73.1	286	14.7	193	9.9	44	2.3
	55～59歳	1,562	1,028	65.8	282	18.1	214	13.7	38	2.4
	60～64歳	1,186	665	56.1	252	21.2	242	20.4	27	2.3
	65～69歳	639	313	49.0	152	23.8	158	24.7	16	2.5
	70～74歳	205	93	45.4	43	21.0	64	31.2	5	2.4
	75～79歳	40	12	30.0	13	32.5	13	32.5	2	5.0
	80歳以上	5	2	40.0	2	40.0	1	20.0	0	0.0
小 計		14,973	11,870	79.3	1,805	12.1	1,060	7.1	238	1.6
総 数	～19歳	1,205	940	78.0	263	21.8	0	0.0	2	0.2
	20～24歳	3,496	2,856	81.7	624	17.8	3	0.1	13	0.4
	25～29歳	2,133	1,872	87.8	233	10.9	11	0.5	17	0.8
	30～34歳	2,221	1,929	86.9	271	12.2	15	0.7	6	0.3
	35～39歳	2,964	2,479	83.6	378	12.8	61	2.1	46	1.6
	40～44歳	5,018	3,993	79.6	697	13.9	217	4.3	111	2.2
	45～49歳	5,228	3,743	71.6	843	16.1	452	8.6	190	3.6
	50～54歳	4,837	3,048	63.0	895	18.5	695	14.4	199	4.1
	55～59歳	4,517	2,451	54.3	860	19.0	1,006	22.3	200	4.4
	60～64歳	3,282	1,511	46.0	697	21.2	954	29.1	120	3.7
	65～69歳	1,405	543	38.6	346	24.6	465	33.1	51	3.6
	70～74歳	489	166	33.9	114	23.3	194	39.7	15	3.1
	75～79歳	93	24	25.8	24	25.8	40	43.0	5	5.4
	80歳以上	20	5	25.0	5	25.0	10	50.0	0	0.0
合 計		36,908	25,560	69.3	6,250	16.9	4,123	11.2	975	2.6

実施状況

事業所健診のなかで、36,908人に血圧測定を行った。

男女別では、男性21,935人（59.4%）女性14,973人（40.6%）であった。

また、年齢階級でみると、45～49歳が最も高く、次いで、40～44歳、50～54歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）69.3%、要指導16.9%、治療継続11.2%、要医療2.6%であった。

【事業所健診】尿検査（蛋白）結果

平成29年度

		受診者数	判 定					
			異常なし		要 指 導		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	550	514	93.5	30	5.5	6	1.1
	20～24歳	2,634	2,550	96.8	73	2.8	11	0.4
	25～29歳	1,223	1,194	97.6	21	1.7	8	0.7
	30～34歳	1,348	1,323	98.1	20	1.5	5	0.4
	35～39歳	1,772	1,748	98.6	17	1.0	7	0.4
	40～44歳	2,789	2,707	97.1	61	2.2	21	0.8
	45～49歳	2,988	2,889	96.7	71	2.4	28	0.9
	50～54歳	2,888	2,751	95.3	101	3.5	36	1.2
	55～59歳	2,940	2,803	95.3	86	2.9	51	1.7
	60～64歳	2,083	1,983	95.2	68	3.3	32	1.5
	65～69歳	763	740	97.0	15	2.0	8	1.0
	70～74歳	288	274	95.1	8	2.8	6	2.1
	75～79歳	63	60	95.2	3	4.8	0	0.0
	80歳以上	21	21	100.0	0	0.0	0	0.0
小 計		22,350	21,557	96.5	574	2.6	219	1.0
女 性	～19歳	404	392	97.0	10	2.5	2	0.5
	20～24歳	2,102	2,027	96.4	62	2.9	13	0.6
	25～29歳	849	824	97.1	19	2.2	6	0.7
	30～34歳	814	799	98.2	13	1.6	2	0.2
	35～39歳	1,152	1,130	98.1	16	1.4	6	0.5
	40～44歳	2,185	2,138	97.8	45	2.1	2	0.1
	45～49歳	2,215	2,169	97.9	35	1.6	11	0.5
	50～54歳	1,927	1,897	98.4	19	1.0	11	0.6
	55～59歳	1,561	1,541	98.7	14	0.9	6	0.4
	60～64歳	1,185	1,173	99.0	6	0.5	6	0.5
	65～69歳	643	637	99.1	5	0.8	1	0.2
	70～74歳	209	206	98.6	2	1.0	1	0.5
	75～79歳	45	43	95.6	1	2.2	1	2.2
	80歳以上	12	12	100.0	0	0.0	0	0.0
小 計		15,303	14,988	97.9	247	1.6	68	0.4
総 数	～19歳	954	906	95.0	40	4.2	8	0.8
	20～24歳	4,736	4,577	96.6	135	2.9	24	0.5
	25～29歳	2,072	2,018	97.4	40	1.9	14	0.7
	30～34歳	2,162	2,122	98.1	33	1.5	7	0.3
	35～39歳	2,924	2,878	98.4	33	1.1	13	0.4
	40～44歳	4,974	4,845	97.4	106	2.1	23	0.5
	45～49歳	5,203	5,058	97.2	106	2.0	39	0.7
	50～54歳	4,815	4,648	96.5	120	2.5	47	1.0
	55～59歳	4,501	4,344	96.5	100	2.2	57	1.3
	60～64歳	3,268	3,156	96.6	74	2.3	38	1.2
	65～69歳	1,406	1,377	97.9	20	1.4	9	0.6
	70～74歳	497	480	96.6	10	2.0	7	1.4
	75～79歳	108	103	95.4	4	3.7	1	0.9
	80歳以上	33	33	100.0	0	0.0	0	0.0
合 計		37,653	36,545	97.1	821	2.2	287	0.8

実施状況

事業所健診のなかで、37,653人に尿蛋白検査を行った。

男女別では、男性22,350人（59.4%）女性15,303人（40.6%）であった。

また、年齢階級でみると、45～49歳が最も高く、次いで、40～44歳、50～54歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）97.1%、要指導2.2%、要医療0.8%であった。

【事業所健診】尿検査（糖）結果

平成29年度

		受診者数	判 定					
			異常なし		要 指 導		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	550	550	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	2,634	2,631	99.9	1	0.0	2	0.1
	25～29歳	1,223	1,210	98.9	2	0.2	11	0.9
	30～34歳	1,348	1,329	98.6	3	0.2	16	1.2
	35～39歳	1,772	1,741	98.3	9	0.5	22	1.2
	40～44歳	2,789	2,725	97.7	10	0.4	54	1.9
	45～49歳	2,988	2,877	96.3	16	0.5	95	3.2
	50～54歳	2,887	2,765	95.8	20	0.7	102	3.5
	55～59歳	2,940	2,815	95.7	24	0.8	101	3.4
	60～64歳	2,083	1,969	94.5	27	1.3	87	4.2
	65～69歳	763	725	95.0	9	1.2	29	3.8
	70～74歳	288	265	92.0	4	1.4	19	6.6
	75～79歳	63	56	88.9	2	3.2	5	7.9
	80歳以上	21	21	100.0	0	0.0	0	0.0
小 計		22,349	21,679	97.0	127	0.6	543	2.4
女 性	～19歳	404	404	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	2,102	2,096	99.7	2	0.1	4	0.2
	25～29歳	849	845	99.5	3	0.4	1	0.1
	30～34歳	814	814	100.0	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	1,152	1,143	99.2	5	0.4	4	0.3
	40～44歳	2,185	2,179	99.7	0	0.0	6	0.3
	45～49歳	2,215	2,204	99.5	1	0.0	10	0.5
	50～54歳	1,927	1,907	99.0	2	0.1	18	0.9
	55～59歳	1,561	1,550	99.3	2	0.1	9	0.6
	60～64歳	1,185	1,164	98.2	0	0.0	21	1.8
	65～69歳	643	637	99.1	1	0.2	5	0.8
	70～74歳	209	207	99.0	0	0.0	2	1.0
	75～79歳	44	44	100.0	0	0.0	0	0.0
	80歳以上	12	12	100.0	0	0.0	0	0.0
小 計		15,302	15,206	99.4	16	0.1	80	0.5
総 数	～19歳	954	954	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	4,736	4,727	99.8	3	0.1	6	0.1
	25～29歳	2,072	2,055	99.2	5	0.2	12	0.6
	30～34歳	2,162	2,143	99.1	3	0.1	16	0.7
	35～39歳	2,924	2,884	98.6	14	0.5	26	0.9
	40～44歳	4,974	4,904	98.6	10	0.2	60	1.2
	45～49歳	5,203	5,081	97.7	17	0.3	105	2.0
	50～54歳	4,814	4,672	97.1	22	0.5	120	2.5
	55～59歳	4,501	4,365	97.0	26	0.6	110	2.4
	60～64歳	3,268	3,133	95.9	27	0.8	108	3.3
	65～69歳	1,406	1,362	96.9	10	0.7	34	2.4
	70～74歳	497	472	95.0	4	0.8	21	4.2
	75～79歳	107	100	93.5	2	1.9	5	4.7
	80歳以上	33	33	100.0	0	0.0	0	0.0
合 計		37,651	36,885	98.0	143	0.4	623	1.7

実施状況

事業所健診のなかで、37,651人に尿糖検査を行った。

男女別では、男性22,349人（59.4%）女性15,302人（40.6%）であった。

また、年齢階級でみると、45～49歳が最も高く、次いで、40～44歳、50～54歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）98.0%、要指導0.4%、要医療1.7%であった。

【事業所健診】肝機能結果

平成29年度

		受診者数	判 定				要 医 療			
			異常なし		要 指 導		治療継続		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	570	464	81.4	71	12.5	0	0.0	35	6.1
	20～24歳	1,190	946	79.5	146	12.3	2	0.2	96	8.1
	25～29歳	1,004	739	73.6	162	16.1	5	0.5	98	9.8
	30～34歳	1,109	777	70.1	220	19.8	5	0.5	107	9.6
	35～39歳	1,669	1,038	62.2	384	23.0	18	1.1	229	13.7
	40～44歳	2,753	1,667	60.6	643	23.4	44	1.6	399	14.5
	45～49歳	2,934	1,762	60.1	716	24.4	50	1.7	406	13.8
	50～54歳	2,840	1,743	61.4	623	21.9	78	2.7	396	13.9
	55～59歳	2,895	1,862	64.3	601	20.8	86	3.0	346	12.0
	60～64歳	2,053	1,279	62.3	473	23.0	57	2.8	244	11.9
	65～69歳	747	410	54.9	231	30.9	15	2.0	91	12.2
	70～74歳	285	169	59.3	82	28.8	8	2.8	26	9.1
	75～79歳	63	36	57.1	21	33.3	1	1.6	5	7.9
	80歳以上	22	17	77.3	5	22.7	0	0.0	0	0.0
小 計		20,134	12,909	64.1	4,378	21.7	369	1.8	2478	12.3
女 性	～19歳	501	488	97.4	10	2.0	3	0.6	0	0.0
	20～24歳	803	777	96.8	17	2.1	1	0.1	8	1.0
	25～29歳	680	649	95.4	21	3.1	1	0.1	9	1.3
	30～34歳	650	610	93.8	33	5.1	1	0.2	6	0.9
	35～39歳	776	672	86.6	75	9.7	4	0.5	25	3.2
	40～44歳	2,173	1,948	89.6	169	7.8	9	0.4	47	2.2
	45～49歳	2,175	1,902	87.4	195	9.0	18	0.8	60	2.8
	50～54歳	1,898	1,569	82.7	218	11.5	7	0.4	104	5.5
	55～59歳	1,535	1,209	78.8	247	16.1	14	0.9	65	4.2
	60～64歳	1,154	874	75.7	207	17.9	20	1.7	53	4.6
	65～69歳	620	487	78.5	101	16.3	8	1.3	24	3.9
	70～74歳	202	158	78.2	29	14.4	2	1.0	13	6.4
	75～79歳	43	31	72.1	9	20.9	1	2.3	2	4.7
	80歳以上	14	13	92.9	1	7.1	0	0.0	0	0.0
小 計		13,224	11,387	86.1	1,332	10.1	89	0.7	416	3.1
総 数	～19歳	1,071	952	88.9	81	7.6	3	0.3	35	3.3
	20～24歳	1,993	1,723	86.5	163	8.2	3	0.2	104	5.2
	25～29歳	1,684	1,388	82.4	183	10.9	6	0.4	107	6.4
	30～34歳	1,759	1,387	78.9	253	14.4	6	0.3	113	6.4
	35～39歳	2,445	1,710	69.9	459	18.8	22	0.9	254	10.4
	40～44歳	4,926	3,615	73.4	812	16.5	53	1.1	446	9.1
	45～49歳	5,109	3,664	71.7	911	17.8	68	1.3	466	9.1
	50～54歳	4,738	3,312	69.9	841	17.8	85	1.8	500	10.6
	55～59歳	4,430	3,071	69.3	848	19.1	100	2.3	411	9.3
	60～64歳	3,207	2,153	67.1	680	21.2	77	2.4	297	9.3
	65～69歳	1,367	897	65.6	332	24.3	23	1.7	115	8.4
	70～74歳	487	327	67.1	111	22.8	10	2.1	39	8.0
	75～79歳	106	67	63.2	30	28.3	2	1.9	7	6.6
	80歳以上	36	30	83.3	6	16.7	0	0.0	0	0.0
合 計		33,358	24,296	72.8	5,710	17.1	458	1.4	2,894	8.7

実施状況

事業所健診のなかで、33,358人に肝機能検査を行った。

男女別では、男性20,134人（60.4%）女性13,224人（39.6%）であった。

また、年齢階級でみると、45～49歳が最も高く、次いで、40～44歳、50～54歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）72.8%、要指導17.1%、治療継続1.4%、要医療8.7%であった。

【事業所健診】血中脂質検査結果

平成29年度

		受診者数	判定							
			異常なし		要 指 導		治療継続		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	570	450	78.9	105	18.4	0	0.0	15	2.6
	20～24歳	1,190	868	72.9	269	22.6	3	0.3	50	4.2
	25～29歳	998	639	64.0	276	27.7	13	1.3	70	7.0
	30～34歳	1,106	621	56.1	347	31.4	17	1.5	121	10.9
	35～39歳	1,667	766	46.0	624	37.4	47	2.8	230	13.8
	40～44歳	2,753	1,086	39.4	1,041	37.8	159	5.8	467	17.0
	45～49歳	2,934	1,034	35.2	1,134	38.7	245	8.4	521	17.8
	50～54歳	2,840	977	34.4	1,045	36.8	371	13.1	447	15.7
	55～59歳	2,895	996	34.4	1,029	35.5	466	16.1	404	14.0
	60～64歳	2,053	696	33.9	713	34.7	392	19.1	252	12.3
	65～69歳	747	197	26.4	296	39.6	159	21.3	95	12.7
	70～74歳	285	76	26.7	115	40.4	61	21.4	33	11.6
	75～79歳	63	19	30.2	21	33.3	14	22.2	9	14.3
	80歳以上	22	6	27.3	7	31.8	6	27.3	3	13.6
小 計		20,123	8,431	41.9	7,022	34.9	1,953	9.7	2,717	13.5
女 性	～19歳	501	405	80.8	81	16.2	0	0.0	15	3.0
	20～24歳	795	673	84.7	101	12.7	1	0.1	20	2.5
	25～29歳	676	538	79.6	119	17.6	2	0.3	17	2.5
	30～34歳	646	495	76.6	125	19.3	0	0.0	26	4.0
	35～39歳	1,073	738	68.8	271	25.3	12	1.1	52	4.8
	40～44歳	2,173	1,416	65.2	607	27.9	32	1.5	118	5.4
	45～49歳	2,175	1,180	54.3	735	33.8	75	3.4	185	8.5
	50～54歳	1,898	738	38.9	693	36.5	172	9.1	295	15.5
	55～59歳	1,535	423	27.6	612	39.9	239	15.6	261	17.0
	60～64歳	1,156	280	24.2	420	36.3	248	21.5	208	18.0
	65～69歳	620	117	18.9	245	39.5	154	24.8	104	16.8
	70～74歳	202	45	22.3	68	33.7	52	25.7	37	18.3
	75～79歳	43	7	16.3	12	27.9	17	39.5	7	16.3
	80歳以上	14	8	57.1	3	21.4	3	21.4	0	0.0
小 計		13,507	7,063	52.3	4,092	30.3	1,007	7.5	1,345	10.0
総 数	～19歳	1,071	855	79.8	186	17.4	0	0.0	30	2.8
	20～24歳	1,985	1,541	77.6	370	18.6	4	0.2	70	3.5
	25～29歳	1,674	1,177	70.3	395	23.6	15	0.9	87	5.2
	30～34歳	1,752	1,116	63.7	472	26.9	17	1.0	147	8.4
	35～39歳	2,740	1,504	54.9	895	32.7	59	2.2	282	10.3
	40～44歳	4,926	2,502	50.8	1,648	33.5	191	3.9	585	11.9
	45～49歳	5,109	2,214	43.3	1,869	36.6	320	6.3	706	13.8
	50～54歳	4,738	1,715	36.2	1,738	36.7	543	11.5	742	15.7
	55～59歳	4,430	1,419	32.0	1,641	37.0	705	15.9	665	15.0
	60～64歳	3,209	976	30.4	1,133	35.3	640	19.9	460	14.3
	65～69歳	1,367	314	23.0	541	39.6	313	22.9	199	14.6
	70～74歳	487	121	24.8	183	37.6	113	23.2	70	14.4
	75～79歳	106	26	24.5	33	31.1	31	29.2	16	15.1
	80歳以上	36	14	38.9	10	27.8	9	25.0	3	8.3
合 計		33,630	15,494	46.1	11,114	33.0	2,960	8.8	4,062	12.1

実施状況

事業所健診のなかで、33,630人に血中脂質検査を行った。

男女別では、男性20,123人（59.8%）女性13,507人（40.2%）であった。

また、年齢階級でみると、45～49歳が最も高く、次いで、40～44歳、50～54歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）46.1%、要指導33.0%、治療継続8.8%、要医療12.1%であった。

【事業所健診】糖代謝検査結果

平成29年度

		受診者数	判				定			
			異常なし		要 指 導		治療継続		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	265	264	99.6	1	0.4	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	1,318	1,286	97.6	29	2.2	1	0.1	2	0.2
	25～29歳	1,230	1,181	96.0	35	2.8	7	0.6	7	0.6
	30～34歳	1,381	1,291	93.5	67	4.9	9	0.7	14	1.0
	35～39歳	1,791	1,625	90.7	125	7.0	22	1.2	19	1.1
	40～44歳	2,808	2,405	85.6	266	9.5	82	2.9	55	2.0
	45～49歳	2,994	2,417	80.7	355	11.9	152	5.1	70	2.3
	50～54歳	2,894	2,165	74.8	413	14.3	208	7.2	108	3.7
	55～59歳	2,948	2,055	69.7	523	17.7	265	9.0	105	3.6
	60～64歳	2,093	1,318	63.0	427	20.4	261	12.5	87	4.2
	65～69歳	769	400	52.0	239	31.1	99	12.9	31	4.0
	70～74歳	289	124	42.9	97	33.6	51	17.6	17	5.9
	75～79歳	63	32	50.8	23	36.5	6	9.5	2	3.2
	80歳以上	22	13	59.1	5	22.7	3	13.6	1	4.5
小 計		20,865	16,576	79.4	2,605	12.5	1,166	5.6	518	2.5
女 性	～19歳	95	95	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	915	900	98.4	13	1.4	2	0.2	0	0.0
	25～29歳	845	823	97.4	18	2.1	1	0.1	3	0.4
	30～34歳	837	808	96.5	28	3.3	1	0.1	0	0.0
	35～39歳	1,165	1,089	93.5	59	5.1	8	0.7	9	0.8
	40～44歳	2,206	2,007	91.0	163	7.4	21	1.0	15	0.7
	45～49歳	2,231	1,962	87.9	230	10.3	29	1.3	10	0.4
	50～54歳	1,936	1,599	82.6	263	13.6	54	2.8	20	1.0
	55～59歳	1,563	1,180	75.5	315	20.2	45	2.9	23	1.5
	60～64歳	1,185	798	67.3	303	25.6	61	5.1	23	1.9
	65～69歳	643	379	58.9	220	34.2	34	5.3	10	1.6
	70～74歳	209	119	56.9	73	34.9	16	7.7	1	0.5
	75～79歳	44	28	63.6	9	20.5	6	13.6	1	2.3
	80歳以上	14	9	64.3	5	35.7	0	0.0	0	0.0
小 計		13,888	11,796	84.9	1,699	12.2	278	2.0	115	0.8
総 数	～19歳	360	359	99.7	1	0.3	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	2,233	2,186	97.9	42	1.9	3	0.1	2	0.1
	25～29歳	2,075	2,004	96.6	53	2.6	8	0.4	10	0.5
	30～34歳	2,218	2,099	94.6	95	4.3	10	0.5	14	0.6
	35～39歳	2,956	2,714	91.8	184	6.2	30	1.0	28	0.9
	40～44歳	5,014	4,412	88.0	429	8.6	103	2.1	70	1.4
	45～49歳	5,225	4,379	83.8	585	11.2	181	3.5	80	1.5
	50～54歳	4,830	3,764	77.9	676	14.0	262	5.4	128	2.7
	55～59歳	4,511	3,235	71.7	838	18.6	310	6.9	128	2.8
	60～64歳	3,278	2,116	64.6	730	22.3	322	9.8	110	3.4
	65～69歳	1,412	779	55.2	459	32.5	133	9.4	41	2.9
	70～74歳	498	243	48.8	170	34.1	67	13.5	18	3.6
	75～79歳	107	60	56.1	32	29.9	12	11.2	3	2.8
	80歳以上	36	22	61.1	10	27.8	3	8.3	1	2.8
合 計		34,753	28,372	81.6	4,304	12.4	1,444	4.2	633	1.8

実施状況

事業所健診のなかで、34,753人に糖代謝検査を行った。

男女別では、男性20,865人（60.0％）女性13,888人（40.0％）であった。

また、年齢階級でみると、45～49歳が最も高く、次いで、40～44歳、50～54歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）81.6％、要指導12.4％、治療継続4.2％、要医療1.8％であった。

【事業所健診】腎機能検査結果

平成29年度

		受診者数	判 定				要 医 療			
			異常なし		要 指 導		治療継続		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	649	610	94.0	33	5.1	0	0.0	6	0.9
	20～24歳	2,823	2,716	96.2	95	3.4	0	0.0	12	0.4
	25～29歳	1,270	1,228	96.7	32	2.5	0	0.0	10	0.8
	30～34歳	1,386	1,349	97.3	24	1.7	7	0.5	6	0.4
	35～39歳	1,798	1,720	95.7	55	3.1	12	0.7	11	0.6
	40～44歳	2,811	2,621	93.2	150	5.3	13	0.5	27	1.0
	45～49歳	2,995	2,776	92.7	147	4.9	28	0.9	44	1.5
	50～54歳	2,894	2,610	90.2	204	7.0	24	0.8	56	1.9
	55～59歳	2,950	2,665	90.3	174	5.9	42	1.4	69	2.3
	60～64歳	2,093	1,862	89.0	148	7.1	20	1.0	63	3.0
	65～69歳	769	698	90.8	38	4.9	7	0.9	26	3.4
	70～74歳	290	254	87.6	13	4.5	5	1.7	18	6.2
	75～79歳	63	54	85.7	6	9.5	1	1.6	2	3.2
	80歳以上	21	16	76.2	1	4.8	0	0.0	4	19.0
小 計		22,812	21,179	92.8	1,120	4.9	159	0.7	354	1.6
女 性	～19歳	442	425	96.2	13	2.9	0	0.0	4	0.9
	20～24歳	2,222	2,101	94.6	85	3.8	3	0.1	33	1.5
	25～29歳	866	827	95.5	31	3.6	1	0.1	7	0.8
	30～34歳	837	806	96.3	28	3.3	1	0.1	2	0.2
	35～39歳	1,166	1,077	92.4	66	5.7	3	0.3	20	1.7
	40～44歳	2,208	2,031	92.0	143	6.5	5	0.2	29	1.3
	45～49歳	2,232	2,051	91.9	135	6.0	11	0.5	35	1.6
	50～54歳	1,938	1,750	90.3	123	6.3	10	0.5	55	2.8
	55～59歳	1,563	1,437	91.9	88	5.6	5	0.3	33	2.1
	60～64歳	98	57	58.2	0	0.0	9	9.2	32	32.7
	65～69歳	643	601	93.5	26	4.0	9	1.4	7	1.1
	70～74歳	209	194	92.8	7	3.3	1	0.5	7	3.3
	75～79歳	44	38	86.4	3	6.8	0	0.0	3	6.8
	80歳以上	13	12	92.3	0	0.0	0	0.0	1	7.7
小 計		14,481	13,407	92.6	748	5.2	58	0.4	268	1.9
総 数	～19歳	1,091	1,035	94.9	46	4.2	0	0.0	10	0.9
	20～24歳	5,045	4,817	95.5	180	3.6	3	0.1	45	0.9
	25～29歳	2,136	2,055	96.2	63	2.9	1	0.0	17	0.8
	30～34歳	2,223	2,155	96.9	52	2.3	8	0.4	8	0.4
	35～39歳	2,964	2,797	94.4	121	4.1	15	0.5	31	1.0
	40～44歳	5,019	4,652	92.7	293	5.8	18	0.4	56	1.1
	45～49歳	5,227	4,827	92.3	282	5.4	39	0.7	79	1.5
	50～54歳	4,832	4,360	90.2	327	6.8	34	0.7	111	2.3
	55～59歳	4,513	4,102	90.9	262	5.8	47	1.0	102	2.3
	60～64歳	2,191	1,919	87.6	148	6.8	29	1.3	95	4.3
	65～69歳	1,412	1,299	92.0	64	4.5	16	1.1	33	2.3
	70～74歳	499	448	89.8	20	4.0	6	1.2	25	5.0
	75～79歳	107	92	86.0	9	8.4	1	0.9	5	4.7
	80歳以上	34	28	82.4	1	2.9	0	0.0	5	14.7
合 計		37,293	34,586	92.7	1,868	5.0	217	0.6	622	1.7

実施状況

事業所健診のなかで、37,293人に腎機能検査を行った。

男女別では、男性22,812人（61.2%）女性14,481人（38.8%）であった。

また、年齢階級でみると、45～49歳が最も高く、次いで、40～44歳、50～54歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）92.7%、要指導5.0%、治療継続0.6%、要医療1.7%であった。

【事業所健診】血液一般検査結果

平成29年度

		受診者数	判 定				要 医 療			
			異常なし		要 指 導		治療継続		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	570	506	88.8	29	5.1	0	0.0	35	6.1
	20～24歳	1,188	1,062	89.4	93	7.8	0	0.0	33	2.8
	25～29歳	999	918	91.9	68	6.8	0	0.0	13	1.3
	30～34歳	1,108	1,022	92.2	68	6.1	0	0.0	18	1.6
	35～39歳	1,663	1,519	91.3	109	6.6	0	0.0	35	2.1
	40～44歳	2,749	2,458	89.4	206	7.5	5	0.2	80	2.9
	45～49歳	2,932	2,585	88.2	252	8.6	6	0.2	89	3.0
	50～54歳	2,834	2,452	86.5	274	9.7	9	0.3	99	3.5
	55～59歳	2,893	2,517	87.0	279	9.6	15	0.5	82	2.8
	60～64歳	2,049	1,797	87.7	177	8.6	4	0.2	71	3.5
	65～69歳	746	669	89.7	40	5.4	2	0.3	35	4.7
	70～74歳	286	250	87.4	15	5.2	4	1.4	17	5.9
	75～79歳	63	56	88.9	3	4.8	1	1.6	3	4.8
	80歳以上	22	6	27.3	11	50.0	1	4.5	4	18.2
小 計		20,102	17,817	88.6	1,624	8.1	47	0.2	614	3.1
女 性	～19歳	501	406	81.0	45	9.0	1	0.2	49	9.8
	20～24歳	816	658	80.6	110	13.5	6	0.7	42	5.1
	25～29歳	701	581	82.9	88	12.6	3	0.4	29	4.1
	30～34歳	683	557	81.6	78	11.4	9	1.3	39	5.7
	35～39歳	1,077	853	79.2	136	12.6	17	1.6	71	6.6
	40～44歳	2,153	1,630	75.7	290	13.5	50	2.3	183	8.5
	45～49歳	2,162	1,602	74.1	257	11.9	72	3.3	231	10.7
	50～54歳	1,877	1,540	82.0	173	9.2	50	2.7	114	6.1
	55～59歳	1,522	1,347	88.5	129	8.5	3	0.2	43	2.8
	60～64歳	1,148	1,025	89.3	84	7.3	8	0.7	31	2.7
	65～69歳	616	539	87.5	54	8.8	4	0.6	19	3.1
	70～74歳	198	177	89.4	14	7.1	0	0.0	7	3.5
	75～79歳	43	40	93.0	1	2.3	0	0.0	2	4.7
	80歳以上	14	8	57.1	5	35.7	0	0.0	1	7.1
小 計		13,511	10,963	81.1	1,464	10.8	223	1.7	861	6.4
総 数	～19歳	1,071	912	85.2	74	6.9	1	0.1	84	7.8
	20～24歳	2,004	1,720	85.8	203	10.1	6	0.3	75	3.7
	25～29歳	1,700	1,499	88.2	156	9.2	3	0.2	42	2.5
	30～34歳	1,791	1,579	88.2	146	8.2	9	0.5	57	3.2
	35～39歳	2,740	2,372	86.6	245	8.9	17	0.6	106	3.9
	40～44歳	4,902	4,088	83.4	496	10.1	55	1.1	263	5.4
	45～49歳	5,094	4,187	82.2	509	10.0	78	1.5	320	6.3
	50～54歳	4,711	3,992	84.7	447	9.5	59	1.3	213	4.5
	55～59歳	4,415	3,864	87.5	408	9.2	18	0.4	125	2.8
	60～64歳	3,197	2,822	88.3	261	8.2	12	0.4	102	3.2
	65～69歳	1,362	1,208	88.7	94	6.9	6	0.4	54	4.0
	70～74歳	484	427	88.2	29	6.0	4	0.8	24	5.0
	75～79歳	106	96	90.6	4	3.8	1	0.9	5	4.7
	80歳以上	36	14	38.9	16	44.4	1	2.8	5	13.9
合 計		33,613	28,780	85.6	3,088	9.2	270	0.8	1475	4.4

実施状況

事業所健診のなかで、33,613人に血液一般検査を行った。

男女別では、男性20,102人（59.8%）女性13,511人（40.2%）であった。

また、年齢階級でみると、45～49歳が最も高く、次いで、40～44歳、50～54歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）85.6%、要指導9.2%、治療継続0.8%、要医療4.4%であった。

【事業所健診】心電図検査結果

平成29年度

		受診者数	判				定			
			異常なし		有 所 見		治療継続		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	317	308	97.2	5	1.6	3	0.9	1	0.3
	20～24歳	527	479	90.9	42	8.0	1	0.2	5	0.9
	25～29歳	416	333	80.0	83	20.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	608	512	84.2	90	14.8	2	0.3	4	0.7
	35～39歳	1,091	920	84.3	158	14.5	4	0.4	9	0.8
	40～44歳	2,729	2,330	85.4	350	12.8	34	1.2	15	0.5
	45～49歳	2,920	2,465	84.4	371	12.7	50	1.7	34	1.2
	50～54歳	2,825	2,375	84.1	349	12.4	72	2.5	29	1.0
	55～59歳	2,889	2,305	79.8	407	14.1	142	4.9	35	1.2
	60～64歳	2,047	1,486	72.6	390	19.1	129	6.3	42	2.1
	65～69歳	738	476	64.5	173	23.4	65	8.8	24	3.3
	70～74歳	285	170	59.6	66	23.2	35	12.3	14	4.9
	75～79歳	63	33	52.4	18	28.6	10	15.9	2	3.2
	80歳以上	21	9	42.9	4	19.0	7	33.3	1	4.8
小 計		17,476	14,201	81.3	2,506	14.3	555	3.2	215	1.2
女 性	～19歳	355	351	98.9	1	0.3	2	0.6	1	0.3
	20～24歳	320	305	95.3	13	4.1	1	0.3	1	0.3
	25～29歳	255	236	92.5	19	7.5	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	295	261	88.5	33	11.2	0	0.0	1	0.3
	35～39歳	757	709	93.7	43	5.7	3	0.4	2	0.3
	40～44歳	2,128	1,947	91.5	154	7.2	11	0.5	16	0.8
	45～49歳	2,144	1,956	91.2	155	7.2	20	0.9	13	0.6
	50～54歳	1,866	1,651	88.5	177	9.5	12	0.6	26	1.4
	55～59歳	1,513	1,297	85.7	179	11.8	17	1.1	20	1.3
	60～64歳	1,150	946	82.3	143	12.4	26	2.3	35	3.0
	65～69歳	616	471	76.5	89	14.4	30	4.9	26	4.2
	70～74歳	197	136	69.0	42	21.3	12	6.1	7	3.6
	75～79歳	42	26	61.9	12	28.6	3	7.1	1	2.4
	80歳以上	13	8	61.5	2	15.4	1	7.7	2	15.4
小 計		11,651	10,300	88.4	1,062	9.1	138	1.2	151	1.3
総 数	～19歳	672	659	98.1	6	0.9	5	0.7	2	0.3
	20～24歳	847	784	92.6	55	6.5	2	0.2	6	0.7
	25～29歳	671	569	84.8	102	15.2	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	903	773	85.6	123	13.6	2	0.2	5	0.6
	35～39歳	1,848	1,629	88.1	201	10.9	7	0.4	11	0.6
	40～44歳	4,857	4,277	88.1	504	10.4	45	0.9	31	0.6
	45～49歳	5,064	4,421	87.3	526	10.4	70	1.4	47	0.9
	50～54歳	4,691	4,026	85.8	526	11.2	84	1.8	55	1.2
	55～59歳	4,402	3,602	81.8	586	13.3	159	3.6	55	1.2
	60～64歳	3,197	2,432	76.1	533	16.7	155	4.8	77	2.4
	65～69歳	1,354	947	69.9	262	19.4	95	7.0	50	3.7
	70～74歳	482	306	63.5	108	22.4	47	9.8	21	4.4
	75～79歳	105	59	56.2	30	28.6	13	12.4	3	2.9
	80歳以上	34	17	50.0	6	17.6	8	23.5	3	8.8
合 計		29,127	24,501	84.1	3,568	12.2	692	2.4	366	1.3

実施状況

事業所健診のなかで、29,127人に心電図検査を行った。

男女別では、男性17,476人（60.0％）女性11,651人（40.0％）であった。

また、年齢階級でみると、45～49歳が最も高く、次いで、40～44歳、50～54歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）84.1％、有所見12.2％、治療継続2.4％、要医療1.3％であった。

【事業所健診】眼底検査結果

平成29年度

		受診者数	判定									
			異常なし		有所見・軽度異常		治療継続		要医療		読影不能、判定不能	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	7	6	85.7	0	0.0	0	0.0	1	14.3	0	0.0
	30～34歳	67	62	92.5	0	0.0	0	0.0	5	7.5	0	0.0
	35～39歳	153	138	90.2	0	0.0	1	0.7	14	9.2	0	0.0
	40～44歳	341	280	82.1	23	6.7	9	2.6	28	8.2	1	0.3
	45～49歳	298	238	79.9	29	9.7	5	1.7	26	8.7	0	0.0
	50～54歳	311	229	73.6	43	13.8	7	2.3	32	10.3	0	0.0
	55～59歳	300	201	67.0	54	18.0	10	3.3	35	11.7	0	0.0
	60～64歳	236	131	55.5	52	22.0	12	5.1	41	17.4	0	0.0
	65～69歳	126	59	46.8	35	27.8	10	7.9	22	17.5	0	0.0
	70～74歳	62	17	27.4	16	25.8	12	19.4	17	27.4	0	0.0
	75～79歳	14	3	21.4	4	28.6	1	7.1	6	42.9	0	0.0
	80歳以上	8	2	25.0	1	12.5	2	25.0	3	37.5	0	0.0
小計		1,925	1,368	71.1	257	13.4	69	3.6	230	11.9	1	0.1
女 性	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	10	10	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	47	43	91.5	0	0.0	1	2.1	3	6.4	0	0.0
	35～39歳	160	152	95.0	1	0.6	0	0.0	7	4.4	0	0.0
	40～44歳	331	294	88.8	8	2.4	4	1.2	25	7.6	0	0.0
	45～49歳	315	257	81.6	18	5.7	10	3.2	30	9.5	0	0.0
	50～54歳	391	307	78.5	35	9.0	21	5.4	28	7.2	0	0.0
	55～59歳	262	184	70.2	24	9.2	17	6.5	36	13.7	1	0.4
	60～64歳	197	126	64.0	23	11.7	13	6.6	35	17.8	0	0.0
	65～69歳	104	64	61.5	12	11.5	11	10.6	17	16.3	0	0.0
	70～74歳	49	14	28.6	8	16.3	12	24.5	15	30.6	0	0.0
	75～79歳	14	3	21.4	2	14.3	4	28.6	5	35.7	0	0.0
	80歳以上	3	0	0.0	0	0.0	2	66.7	1	33.3	0	0.0
小計		1,885	1,456	77.2	131	6.9	95	5.0	202	10.7	1	0.1
総 数	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	4	4	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	17	16	94.1	0	0.0	0	0.0	1	5.9	0	0.0
	30～34歳	114	105	92.1	0	0.0	1	0.9	8	7.0	0	0.0
	35～39歳	313	290	92.7	1	0.3	1	0.3	21	6.7	0	0.0
	40～44歳	672	574	85.4	31	4.6	13	1.9	53	7.9	1	0.1
	45～49歳	613	495	80.8	47	7.7	15	2.4	56	9.1	0	0.0
	50～54歳	702	536	76.4	78	11.1	28	4.0	60	8.5	0	0.0
	55～59歳	562	385	68.5	78	13.9	27	4.8	71	12.6	1	0.2
	60～64歳	433	257	59.4	75	17.3	25	5.8	76	17.6	0	0.0
	65～69歳	230	123	53.5	47	20.4	21	9.1	39	17.0	0	0.0
	70～74歳	111	31	27.9	24	21.6	24	21.6	32	28.8	0	0.0
	75～79歳	28	6	21.4	6	21.4	5	17.9	11	39.3	0	0.0
	80歳以上	11	2	18.2	1	9.1	4	36.4	4	36.4	0	0.0
合計		3,810	2,824	74.1	388	10.2	164	4.3	432	11.3	2	0.1

実施状況

事業所健診のなかで、3,810人に眼底検査を行った。

男女別では、男性1,925人（50.5％）女性1,885人（49.5％）であった。

また、年齢階級でみると、50～54歳が最も高く、次いで、40～44歳、45～49歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）74.1％、有所見10.2％、治療継続4.3％、要医療11.3％であった。

腹部超音波検査結果

平成29年度

		受診者数	判 定											
			異常なし		有 所 見		要 指 導		治療継続		要 精 検		読影不能・判定不能	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	4	2	50.0	0	0.0	1	25.0	0	0.0	1	25.0	0	0.0
	25～29歳	5	4	80.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	70	31	44.3	2	2.9	35	50.0	0	0.0	2	2.9	0	0.0
	35～39歳	151	56	37.1	2	1.3	83	55.0	1	0.7	9	6.0	0	0.0
	40～44歳	358	62	17.3	13	3.6	266	74.3	0	0.0	17	4.7	0	0.0
	45～49歳	321	43	13.4	6	1.9	252	78.5	4	1.2	16	5.0	0	0.0
	50～54歳	330	37	11.2	5	1.5	260	78.8	2	0.6	26	7.9	0	0.0
	55～59歳	318	27	8.5	9	2.8	254	79.9	1	0.3	27	8.5	0	0.0
	60～64歳	329	32	9.7	6	1.8	256	77.8	3	0.9	32	9.7	0	0.0
	65～69歳	384	28	7.3	1	0.3	318	82.8	0	0.0	37	9.6	0	0.0
	70～74歳	305	15	4.9	2	0.7	263	86.2	0	0.0	25	8.2	0	0.0
	75～79歳	157	4	2.5	1	0.6	137	87.3	0	0.0	15	9.6	0	0.0
	80歳以上	67	3	4.5	0	0.0	59	88.1	0	0.0	5	7.5	0	0.0
小 計		2,799	344	12.3	47	1.7	2,185	78.1	11	0.4	212	7.6	0	0.0
女 性	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0
	25～29歳	7	3	42.9	0	0.0	4	57.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	53	30	56.6	0	0.0	21	39.6	0	0.0	2	3.8	0	0.0
	35～39歳	155	66	42.6	0	0.0	79	51.0	1	0.6	9	5.8	0	0.0
	40～44歳	372	117	31.5	0	0.0	236	63.4	0	0.0	19	5.1	0	0.0
	45～49歳	386	100	25.9	2	0.5	261	67.6	0	0.0	23	6.0	0	0.0
	50～54歳	524	125	23.9	3	0.6	361	68.9	1	0.2	34	6.5	0	0.0
	55～59歳	418	76	18.2	2	0.5	317	75.8	0	0.0	23	5.5	0	0.0
	60～64歳	496	72	14.5	2	0.4	379	76.4	0	0.0	43	8.7	0	0.0
	65～69歳	652	71	10.9	0	0.0	527	80.8	0	0.0	54	8.3	0	0.0
	70～74歳	461	38	8.2	0	0.0	376	81.6	0	0.0	47	10.2	0	0.0
	75～79歳	197	17	8.6	1	0.5	169	85.8	0	0.0	10	5.1	0	0.0
	80歳以上	63	6	9.5	1	1.6	48	76.2	0	0.0	8	12.7	0	0.0
小 計		3,785	721	19.0	11	0.3	2,778	73.4	2	0.1	273	7.2	0	0.0
総 数	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	5	2	40.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0	2	40.0	0	0.0
	25～29歳	12	7	58.3	0	0.0	5	41.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	123	61	49.6	2	1.6	56	45.5	0	0.0	4	3.3	0	0.0
	35～39歳	306	122	39.9	2	0.7	162	52.9	2	0.7	18	5.9	0	0.0
	40～44歳	730	179	24.5	13	1.8	502	68.8	0	0.0	36	4.9	0	0.0
	45～49歳	707	143	20.2	8	1.1	513	72.6	4	0.6	39	5.5	0	0.0
	50～54歳	854	162	19.0	8	0.9	621	72.7	3	0.4	60	7.0	0	0.0
	55～59歳	736	103	14.0	11	1.5	571	77.6	1	0.1	50	6.8	0	0.0
	60～64歳	825	104	12.6	8	1.0	635	77.0	3	0.4	75	9.1	0	0.0
	65～69歳	1,036	99	9.6	1	0.1	845	81.6	0	0.0	91	8.8	0	0.0
	70～74歳	766	53	6.9	2	0.3	639	83.4	0	0.0	72	9.4	0	0.0
	75～79歳	354	21	5.9	2	0.6	306	86.4	0	0.0	25	7.1	0	0.0
	80歳以上	130	9	6.9	1	0.8	107	82.3	0	0.0	13	10.0	0	0.0
合 計		6,584	1,065	16.2	58	0.9	4,963	75.4	13	0.2	485	7.4	0	0.0

実施状況

腹部超音波検査は、6,584人に実施している。

男女別では、男性2,799人（42.5％）女性3,785人（57.5％）であった。

また、年齢階級でみると、65～69歳が最も高く、次いで、50～54歳、60～64歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）16.2％、有所見0.9％、要指導75.4％、治療継続0.2％、要精検7.4％であった。

肝炎検査（B型肝炎）結果

平成29年度

		受診者数	判 定							
			陰 性		抗原陰性抗体陽性		治療継続		陽 性	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	1	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	54	36	66.7	17	31.5	1	1.9	0	0.0
	35～39歳	76	64	84.2	12	15.8	0	0.0	0	0.0
	40～44歳	564	542	96.1	18	3.2	1	0.2	3	0.5
	45～49歳	332	309	93.1	18	5.4	0	0.0	5	1.5
	50～54歳	301	290	96.3	7	2.3	0	0.0	4	1.3
	55～59歳	381	356	93.4	15	3.9	1	0.3	9	2.4
	60～64歳	459	439	95.6	14	3.1	0	0.0	6	1.3
	65～69歳	648	640	98.8	1	0.2	0	0.0	7	1.1
	70～74歳	456	442	96.9	0	0.0	0	0.0	14	3.1
	75～79歳	157	155	98.7	0	0.0	0	0.0	2	1.3
	80歳以上	82	81	98.8	0	0.0	0	0.0	1	1.2
小 計		3,513	3,357	95.6	102	2.9	3	0.1	51	1.5
女 性	～19歳	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	52	41	78.8	11	21.2	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	41	39	95.1	2	4.9	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	54	47	87.0	7	13.0	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	129	122	94.6	7	5.4	0	0.0	0	0.0
	40～44歳	1,244	1,237	99.4	2	0.2	0	0.0	5	0.4
	45～49歳	457	446	97.6	5	1.1	1	0.2	5	1.1
	50～54歳	477	466	97.7	6	1.3	0	0.0	5	1.0
	55～59歳	431	421	97.7	7	1.6	0	0.0	3	0.7
	60～64歳	537	524	97.6	5	0.9	0	0.0	8	1.5
	65～69歳	674	662	98.2	1	0.1	0	0.0	11	1.6
	70～74歳	441	431	97.7	0	0.0	0	0.0	10	2.3
	75～79歳	156	153	98.1	0	0.0	0	0.0	3	1.9
	80歳以上	74	72	97.3	0	0.0	0	0.0	2	2.7
小 計		4,769	4,663	97.8	53	1.1	1	0.0	52	1.1
総 数	～19歳	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	53	42	79.2	11	20.8	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	43	41	95.3	2	4.7	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	108	83	76.9	24	22.2	1	0.9	0	0.0
	35～39歳	205	186	90.7	19	9.3	0	0.0	0	0.0
	40～44歳	1,808	1,779	98.4	20	1.1	1	0.1	8	0.4
	45～49歳	789	755	95.7	23	2.9	1	0.1	10	1.3
	50～54歳	778	756	97.2	13	1.7	0	0.0	9	1.2
	55～59歳	812	777	95.7	22	2.7	1	0.1	12	1.5
	60～64歳	996	963	96.7	19	1.9	0	0.0	14	1.4
	65～69歳	1,322	1,302	98.5	2	0.2	0	0.0	18	1.4
	70～74歳	897	873	97.3	0	0.0	0	0.0	24	2.7
	75～79歳	313	308	98.4	0	0.0	0	0.0	5	1.6
	80歳以上	156	153	98.1	0	0.0	0	0.0	3	1.9
合 計		8,282	8,020	96.8	155	1.9	4	0.0	103	1.2

実施状況

B型肝炎検査は、8,282人に実施している。

男女別では、男性3,513人（42.4％）女性4,769人（57.6％）であった。

また、年齢階級でみると、40～44歳が最も高く、次いで、65～69歳、60～64歳の順であった。

判定結果

抗原陰性96.8％、抗原陰性抗体陽性1.9％、抗原陽性1.2％であった。

肝炎検査（C型肝炎）結果

平成29年度

		受診者数	判定					
			陰性		治療継続		陽性	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	1	1	100.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	46	46	100.0	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	55	54	98.2	1	1.8	0	0.0
	40～44歳	534	533	99.8	0	0.0	1	0.2
	45～49歳	306	305	99.7	0	0.0	1	0.3
	50～54歳	278	278	100.0	0	0.0	0	0.0
	55～59歳	360	360	100.0	0	0.0	0	0.0
	60～64歳	452	451	99.8	0	0.0	1	0.2
	65～69歳	638	638	100.0	0	0.0	0	0.0
	70～74歳	457	455	99.6	0	0.0	2	0.4
	75～79歳	157	157	100.0	0	0.0	0	0.0
	80歳以上	81	79	97.5	0	0.0	2	2.5
小計		3,367	3,359	99.8	1	0.0	7	0.2
女 性	～19歳	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	62	61	98.4	0	0.0	1	1.6
	25～29歳	62	62	100.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	70	70	100.0	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	115	115	100.0	0	0.0	0	0.0
	40～44歳	1,229	1,228	99.9	0	0.0	1	0.1
	45～49歳	449	448	99.8	0	0.0	1	0.2
	50～54歳	459	459	100.0	0	0.0	0	0.0
	55～59歳	428	428	100.0	0	0.0	0	0.0
	60～64歳	516	516	100.0	0	0.0	0	0.0
	65～69歳	676	675	99.9	0	0.0	1	0.1
	70～74歳	442	442	100.0	0	0.0	0	0.0
	75～79歳	156	156	100.0	0	0.0	0	0.0
	80歳以上	74	73	98.6	0	0.0	1	1.4
小計		4,740	4,735	99.9	0	0.0	5	0.1
総 数	～19歳	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	63	62	98.4	0	0.0	1	1.6
	25～29歳	64	64	100.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	116	116	100.0	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	170	169	99.4	1	0.6	0	0.0
	40～44歳	1,763	1,761	99.9	0	0.0	2	0.1
	45～49歳	755	753	99.7	0	0.0	2	0.3
	50～54歳	737	737	100.0	0	0.0	0	0.0
	55～59歳	788	788	100.0	0	0.0	0	0.0
	60～64歳	968	967	99.9	0	0.0	1	0.1
	65～69歳	1,314	1,313	99.9	0	0.0	1	0.1
	70～74歳	899	897	99.8	0	0.0	2	0.2
	75～79歳	313	313	100.0	0	0.0	0	0.0
	80歳以上	155	152	98.1	0	0.0	3	1.9
合計		8,107	8,094	99.8	1	0.0	12	0.1

実施状況

C型肝炎検査は、8,107人に実施している

男女別では、男性3,367人（41.5%）女性4,740人（58.5%）であった。

また、年齢階級でみると、40～44歳が最も高く、次いで、65～69歳、60～64歳の順であった。

判定結果

陰性99.8%、陽性0.1%であった。

【総合判定】自治体結果

平成29年度

		受診者数	判 定									
			異常なし		有 所 見		要 指 導		治療継続		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	3	1	33.3	0	0.0	2	66.7	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	37	11	29.7	0	0.0	20	54.1	3	8.1	3	8.1
	25～29歳	77	13	16.9	0	0.0	33	42.9	1	1.3	30	39.0
	30～34歳	230	41	17.8	0	0.0	109	47.4	6	2.6	74	32.2
	35～39歳	363	42	11.6	0	0.0	196	54.0	10	2.8	115	31.7
	40～44歳	766	63	8.2	0	0.0	346	45.2	51	6.7	306	39.9
	45～49歳	880	61	6.9	0	0.0	338	38.4	105	11.9	376	42.7
	50～54歳	887	43	4.8	0	0.0	342	38.6	139	15.7	363	40.9
	55～59歳	1,071	41	3.8	0	0.0	355	33.1	236	22.0	439	41.0
	60～64歳	1,960	33	1.7	0	0.0	560	28.6	587	29.9	780	39.8
	65～69歳	5,057	97	1.9	0	0.0	1,281	25.3	1,829	36.2	1,850	36.6
	70～74歳	5,172	61	1.2	0	0.0	1,066	20.6	2,145	41.5	1,900	36.7
	75～79歳	3,444	37	1.1	0	0.0	682	19.8	1,623	47.1	1,102	32.0
	80歳以上	2,536	26	1.0	0	0.0	449	17.7	1,195	47.1	866	34.1
小 計		22,483	570	2.5	0	0.0	5,779	25.7	7,930	35.3	8,204	36.5
女 性	～19歳	2	1	50.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	58	38	65.5	0	0.0	13	22.4	2	3.4	5	8.6
	25～29歳	141	72	51.1	0	0.0	49	34.8	6	4.3	14	9.9
	30～34歳	411	192	46.7	0	0.0	159	38.7	12	2.9	48	11.7
	35～39歳	730	281	38.5	0	0.0	332	45.5	17	2.3	100	13.7
	40～44歳	1,402	455	32.5	0	0.0	644	45.9	68	4.9	235	16.8
	45～49歳	1,474	310	21.0	0	0.0	722	49.0	100	6.8	342	23.2
	50～54歳	1,693	207	12.2	0	0.0	775	45.8	274	16.2	437	25.8
	55～59歳	2,148	147	6.8	0	0.0	983	45.8	446	20.8	572	26.6
	60～64歳	3,826	166	4.3	0	0.0	1,430	37.4	1,152	30.1	1,078	28.2
	65～69歳	7,792	237	3.0	0	0.0	2,447	31.4	2,892	37.1	2,216	28.4
	70～74歳	7,079	141	2.0	0	0.0	1,713	24.2	3,277	46.3	1,948	27.5
	75～79歳	4,260	68	1.6	0	0.0	920	21.6	2,245	52.7	1,027	24.1
	80歳以上	2,326	29	1.2	0	0.0	368	15.8	1,274	54.8	655	28.2
小 計		33,342	2,344	7.0	0	0.0	10,556	31.7	11,765	35.3	8,677	26.0
総 数	～19歳	5	2	40.0	0	0.0	3	60.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	95	49	51.6	0	0.0	33	34.7	5	5.3	8	8.4
	25～29歳	218	85	39.0	0	0.0	82	37.6	7	3.2	44	20.2
	30～34歳	641	233	36.3	0	0.0	268	41.8	18	2.8	122	19.0
	35～39歳	1,093	323	29.6	0	0.0	528	48.3	27	2.5	215	19.7
	40～44歳	2,168	518	23.9	0	0.0	990	45.7	119	5.5	541	25.0
	45～49歳	2,354	371	15.8	0	0.0	1,060	45.0	205	8.7	718	30.5
	50～54歳	2,580	250	9.7	0	0.0	1,117	43.3	413	16.0	800	31.0
	55～59歳	3,219	188	5.8	0	0.0	1,338	41.6	682	21.2	1,011	31.4
	60～64歳	5,786	199	3.4	0	0.0	1,990	34.4	1,739	30.1	1,858	32.1
	65～69歳	12,849	334	2.6	0	0.0	3,728	29.0	4,721	36.7	4,066	31.6
	70～74歳	12,251	202	1.6	0	0.0	2,779	22.7	5,422	44.3	3,848	31.4
	75～79歳	7,704	105	1.4	0	0.0	1,602	20.8	3,868	50.2	2,129	27.6
	80歳以上	4,862	55	1.1	0	0.0	817	16.8	2,469	50.8	1,521	31.3
合 計		55,825	2,914	5.2	0	0.0	16,335	29.3	19,695	35.3	16,881	30.2

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、55,825人に総合判定を行った。
男女別では、男性22,483人（40.3%）女性33,342人（59.7%）であった。
また、年齢階級でみると、65～69歳が最も高く、次いで、70～74歳、75～79歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）5.2%、要指導29.3%、治療継続35.3%、要医療30.2%であった。

【総合判定】事業所結果

平成29年度

		受診者数	判 定									
			異常なし		有 所 見		要 指 導		要 精 検		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	293	128	43.7	3	1.0	136	46.4	0	0.0	26	8.9
	20～24歳	1,320	517	39.2	34	2.6	580	43.9	0	0.0	189	14.3
	25～29歳	1,236	419	33.9	41	3.3	562	45.5	4	0.3	210	17.0
	30～34歳	1,389	389	28.0	62	4.5	668	48.1	4	0.3	266	19.2
	35～39歳	1,803	297	16.5	57	3.2	881	48.9	40	2.2	528	29.3
	40～44歳	2,826	271	9.6	136	4.8	1,292	45.7	111	3.9	1,016	36.0
	45～49歳	3,022	248	8.2	126	4.2	1,383	45.8	138	4.6	1,127	37.3
	50～54歳	2,919	182	6.2	120	4.1	1,347	46.1	155	5.3	1,115	38.2
	55～59歳	2,978	171	5.7	122	4.1	1,419	47.6	209	7.0	1,057	35.5
	60～64歳	2,108	77	3.7	98	4.6	1,016	48.2	158	7.5	759	36.0
	65～69歳	770	14	1.8	23	3.0	358	46.5	67	8.7	308	40.0
	70～74歳	290	5	1.7	2	0.7	132	45.5	26	9.0	125	43.1
	75～79歳	63	2	3.2	3	4.8	28	44.4	7	11.1	23	36.5
	80歳以上	22	1	4.5	0	0.0	10	45.5	1	4.5	10	45.5
小 計		21,039	2,721	12.9	827	3.9	9,812	46.6	920	4.4	6,759	32.1
女 性	～19歳	111	77	69.4	1	0.9	30	27.0	0	0.0	3	2.7
	20～24歳	925	560	60.5	10	1.1	285	30.8	4	0.4	66	7.1
	25～29歳	854	487	57.0	27	3.2	272	31.9	4	0.5	64	7.5
	30～34歳	852	431	50.6	34	4.0	299	35.1	11	1.3	77	9.0
	35～39歳	1,170	407	34.8	73	6.2	464	39.7	42	3.6	184	15.7
	40～44歳	2,216	590	26.6	122	5.5	984	44.4	104	4.7	416	18.8
	45～49歳	2,244	420	18.7	121	5.4	1,055	47.0	88	3.9	560	25.0
	50～54歳	1,943	276	14.2	85	4.4	921	47.4	82	4.2	579	29.8
	55～59歳	1,564	151	9.7	84	5.4	790	50.5	69	4.4	470	30.1
	60～64歳	1,188	76	6.4	44	3.7	619	52.1	55	4.6	394	33.2
	65～69歳	644	36	5.6	20	3.1	363	56.4	23	3.6	202	31.4
	70～74歳	209	10	4.8	7	3.3	107	51.2	11	5.3	74	35.4
	75～79歳	44	1	2.3	2	4.5	22	50.0	1	2.3	18	40.9
	80歳以上	14	3	21.4	0	0.0	6	42.9	0	0.0	5	35.7
小 計		13,978	3,525	25.2	630	4.5	6,217	44.5	494	3.5	3,112	22.3
総 数	～19歳	404	205	50.7	4	1.0	166	41.1	0	0.0	29	7.2
	20～24歳	2,245	1,077	48.0	44	2.0	865	38.5	4	0.2	255	11.4
	25～29歳	2,090	906	43.3	68	3.3	834	39.9	8	0.4	274	13.1
	30～34歳	2,241	820	36.6	96	4.3	967	43.2	15	0.7	343	15.3
	35～39歳	2,973	704	23.7	130	4.4	1,345	45.2	82	2.8	712	23.9
	40～44歳	5,042	861	17.1	258	5.1	2,276	45.1	215	4.3	1,432	28.4
	45～49歳	5,266	668	12.7	247	4.7	2,438	46.3	226	4.3	1,687	32.0
	50～54歳	4,862	458	9.4	205	4.2	2,268	46.6	237	4.9	1,694	34.8
	55～59歳	4,542	322	7.1	206	4.5	2,209	48.6	278	6.1	1,527	33.6
	60～64歳	3,296	153	4.6	142	4.3	1,635	49.6	213	6.5	1,153	35.0
	65～69歳	1,414	50	3.5	43	3.0	721	51.0	90	6.4	510	36.1
	70～74歳	499	15	3.0	9	1.8	239	47.9	37	7.4	199	39.9
	75～79歳	107	3	2.8	5	4.7	50	46.7	8	7.5	41	38.3
	80歳以上	36	4	11.1	0	0.0	16	44.4	1	2.8	15	41.7
合 計		35,017	6,246	17.8	1457	4.2	16,029	45.8	1,414	4.0	9,871	28.2

実施状況

事業所の健康診査のなかで、35,017人に総合判定を行った。

男女別では、男性21,039人（60.1%）女性13,978人（39.9%）であった。

また、年齢階級でみると、45～49歳が最も高く、次いで、40～44歳、50～54歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）17.8%、有所見4.2%、要指導45.8%、要精検4.0%、要医療28.2%であった。

3 検診センターの精密検査成績

1 精密検査実施状況

センター別 部位別	小計	平成29年度			小計	平成28年度		
		札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路
胃	5,074	2,935	1,599	540	4,923	2,867	1,465	591
子宮	1,410	980	251	179	1,564	1,105	248	211
乳	1,459	753	706	0	1,592	704	886	2
肺	852	220	543	89	947	241	602	104
大腸	1,768	1,328	274	166	1,985	1,390	414	181
合計	10,563	6,216	3,373	974	11,011	6,307	3,615	1,089

2 部位別内訳

(1) 胃がん

センター別 部位別	計	平成29年度			計	平成28年度		
		札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路
検査日数	718	263	263	192	699	261	241	197
精検受診者数	5,074	2,935	1,599	540	4,923	2,867	1,465	591
延べ内訳	X線直接撮影	39	10	0	29	54	17	0
	内視鏡	5,094	2,941	1,635	518	4,979	2,913	1,498
	組織診	824	625	181	18	912	660	222
発見がん数	58	40	11	7	69	44	18	7
(別掲)その他のがん	(6)	(2)	(3)	(1)	(5)	(5)	(0)	(0)

(2) 子宮がん（卵巣も含む）

センター別 部位別	計	平成29年度			計	平成28年度		
		札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路
検査日数	513	246	226	41	471	203	223	45
精検受診者数	1,410	980	251	179	1,564	1,105	248	211
延べ内訳	再検査(細胞診)	1,498	1,029	264	205	1,765	1,220	266
	頸部組織診	264	157	81	26	241	143	64
	体部組織診	21	11	10	0	16	9	7
超音波	1,220	855	224	141	1,357	964	227	166
HPVウイルス	360	187	162	11	366	161	181	24
発見がん数	37	26	10	1	36	18	12	6

(3) 乳がん

センター別 部位別		計	平成29年度			計	平成28年度		
			札 幌	旭 川	釧 路		札 幌	旭 川	釧 路
検 査 日 数		394	143	251	0	490	235	253	2
精検受診者数		1,459	753	706		1,592	704	886	2
延 べ 内 訳	X 線 撮 影	1,249	688	561		1,281	564	717	0
	超 音 波	1,592	834	758		1,727	764	961	2
	細 胞 診	122	0	122		141	0	141	0
	触 診 再 検 査	1,067	540	527		1,063	378	685	0
発 見 が ん 数		170	80	90		211	101	96	14

(4) 肺がん

センター別 部位別		計	平成29年度			計	平成28年度		
			札 幌	旭 川	釧 路		札 幌	旭 川	釧 路
検 査 日 数		218	48	95	75	219	50	92	77
精検受診者数		852	220	543	89	947	241	602	104
延 べ 内 訳	X線直接撮影	754	37	663	54	809	40	703	66
	C T	1,037	284	663	90	1,104	296	703	105
	喀 痰 細 胞 診	2	1	0	1	2	0	2	0
発 見 が ん 数		23	11	11	1	27	14	7	6
(別掲)その他のがん		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

(5) 大腸がん

センター別 部位別		計	平成29年度			計	平成28年度		
			札 幌	旭 川	釧 路		札 幌	旭 川	釧 路
検 査 日 数		531	233	181	117	479	194	166	119
精検受診者数		1,768	1,328	274	166	1,985	1,390	414	181
延 べ 内 訳	X線注腸撮影	4	0	0	4	6	0	0	6
	内 視 鏡	1,766	1,329	274	163	1,981	1,390	414	177
	組 織 診	68	45	23	0	52	37	15	0
発 見 が ん 数		79	57	13	9	82	57	16	9
(別掲)その他のがん		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

3 精密検査結果

(1) 胃がん

札幌がん検診センター

昭和45年度～平成29年度

年度	精 検 受診者数	精 検 結 果 内 訳							
		胃 が ん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒痕	十二指腸 潰瘍	胃 炎	その他	異常なし
45～24	192,406	3,287(278)	22,461	9,860	48,360	2,371	23,126	14,716	68,225
25	3,512	55(16)	826	115	563	17	1,407	394	135
26	3,052	44(10)	868	78	517	8	1,203	236	98
27	3,078	50(3)	766	57	461	38	1,422	168	116
28	2,867	44(12)	481	58	365	1	1,502	321	95
29	2,924	40(2)	266	20	157	2	1,463	580	396
計	207,839	3,520(321)	25,668	10,188	50,423	2,437	30,123	16,415	69,065

旭川がん検診センター

昭和56年度～平成29年度

年度	精 検 受診者数	精 検 結 果 内 訳							
		胃 が ん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒痕	十二指腸 潰瘍	胃 炎	その他	異常なし
56～24	79,334	1,429(236)	13,010	3,039	12,732	1,100	19,025	3,785	25,214
25	1,762	30(3)	218	22	185	25	656	194	432
26	1,971	33(2)	254	25	194	39	858	220	348
27	1,298	11(2)	168	10	104	12	771	139	83
28	1,465	18(0)	244	23	100	9	813	199	59
29	1,599	11(2)	271	16	65	2	802	393	39
計	87,429	1,532(245)	14,165	3,135	13,380	1,187	22,925	4,930	26,175

釧路がん検診センター

昭和60年度～平成29年度

年度	精 検 受診者数	精 検 結 果 内 訳							
		胃 が ん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒痕	十二指腸 潰瘍	胃 炎	その他	異常なし
60～23	34,809	573(74)	4,338	1,300	5,015	533	11,871	3,519	7,660
25	719	14(1)	87	27	50	4	368	128	41
26	674	16(5)	89	15	54	1	345	110	44
27	659	7(1)	79	9	39	3	379	92	51
28	605	7(2)	89	13	38	1	349	70	38
29	540	7(1)	70	5	33	3	323	52	47
計	38,006	624(84)	4,752	1,369	5,229	545	13,635	3,971	7,881

注) () 内数字は経過観察者より発見した「がん」の再掲、発見がん数には悪性リンパ腫を含む。

精検受診者数には他医療機関からの紹介患者及び経過観察者を含む。

(平成29年度は、札幌 2,455人、旭川 1,050人、釧路 451人)

(2) (再掲) 精密検査より発見した胃がんの進行度と手術状況

札幌がん検診センター

平成29年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			38(4)	29(4)	9(0)	24(4)	18(4)	6(0)	14(0)	11(0)	3(0)
手術施行	計		38(4)	29(4)	9(0)	24(4)	18(4)	6(0)	14(0)	11(0)	3(0)
	早期	内視鏡切除術	18(3)	16(3)	2(0)	10(3)	9(3)	1(0)	8(0)	7(0)	1(0)
		開 腹 手 術	7(1)	5(1)	2(0)	5(1)	4(1)	1(0)	2(0)	1(0)	1(0)
	進 行		10(0)	7(0)	3(0)	7(0)	5(0)	2(0)	3(0)	2(0)	1(0)
	調 査 中		3(0)	1(0)	2(0)	2(0)	0(0)	2(0)	1(0)	1(0)	0(0)
手術未施行			0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

旭川がん検診センター

平成29年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			11(2)	9(2)	2(0)	9(1)	7(1)	2(0)	2(1)	2(1)	0(0)
手術施行	計		11(2)	9(2)	2(0)	9(1)	7(1)	2(0)	2(1)	2(1)	0(0)
	早期	内視鏡切除術	5(1)	4(1)	1(0)	3(0)	2(0)	1(0)	2(1)	2(1)	0(0)
		開 腹 手 術	3(1)	3(1)	0(0)	3(1)	3(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	進 行		3(0)	2(0)	1(0)	3(0)	2(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	調 査 中		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
手術未施行			0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

釧路がん検診センター

平成29年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			7(1)	5(1)	2(0)	2(0)	1(0)	1(0)	2(1)	1(1)	1(0)
手術施行	計		6(0)	5(0)	1(0)	2(0)	1(0)	1(0)	2(1)	1(1)	1(0)
	早期	内視鏡切除術	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)
		開 腹 手 術	3(0)	3(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)
	進 行		1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	調 査 中		1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
手術未施行			0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

注) 発見胃がん数には悪性リンパ腫・肉腫を含む。

() 内数字は経過観察者より発見した胃がん再掲。

※その他は一次検診を受けずに直接精検を希望した方や、医療機関からの紹介患者及び他機関の一次検診を受け、要精検となった方など。

(3) 大腸がん精密検査

札幌がん検診センター

昭和56年度～平成29年度

年 度	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳					
		大 腸 が ん	炎 症	潰 瘍	ポ リ ー プ	そ の 他	異 常 な し
56～24	56,539	1,836(29)	491	57	25,169	2,545	26,441
25	1,731	45(4)	21	2	1,043	152	468
26	1,350	53(6)	15	2	883	77	320
27	1,596	54(2)	13	1	1,008	131	389
28	1,390	57(2)	7	3	859	116	348
29	1,328	57(1)	16	0	816	165	274
計	63,934	2,102(44)	563	65	29,778	3,186	28,240

旭川がん検診センター

昭和56年度～平成29年度

年 度	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳					
		大 腸 が ん	炎 症	潰 瘍	ポ リ ー プ	そ の 他	異 常 な し
56～24	18,458	698(36)	247	4	10,948	1,391	5,170
25	601	27(1)	9	0	395	75	95
26	504	23(2)	6	0	340	47	88
27	215	10(0)	2	0	131	44	28
28	414	16(0)	5	1	247	106	39
29	274	13(0)	0	0	164	74	23
計	20,466	787(39)	269	5	12,225	1,737	5,443

釧路がん検診センター

昭和60年度～平成29年度

年 度	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳					
		大 腸 が ん	炎 症	潰 瘍	ポ リ ー プ	そ の 他	異 常 な し
60～24	12,075	358(17)	49	12	7,102	200	4,354
25	335	20(0)	1	0	176	3	135
26	308	15(1)	4	1	172	2	114
27	310	16(1)	2	0	153	2	137
28	181	9(0)	0	0	102	0	70
29	166	9(0)	1	0	91	0	65
計	13,375	427(19)	57	13	7,796	207	4,875

注) 精密検査受診者数には他医療機関からの紹介患者及び経過観察者を含む。

(平成29年度は、札幌 491人、旭川 58人、釧路 69人)

() 内数字は経過観察者より発見した大腸がん再掲。

(4) (再掲) 精密検査より発見した大腸がんの進行度と手術状況

札幌がん検診センター

平成29年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			57(1)	35(1)	22(0)	55(1)	33(1)	22(0)	2(0)	2(0)	0(0)
手術 施行	計		57(1)	35(1)	22(0)	55(1)	33(1)	22(0)	2(0)	2(0)	0(0)
	早期	内視鏡切除術	30(1)	18(1)	12(0)	30(1)	18(1)	12(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		開 腹 手 術	10(0)	7(0)	3(0)	8(0)	5(0)	3(0)	2(0)	2(0)	0(0)
	進 行		12(0)	7(0)	5(0)	12(0)	7(0)	5(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	調 査 中		5(0)	3(0)	2(0)	5(0)	3(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	手術未施行		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

旭川がん検診センター

平成29年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			13(0)	9(0)	4(0)	11(0)	7(0)	4(0)	2(0)	2(0)	0(0)
手術 施行	計		13(0)	9(0)	4(0)	11(0)	7(0)	4(0)	2(0)	2(0)	0(0)
	早期	内視鏡切除術	10(0)	8(0)	2(0)	8(0)	6(0)	2(0)	2(0)	2(0)	0(0)
		開 腹 手 術	2(0)	0(0)	2(0)	2(0)	0(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	進 行		1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	調 査 中		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	手術未施行		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

釧路がん検診センター

平成29年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			8(0)	5(0)	3(0)	4(0)	2(0)	2(0)	4(0)	3(0)	1(0)
手術 施行	計		8(0)	5(0)	3(0)	5(0)	3(0)	2(0)	4(0)	3(0)	1(0)
	早期	内視鏡切除術	3(0)	3(0)	0(0)	2(0)	1(0)	1(0)	2(0)	2(0)	0(0)
		開 腹 手 術	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)
	進 行		4(0)	2(0)	2(0)	3(0)	2(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)
	調 査 中		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	手術未施行		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

注) 発見大腸がん数には悪性リンパ腫・肉腫を含む。

※その他の内訳は一次検診を受けずに直接精密検査を受けた方や、他機関の一次検診受診の後、精密検査を受けた方及び医療機関からの紹介患者など。

(5) 子宮がん精密検査（経過観察者を含む）

平成29年度

年齢	受診者数	細胞診結果										細胞診後指示				精検の結果										精検後
		扁平上皮系					腺細胞系					異常なし	経過観察	頸部精検	体部精検	良性	異型上皮	CIN3(上皮内がん)	扁平上皮がん	上皮内腺がん	腺がん	体部がん	他のがん	擬陽性	経過観察	
		NILM	ASC-US	L-SIL	ASC-H	H-SIL	SCC	AGC	AIS	ADC	other malig															
総数																										
総数	1,498	1,122	187	111	42	58	1	9	0	1	0	428	1,065	242	21	43	195	32	5	2	1	9	2	58	129	
～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
20～24	20	7	2	9	0	2	0	0	0	0	0	0	25	7	0	0	7	0	0	0	0	0	0	1	6	
25～29	52	37	6	5	0	4	0	0	0	0	0	5	48	17	0	2	15	0	0	0	0	0	0	3	11	
30～34	92	62	15	13	0	2	0	0	0	0	0	13	70	26	0	6	16	3	1	0	0	0	0	7	10	
35～39	100	72	13	8	1	6	0	1	0	0	0	15	81	27	0	2	26	4	0	0	0	0	0	4	12	
40～44	195	128	23	26	7	9	0	2	0	0	0	31	154	46	2	9	39	4	0	2	1	0	0	12	20	
45～49	213	146	24	23	8	9	0	4	0	0	0	44	182	41	1	5	36	6	2	0	0	0	0	6	28	
50～54	158	130	13	7	5	3	0	0	0	0	0	59	113	21	1	6	17	1	0	0	0	0	0	6	14	
55～59	134	120	11	1	2	3	0	0	0	0	0	56	82	12	5	4	10	0	1	0	0	2	0	4	8	
60～64	124	98	13	2	4	4	0	0	0	0	0	44	78	9	3	3	7	2	1	0	0	0	0	5	3	
65～69	171	142	30	4	10	3	0	1	0	1	0	75	89	19	4	4	11	8	0	0	0	3	0	4	12	
70～74	135	107	18	8	3	6	0	1	0	0	0	47	81	11	3	2	7	2	0	0	0	2	0	4	4	
75～79	80	55	16	4	1	4	1	0	0	0	0	28	52	2	1	0	2	0	0	0	0	1	0	2	0	
80～	24	18	3	1	1	3	0	0	0	0	0	11	10	4	1	0	2	2	0	0	0	1	2	0	1	
札幌がん検診センター																										
総数	1,029	780	119	59	25	39	1	5	0	1	0	371	748	157	11	24	112	22	4	1	1	5	1	6	113	
～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
20～24	10	5	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	16	6	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	6	
25～29	40	26	6	5	0	3	0	0	0	0	0	4	42	12	0	1	11	0	0	0	0	0	0	0	11	
30～34	64	41	10	12	0	1	0	0	0	0	0	10	57	14	0	3	8	1	1	0	0	0	0	0	10	
35～39	79	57	12	5	0	4	0	1	0	0	0	13	69	20	0	0	18	2	0	0	0	0	0	0	11	
40～44	117	77	18	10	6	5	0	1	0	0	0	21	110	26	1	5	17	2	0	1	1	0	0	1	16	
45～49	135	94	19	11	5	5	0	1	0	0	0	39	125	29	1	4	23	3	1	0	0	0	0	1	23	
50～54	112	94	11	2	2	3	0	0	0	0	0	49	84	14	0	4	10	0	0	0	0	0	0	0	12	
55～59	87	74	10	0	1	2	0	0	0	0	0	50	45	8	1	2	5	0	1	0	0	0	0	1	7	
60～64	82	67	8	2	2	3	0	0	0	0	0	40	45	5	1	1	2	2	1	0	0	0	0	0	2	
65～69	133	111	7	3	7	3	0	1	0	1	0	71	59	15	3	3	8	8	0	0	0	2	0	2	11	
70～74	94	76	9	2	1	5	0	1	0	0	0	39	55	5	3	1	2	2	0	0	0	2	0	1	3	
75～79	57	44	6	3	0	3	1	0	0	0	0	25	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
80～	19	14	1	1	1	2	0	0	0	0	0	10	7	3	1	0	2	2	0	0	0	1	1	0	1	
旭川がん検診センター																										
総数	264	169	30	38	11	16	0	0	0	0	0	44	139	81	10	14	66	4	1	1	0	4	1	52	0	
～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
20～24	7	2	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	6	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
25～29	12	11	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	6	5	0	1	4	0	0	0	0	0	0	3	3	
30～34	18	12	5	1	0	0	0	0	0	0	0	2	5	11	0	2	8	1	0	0	0	0	0	7	7	
35～39	10	5	0	2	1	2	0	0	0	0	0	1	2	7	0	0	7	0	0	0	0	0	0	4	4	
40～44	44	24	2	13	1	4	0	0	0	0	0	9	15	20	1	2	18	0	0	1	0	0	0	11	11	
45～49	34	19	3	10	0	2	0	0	0	0	0	5	18	11	0	1	7	2	1	0	0	0	0	5	5	
50～54	27	17	2	5	3	0	0	0	0	0	0	9	11	7	1	2	5	1	0	0	0	0	0	6	6	
55～59	21	19	0	0	1	1	0	0	0	0	0	5	12	4	4	2	4	0	0	0	0	2	0	3	3	
60～64	22	14	5	0	2	1	0	0	0	0	0	1	17	4	2	2	4	0	0	0	0	0	0	5	5	
65～69	16	11	3	0	2	0	0	0	0	0	0	2	11	3	1	1	2	0	0	0	0	1	0	2	2	
70～74	28	23	1	3	0	1	0	0	0	0	0	7	16	5	0	1	4	0	0	0	0	0	0	3	3	
75～79	22	10	9	1	1	1	0	0	0	0	0	2	18	2	1	0	2	0	0	0	0	1	0	2	2	
80～	3	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
釧路がん検診センター																										
総数	205	173	38	14	6	3	0	4	0	0	0	13	178	4	0	5	17	6	0	0	0	0	0	0	16	
～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
20～24	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
25～29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
30～34	10	9	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	8	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
35～39	11	10	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	10	0	0	2	1	2	0	0	0	0	0	0	1	
40～44	34	27	3	3	0	0	0	1	0	0	0	1	29	0	0	2	4	2	0	0	0	0	0	0	4	
45～49	44	33	2	2	3	2	0	3	0	0	0	0	39	1	0	0	6	1	0	0	0	0	0	0	5	
50～54	19	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	18	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	
55～59	26	27	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	25	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
60～64	20	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	16	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
65～69	22	20	20	1	1	0	0	0	0	0	0	2	19	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
70～74	13	8	8	3	2	0	0	0	0	0	0	1	10	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
75～79	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
80～	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※頸部と体部の両方精検指示があったもの1名。

※精検指示と結果は他施設で実施した方がいるため一致しない。

※平成26年度より、精検者の集検時におけるベセスダ分類は計上されていない。なお、健康診査受診者の精検結果は含まれる。

4 医療機関からの受託検査

昭和45年度～平成29年度

年 度	受 託 総 数	婦 人 科	呼 吸 器	胸 水	腹 水	尿	乳 房	胃	その他	組 織
総 数										
45～24	847,262 (17,907)	683,281 (3,609)	79,520 (4,531)	5,221 (1,363)	5,769 (1,557)	29,963 (1,760)	6,922 (1,164)	136 (8)	10,005 (2,124)	23,547 (1,183)
25	7,296 (80)	6,592 (19)	117 (1)	13 (4)	10 (5)	288 (17)	144 (32)	0 (0)	10 (1)	122 (1)
26	7,090 (56)	6,390 (9)	98 (4)	21 (3)	22 (1)	300 (8)	130 (28)	0 (0)	33 (2)	96 (1)
27	6,674 (71)	5,992 (13)	97 (1)	27 (1)	16 (5)	250 (7)	197 (40)	0 (0)	32 (3)	63 (1)
28	6,674 (71)	5,613 (10)	90 (11)	32 (10)	19 (7)	212 (16)	226 (53)	1 (0)	55 (22)	61 (0)
29	5,847 (76)	5,232 (14)	83 (0)	18 (0)	19 (4)	205 (6)	217 (50)	0 (0)	21 (1)	52 (1)
計	877,580 (17,711)	713,100 (3,674)	80,005 (4,548)	5,332 (1,381)	5,855 (1,579)	31,218 (1,814)	7,836 (1,367)	137 (8)	10,156 (2,153)	23,941 (1,187)
札 幌										
45～24	443,215 (12,837)	359,366 (2,448)	36,417 (2,928)	2,357 (992)	3,126 (1,082)	10,690 (1,224)	3,111 (807)	107 (6)	5,807 (1,824)	19,336 (918)
25	1,733 (37)	1,410 (10)	27 (0)	7 (4)	6 (4)	228 (17)	4 (0)	0 (0)	10 (1)	41 (1)
26	1,329 (19)	974 (2)	38 (4)	7 (3)	13 (1)	255 (8)	0 (0)	0 (0)	27 (1)	15 (0)
27	1,188 (20)	888 (3)	22 (1)	17 (1)	9 (5)	212 (7)	3 (0)	0 (0)	29 (3)	8 (0)
28	1,008 (75)	713 (5)	24 (11)	20 (10)	14 (6)	168 (15)	14 (6)	1 (0)	54 (22)	0 (0)
29	1,001 (21)	777 (6)	8 (0)	5 (0)	15 (4)	171 (6)	7 (4)	0 (0)	18 (1)	0 (0)
計	446,576 (12,401)	364,128 (2,474)	36,536 (2,944)	2,413 (1,010)	3,183 (1,102)	11,724 (1,277)	3,139 (817)	108 (6)	5,945 (1,852)	19,400 (919)

注) () 内数字は陽性の再掲

昭和45年度～平成29年度

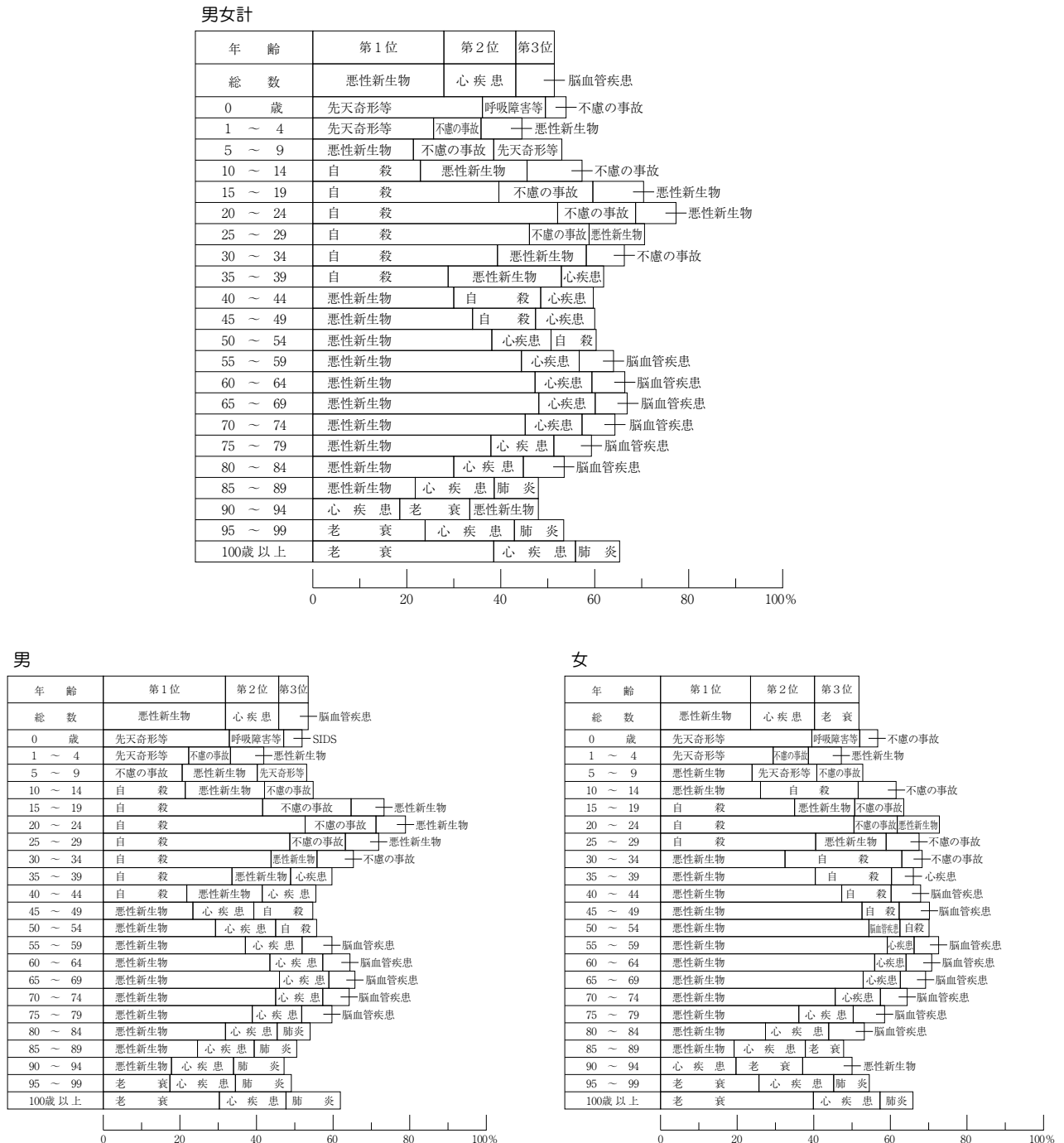
年 度	受 託 総 数	婦 人 科	呼 吸 器	胸 水	腹 水	尿	乳 房	胃	その他	組 織
旭 川										
56～24	334,382 (4,397)	261,183 (861)	40,086 (1,492)	2,729 (342)	2,406 (429)	18,143 (483)	3,668 (347)	21 (2)	3,856 (277)	2,290 (164)
25	4,502 (42)	4,179 (8)	90 (1)	6 (0)	4 (1)	60 (0)	140 (32)	0 (0)	0 (0)	23 (0)
26	4,768 (35)	4,495 (6)	60 (0)	14 (0)	5 (0)	45 (0)	130 (28)	0 (0)	6 (1)	13 (0)
27	4,565 (45)	4,220 (4)	75 (0)	10 (0)	7 (0)	38 (0)	194 (40)	0 (0)	3 (0)	18 (1)
28	4,431 (54)	4,075 (5)	66 (0)	12 (0)	5 (1)	44 (1)	212 (47)	0 (0)	1 (0)	16 (0)
29	4,053 (53)	3,698 (7)	75 (0)	13 (0)	4 (0)	34 (0)	210 (46)	0 (0)	3 (0)	16 (0)
計	356,701 (4,626)	281,850 (891)	40,452 (1,493)	2,784 (342)	2,431 (431)	18,364 (484)	4,554 (540)	21 (2)	3,869 (278)	2,376 (165)
釧 路										
60～24	69,665 (673)	62,732 (300)	3,017 (111)	135 (29)	237 (46)	1,130 (53)	143 (10)	8 (0)	342 (23)	1,921 (101)
25	1,061 (1)	1,003 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	58 (0)
26	993 (2)	921 (1)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	68 (1)
27	921 (6)	884 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	37 (0)
28	870 (0)	825 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	45 (0)
29	793 (2)	757 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	36 (1)
計	74,303 (684)	67,122 (309)	3,017 (111)	135 (29)	241 (46)	1,130 (53)	143 (10)	8 (0)	342 (23)	2,165 (103)

注) () 内数字は陽性の再掲。

【参考資料】

1 がん対策の背景

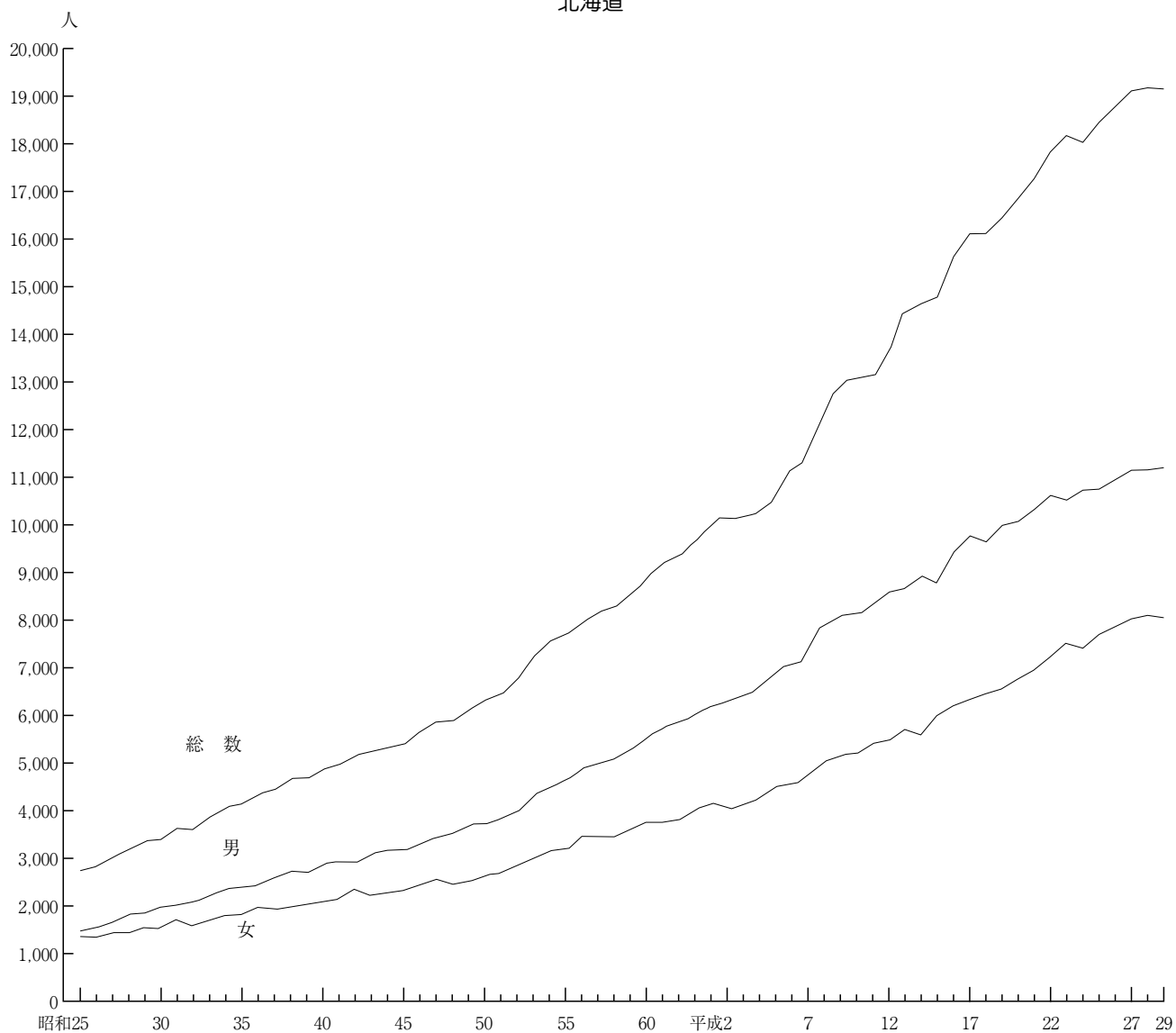
図1 性・年齢別にみた死因順位
平成28年 全国



資料：平成29年人口動態統計（確定数）上巻 死亡 第5. 17表

がんによる死亡は、全ての死因において昭和56年以降（本道においては昭和52年以降）不動の一位であり、その数・割合ともに増え続けている。40代から死因の一位となるが、女性においては子宮頸がんや乳がんなど比較的若年で発症するがんの影響を受け、30代から一位となっている。

図2 がん死亡者数の年次推移
北海道



北海道におけるがん死亡者数
平成29年

男 性	11,095
女 性	8,063
総 数	19,158

資料：「平成29年人口動態調査（確定数）下巻死亡第4表」

本道においても、全国と同様にがんによる死亡者数が増え続けている。

増加の主な原因は、高齢者の増加によるがん罹患患者数の増加があげられるが、本道のがんによる年齢調整死亡率は、3年連続全国ワースト3位以内である。がん検診の受診率がどの部位も全国平均に届いておらず、がんがある程度進行してから見つかる方がいまだに多いことも一因となっている。

表1 部位別がん死亡者数・死亡率の年次推移

北 海 道

部 位	死亡者数					死亡率(人口10万対、乳房、子宮は女子人口10万対)				
	昭 40	昭 60	平 17	平29	全国29	昭40	昭60	平17	平29	全国29
総 数	4,863	9,096	16,133	19,158	373,334	94.0	159.9	287.8	360.1	294.6
食 道	181	357	597	538	11,568	3.5	6.3	10.7	10.1	9.1
胃	1,982	2,147	2,240	2,068	45,226	38.3	37.8	40.0	38.9	35.7
大 腸	268	928	2,186	2,562	50,681	5.2	16.3	39.0	48.2	40.0
肝 臓	357	832	1,328	1,280	27,114	6.9	14.6	23.7	24.1	21.4
膵 臓	181	624	1,357	2,032	34,224	3.5	11.0	24.2	38.2	27.0
気管・気管支・肺	443	1,455	3,205	4,174	74,120	8.6	25.6	57.2	78.5	58.5
乳 房	98	247	530	710	14,285	3.8	8.5	18.0	25.2	19.3
子 宮	311	231	229	304	6,611	12.0	7.9	7.8	10.8	9.3
白 血 病	187	256	314	358	8,570	3.6	4.5	5.6	6.7	6.8
そ の 他	855	2,019	4,147	5,126	100,836	16.5	35.5	74.0	96.4	79.6

資料：死亡数は「平成29年人口動態調査（確定数）下巻死亡第4表」、人口は平成29年総務省統計局データ

図3 がん死亡者の部位別割合
平成29年 北海道

【男性】			【女性】		
順位	部位	死亡数	順位	部位	死亡数
／	がん総数	11,095	／	がん総数	8,063
1位	気管、気管支及び肺	2918	1位	気管、気管支及び肺	1,256
2位	胃	1,388	2位	大腸	1,231
3位	大腸	1,331	3位	膵臓	1,057
4位	膵臓	975	4位	乳房	710
5位	肝及び肝内胆管	793	5位	胃	680
6位	前立腺	560	6位	肝及び肝内胆管	487
7位	胆のう及び他の胆道	499	7位	胆のう及び他の胆道	442
8位	食道	443	8位	子宮	304
9位	悪性リンパ腫	379	9位	悪性リンパ腫	256
10位	膀胱	311	10位	卵巣	215
11位	口唇、口腔及び咽頭	260	11位	白血病	158
12位	白血病	200	12位	膀胱	140
／	その他	1,038	／	その他	1,639

資料：「平成29年人口動態調査（確定数）下巻死亡第4表」

全国の部位別順位は下記の通りである。

順位	1	2	3	4	5
男 性	肺	胃	大	膵	肝
女 性	肺	大	膵	乳	胃

資料：「平成27年人口動態調査（確定数）下巻死亡第4表」

本道の特徴としては、

- ・男女ともに肺がんが1位であること
- ・肺・膵臓などの難治性がんの割合が高いこと

があげられる。

詳しい原因は不明だが、男女ともに喫煙率が高いことなども影響していると考えられる。

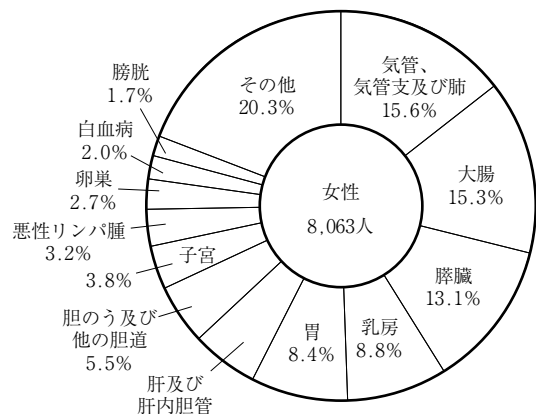
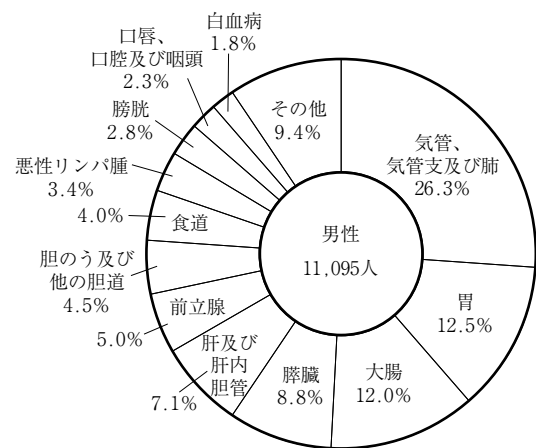
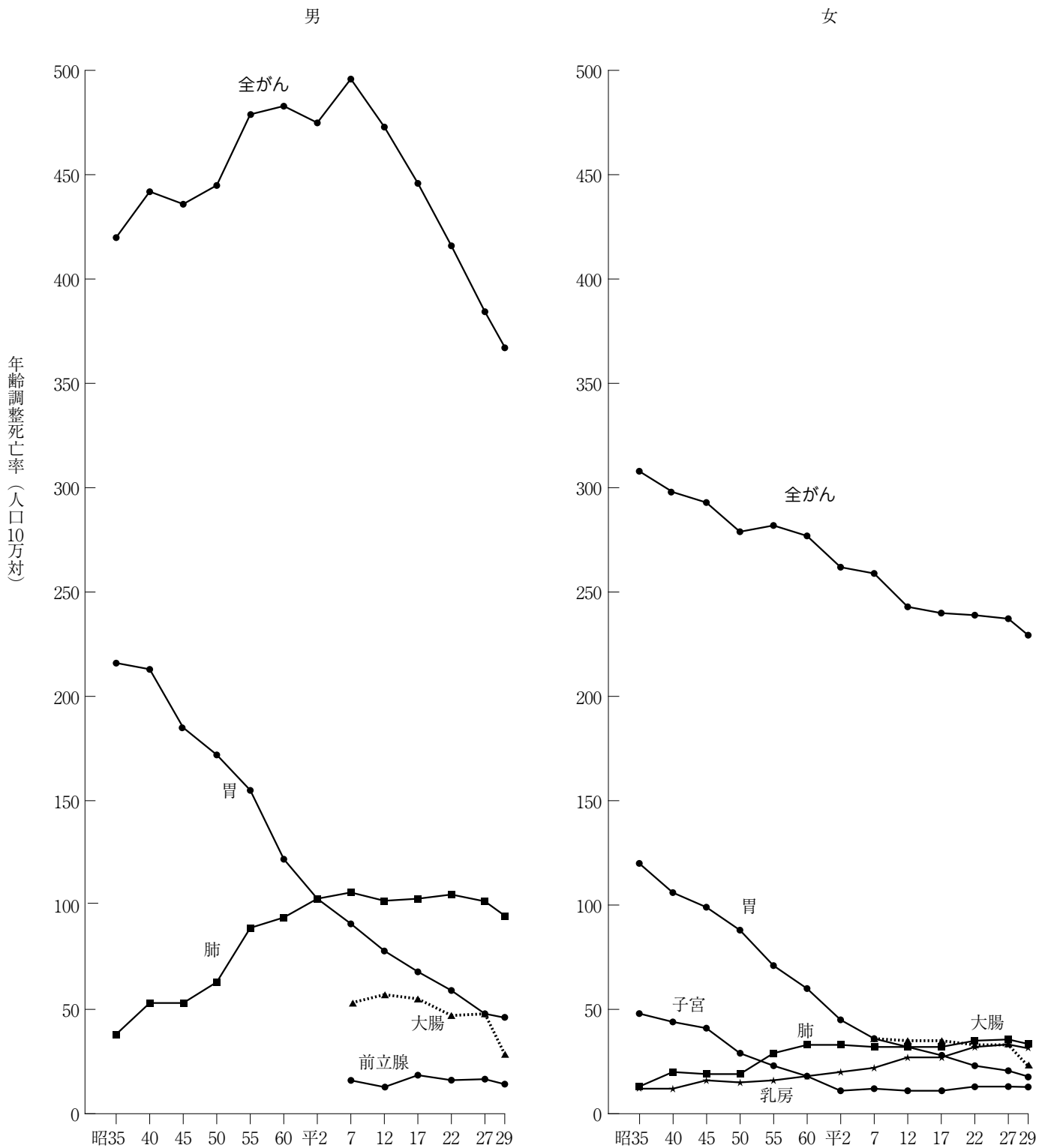
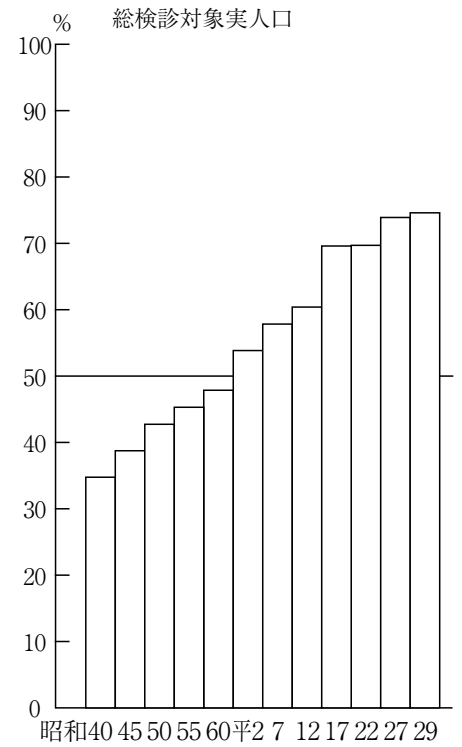
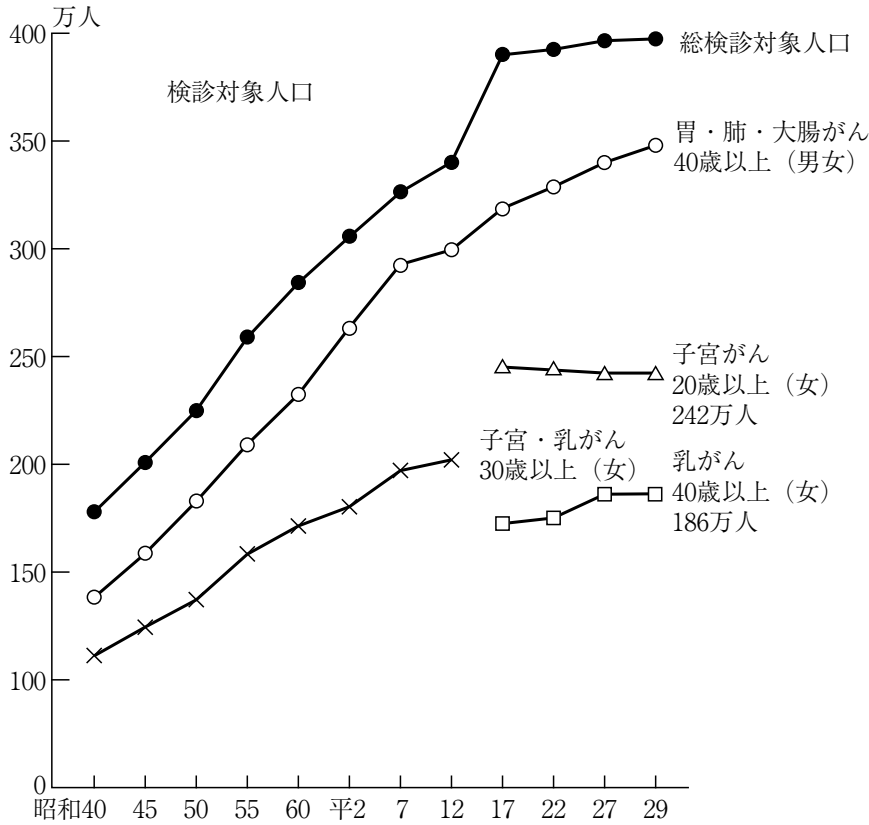


図4 がん年齢調整死亡率の年次推移
40歳以上合計 北海道

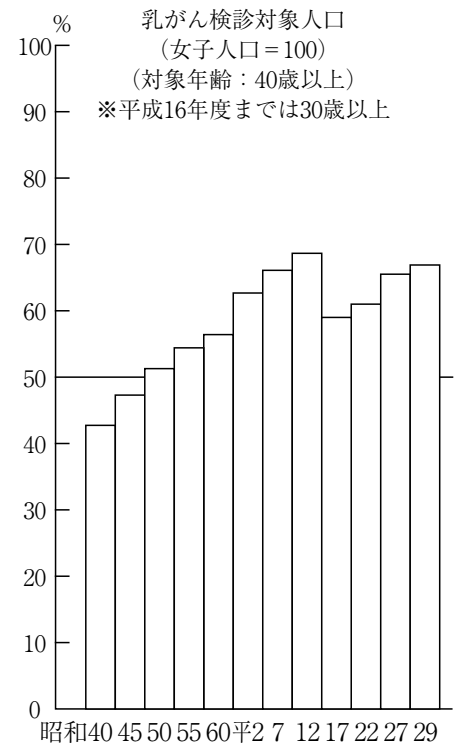
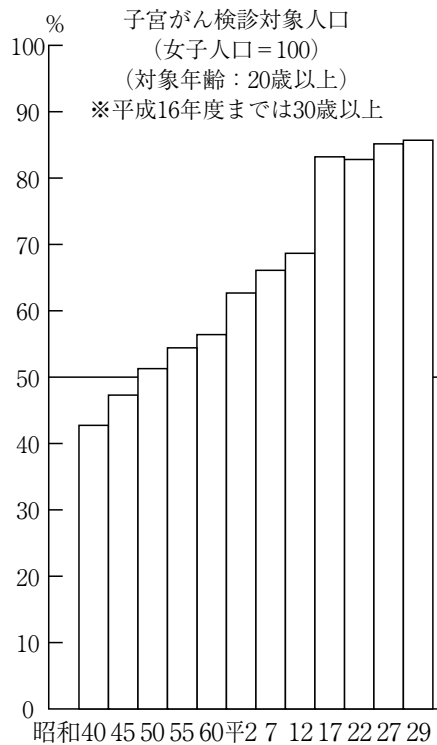
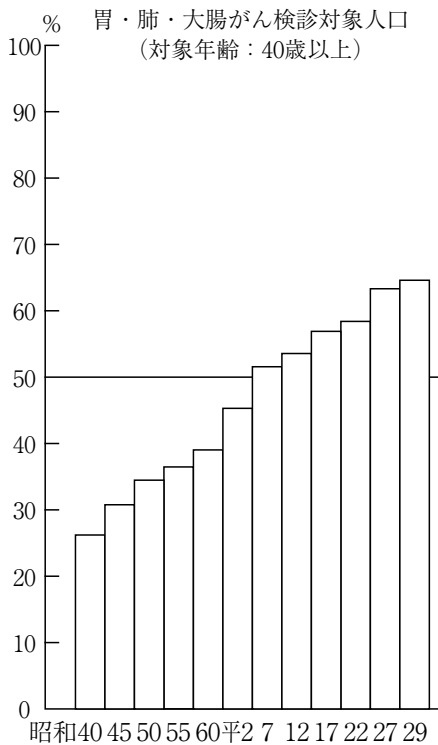


注：死亡率は、人口構成の変動による影響を取り除いて厳密な比較を行うため、昭和60年北海道・性・年齢（5歳階級）別人口を基準人口として、直接法により算出した。（人口10万対）
資料：死亡数は「人口動態統計（確定数）保管統計表 都道府県編 死亡・死因 第2表-01（北海道）」、人口は国勢調査

図5 がん検診対象年齢人口の年次推移
北海道



総人口に占める割合



資料：総務省統計局データ

２ 市町村が実施するがん検診の受託状況について

資料：平成28年度地域保健・健康増進事業報告

胃がん検診

平成28年度の対象者（北海道）は3,420,956人^{注)}で、受診数は153,661人、受診率は4.5%^{注)}であった。
このうち、当協会では124市町村において、検診車と各検診センターで97,421人に検診を実施した。
（受託実施率59.0%）

これに事業所分など9,618人を加え、総数107,161人に実施し、142名のがん（平成30年12月末現在）を発見した。（うち早期がん132名、早期がん割合68.9%）

子宮がん検診

平成28年度の対象者（北海道）は2,421,757人^{注)}である。受診者数は平成28年度158,724人、平成27年度171,073人で、2年合計で329,797人となっている。ここから2年連続受診者数18,275人を除いた311,522人が直近2年間の受診者数であり、受診率は12.9%^{注)}であった。

このうち、当協会では平成28年度は122市町村、平成27年度は121市町村において、検診車と各検診センターで112,258人に検診を実施した。（受託実施率36.0%）

これに事業所分など19,923人を加え、総数132,181人に実施し、78名のがん（平成30年12月末現在）を発見した。（うち上皮内がん47名）

乳がん検診

平成28年度の対象者（北海道）は1,866,861人^{注)}である。受診者数は平成28年度117,567人、平成27年度126,389人で、2年合計で243,956人となっている。ここから2年連続受診者数8,810人を除いた235,146人が直近2年間の受診者数であり、受診率は12.6%^{注)}であった。

このうち、当協会では平成28年度は120市町村、平成27年度は118市町村において、検診車と各検診センターで118,752人に検診を実施した。（受託実施率50.5%）

これに事業所分など22,021人を加え、総数140,773人に実施し、260名のがん（平成30年12月末現在）を発見した。（うち早期がん183名、早期がん割合70.4%）

肺がん検診

平成28年度の対象者（北海道）は3,420,908人^{注)}で、受診数は194,849人、受診率は5.7%^{注)}であった。
このうち、当協会では121市町村において、検診車と各検診センターで82,794人に検診を実施した。
（受託実施率42.5%）

これに事業所分など8,142人を加え、総数90,936人に実施し、85名のがん（平成30年12月末現在）を発見した。

また、胸部CT検査については、22市町村において、検診車と各検診センターで2,099人に検診を実施した。

これに個人受診（市町村の補助なしで全額自己負担で受診）分など2,162人を加え、総数4,261人に実施し、18名のがん（平成30年12月末現在）を発見した。

大腸がん検診

平成28年度の対象者（北海道）は3,420,908人^{注)}で、受診数は194,849人、受診率は5.7%^{注)}であった。
このうち、当協会では121市町村において、検診車と各検診センターで82,794人に検診を実施した。
（受託実施率42.5%）

これに事業所分など11,238人を加え、総数129,956人に実施し、414名のがん（平成30年12月末現在）を発見した。（うち早期がん297名、71.7%）

注）地域保健・健康増進事業報告におけるがん検診の受診率の算定対象年齢は、「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）に基づき、40歳から69歳まで（子宮がん検診は20歳から）となっているが、これは他自治体と比較する場合に使用するものであり、本道のがん検診の受診状況を把握するには不十分であるため、算定対象年齢に上限を設けず計算した。

3 北海道対がん協会

3-1 概要

法 人 名	公益財団法人北海道対がん協会
代 表 者 名	会 長 長 瀬 清
所 在 地	北海道札幌市東区北26条東14丁目 1 - 15
電 話 番 号	0 1 1 - 7 4 8 - 5 5 1 1
設 立 時 期	昭和 4 年 9 月 13 日
従 業 員 数	317名（臨時職員を含む）

職種別職員内訳

職 種	札 幌	旭 川	釧 路	計
医 師	4	3	1	8
診療放射線技師	26	11	4	41
臨床検査技師	20	10	4	34
管理栄養士	1	0	2	3
保 健 師	24	9	3	36
看 護 師	24	20	10	54
事 務 員	58	13	24	113
運 転 技 術 員	17	9	2	28
計	174	93	50	317

3-2 目的及び事業

公益財団法人北海道対がん協会は、がんの予防、治療及び研究に関し必要な事業を行い、もって公衆衛生の向上と地域社会の健全な発展を実現し、道民の健康の保持増進に寄与することを目的としています。

このほか、生活習慣病の予防、治療及び研究に関し必要な事業を行なうことができます。

上記の目的を達成するため、次の事業を行います。

- (1) がん及び生活習慣病の予防及び治療に関する知識の普及啓発
- (2) がん及び生活習慣病の予防及び治療に関する相談及び指導
- (3) がん検診及び生活習慣病検診の実施及び推進
- (4) がん及び生活習慣病の予防及び治療に関する調査・研究
- (5) がん及び生活習慣病の予防、治療及び研究を行なう機関の設置
- (6) がん及び生活習慣病の予防を推進する団体との連携及び支援
- (7) 本協会の目的を達成するため必要な事業

3-3 検診センター及び細胞診センターの機能

がん検診センター

1 がん征圧運動の実施

- (1) 日本対がん協会の北海道支部として、毎年9月のがん征圧月間にがん征圧運動を実施
- (2) がん患者支援チャリティウォーク「リレー・フォー・ライフ」への参加・協力
- (3) 国際対がん連合（UICC）運動に参加

2 がんに関する知識の普及

- (1) 地域住民を対象とした講演・研修会、及びがん予防学級の企画・実施
- (2) 普及啓発資料の作成・配布、及び教育教材の貸し出し
- (3) 北海道・市町村と連携した普及啓発事業の実施
- (4) 企業、地区組織、患者団体・ボランティア団体等と連携した普及啓発事業の実施
- (5) がん征圧運動推進のための賛助会員の募集と賛助会員への情報提供

3 検診車による巡回検診の企画実施

検診車派遣の計画・実施

検診項目（胃がん、子宮がん、乳がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、健康診査、その他の検査）

4 検診センターにおける施設検診の企画実施

- (1) 施設検診の計画実施

検診項目（胃がん、子宮がん、乳がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、健康診査、人間ドック、その他の検査）

- (2) 精密検査の実施

5 検診の事後管理（読影・判定・結果通知）

- (1) 胃がん検診フィルムの読影（専門読影委員22名により実施）
- (2) 肺がん検診フィルムの読影（専門読影委員29名により実施）
- (3) 乳がん検診フィルム（SMG）の読影（専門読影委員27名により実施）
- (4) 検診結果の通知と要精密検査者への受診勧奨
- (5) 一次検診及び精密検査結果の集計・分析
- (6) 発見がん患者の管理

6 精度管理に向けた専門職の研鑽（細胞診センター分は次項）

- (1) 読影医師、精検医師の技術研修
- (2) 診療放射線技師の技術研修
- (3) 保健師・看護師のがんに関する専門的技術研修

細胞診センター

1 子宮がん細胞診の実施

- (1) 巡回検診における子宮がん検診細胞診
- (2) 検診センターにおける子宮がん検診細胞診
- (3) 日本母性保護医協会、その他受託子宮がん検診の細胞診
- (4) 細胞診標本の保管、管理

2 組織診の実施

- (1) 胃がん組織診
- (2) 子宮がん組織診
- (3) 乳がん組織診
- (4) 大腸がん組織診
- (5) 受託組織診

3 喀痰細胞診の実施

- (1) 巡回検診における喀痰細胞診
- (2) 検診センターにおける喀痰細胞診
- (3) 受託喀痰細胞診

4 その他諸検査の実施

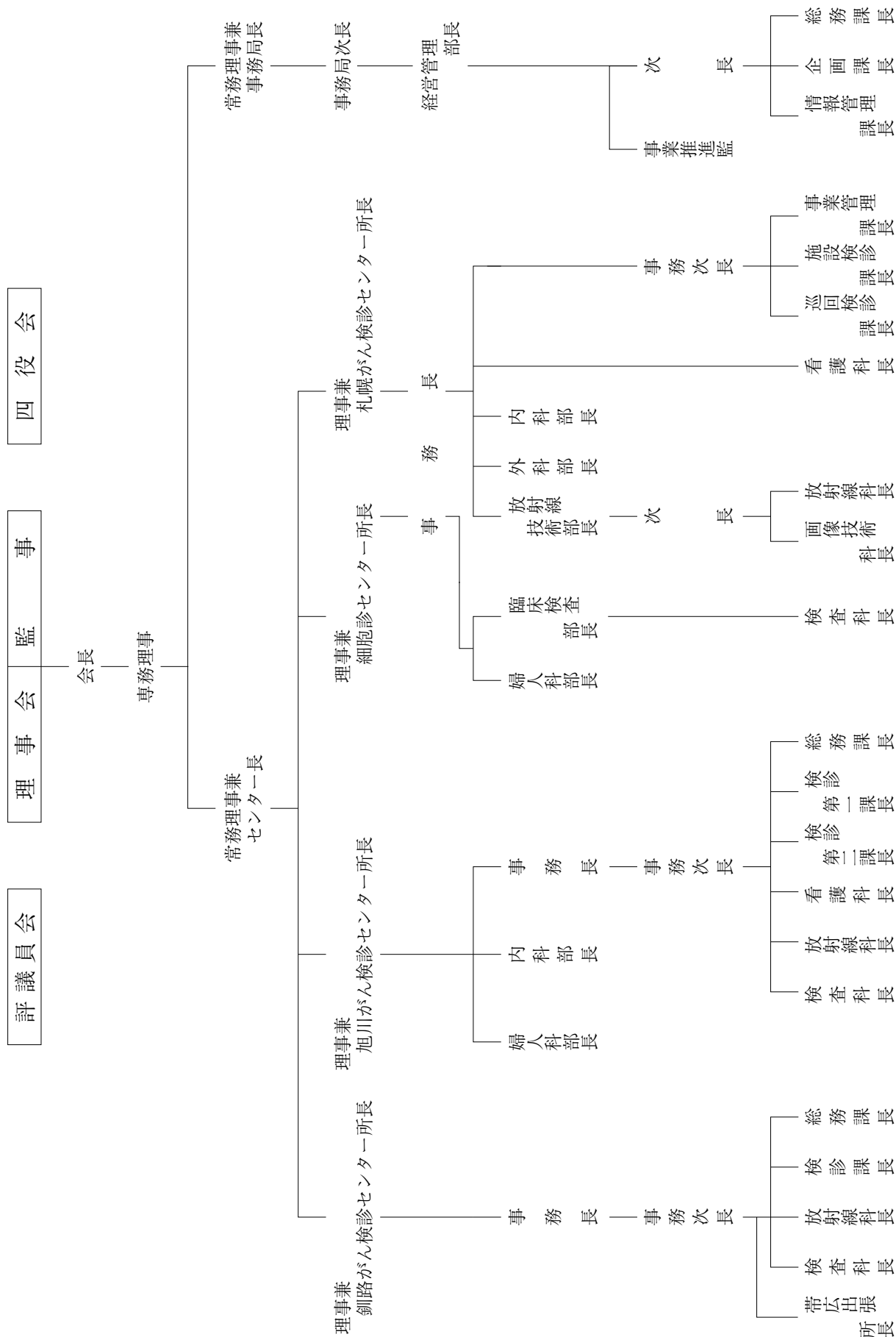
- (1) その他の受託細胞診
- (2) 超音波検査
- (3) 免疫学的便潜血反応検査
- (4) 尿検査
- (5) 心電図検査
- (6) 眼底検査
- (7) 聴力検査
- (8) 視力検査
- (9) その他の諸検査

5 細胞検査士の養成研修の実施

6 がん集団検診従事技術者の研修の実施

3-4 公益財団法人 北海道対がん協会 機構図

平成31年4月1日現在



3-5 役員等名簿

平成30年8月8日現在

名誉会長	菊地浩吉	北海道対がん協会前会長・札幌医科大学名誉教授
会長 (代表理事)	長瀬清	北海道対がん協会会長・北海道医師会会長
副会長	石子彭培	北海道国民健康保険団体連合会理事長
〃	小熊豊	北海道医師会副会長・全国自治体病院協議会会長
〃	佐藤昇志	札幌医科大学名誉教授
〃	平田哲	旭川医科大学理事・副学長
専務理事 (業務執行理事)	白川賢一	北海道対がん協会専務理事
常務理事	小田寿	北海道対がん協会事務局長
理事	秋田弘俊	北海道大学大学院医学研究院腫瘍内科学教室教授
〃	磯部宏	K K R 札幌医療センター病院長
〃	加藤淳二	札幌医科大学腫瘍・血液内科学講座教授
〃	加藤秀則	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター院長
〃	坂本直哉	北海道大学大学院医学研究院消化器内科学教室教授
〃	平田公一	J R 札幌病院顧問・札幌医科大学名誉教授
〃	矢上尚寿	北海道対がん協会前専務理事
〃	横山進	北海道労働保健管理協会会長
〃	渡利英道	北海道大学大学院医学研究院産婦人科学教室教授
〃	河原崎暢	北海道対がん協会札幌がん検診センター所長
〃	藤田博正	北海道対がん協会細胞診センター所長
〃	菅野普子	北海道対がん協会旭川がん検診センター所長
〃	松浦邦彦	北海道対がん協会釧路がん検診センター所長
監事	秋山孝二	公益財団法人 秋山記念生命科学振興財団理事長
〃	西田孝雄	西田孝雄税理士事務所税理士

評 議 員	大 場 久 夫	全国健康保険協会 北海道支部支部長
〃	岸 不 盡 彌	東日本学園 北海道医療大学理事
〃	齋 藤 ヨ シ 子	北海道健康をまもる地域団体連合会会長
〃	竹 内 伸 仁	北海道薬剤師会会長
〃	柴 田 達 夫	北海道町村会常務理事
〃	傳 法 公 磨	藤女子大学名誉教授
〃	三 宅 浩 次	札幌医科大学名誉教授
参 与	築 島 恵 理	北海道保健福祉部健康安全局地域保健課がん対策等担当課長
〃	小 田 原 史 佳	札幌市保健福祉局保健所健康企画担当部長
〃	鈴 木 直 己	旭川市保健所長
〃	柏 木 恭 美	釧路市こども保健部長

3-6 公益財団法人北海道対がん協会の沿革概要

昭	和	4	年	癌の原因、早期診断及び治療の研究を行うと同時に最善の治療を実施し、且つ公衆に癌の知識を普及するため、昭和4年9月13日財団法人北海道対癌協会を創立する。事務所は北海道帝国大学比較病理学教室に置く。
昭	和	21	年	がん以外の循環器系疾患の予防事業を加え名称を改め財団法人北海道保生協会とする。
昭	和	34	年	日本対ガン協会の設立（昭和33年）との関連およびがん死亡数の急激な増加に対処し「がん」対策の飛躍的推進を図るため、設立当初の本旨にもどり財団法人北海道対がん協会に名称を復元するとともに事務所を北海道衛生部に移す。
昭	和	37	年	日本対ガン協会北海道支部を兼ねる。
昭	和	38	年	日本対ガン協会より胃検診車の配置を受け胃集団検診を開始する。同時に専任職員を置き事務所を独立する。
昭	和	41	年	子宮がん検診車による婦人科検診を開始する。
昭	和	44	年	北海道全域におよぶ対がん活動の拠点として検診センターを建設する。同時に施設及び人員を充実し検診事業を拡大強化する。
昭	和	46	年	日本対ガン協会と本協会の主催でがん征圧全国大会を札幌市民会館で開催する。
昭	和	48	年	集団検診数の増加にともない検診センターを増改築し機能の強化をはかる。 乳房検診用X線装置を整備し乳房検診事業を開始する。
昭	和	51	年	肺がん検診用X線撮影装置を整備し主としてハイリスクグループを対象に肺がん検診を開始する。
昭	和	52	年	消化管検診用X線撮影装置を新設し腸管検診を開始する。
昭	和	53	年	「広域積雪寒冷の悪条件下におけるがん対策に創意工夫をこらし、みるべき成果を挙げた」として保健文化賞及び厚生大臣表彰を受賞する。 乳がん検診車「すずらん号」を整備し活動を開始する。

昭	和	54	年	「がんの予防及び治療の普及啓発に努力を重ね、本道の発展に偉大な業績を挙げた」として北海道開発功労賞を受賞する。 本会創立50周年記念式典及び記念行事を実施する。
昭	和	56	年	道北・道東北の拠点となる旭川がん検診センターが業務を開始する。 旭川市において東日本ガン対策連絡協議会を開催する。
昭	和	57	年	検診センター内に細胞診センターを併設する。
昭	和	58	年	札幌市と対がん協会とのがん対策連絡会が発足する。
昭	和	59	年	胃がん検診数の増加にともないデータ処理の迅速正確性をはかるためコンピュータを導入する。
昭	和	60	年	道東南の拠点となる釧路がん検診センターが業務を開始する。
昭	和	61	年	わが国で、最初の対癌協会として昭和4年創立以来、半世紀にわたる歴史を刻んだ「北海道対がん協会50年史」を発行する。 検診車による肺がん集団検診を開始する。
昭	和	62	年	大腸がん検診を開始する。
平	成	元	年	本会創立60周年記念式典及び記念行事を実施する。
平	成	2	年	釧路がん検診センター5周年記念行事を実施する。 がん征圧全国大会が北海道厚生年金会館で開催され、全国から3,000余名が参加する。
平	成	3	年	旭川がん検診センター10周年記念行事を実施する。 北海道の委託を受けてがん登録評価事業を開始する。
平	成	4	年	旭川がん検診センター待合室、婦人科診療室などの増改築をする。 がん予防学級開講20周年を記念し講演会を開催する。
平	成	5	年	昭和38年11月に検診車による胃がん検診を開始して30年「しらかば記念号」を発行する。
平	成	6	年	「がん電話相談」を開設して10年。相談件数は延べ4,964人に達した。
平	成	7	年	釧路がん検診センター10周年記念行事を実施する。

平	成	8	年	「集団検診などによるがん早期発見・治療への成果と予防知識の普及」活動に対し、道新文化賞第50回記念賞を受賞する。
平	成	10	年	札幌がん検診センターを東区に移転新築し、業務を開始する。
平	成	11	年	本会創立70周年記念式典及び記念行事を実施する。
平	成	13	年	旭川がん検診センター20周年記念行事を実施する。
平	成	19	年	道内初のヘリカルCT肺がん検診車を導入する。 個人情報保護法の施行に伴い施設プライバシーマークを取得する。
平	成	21	年	本会創立80周年を迎え、第42回がん予防道民大会を80周年記念大会として音更町で開催。 沿革と事業をまとめた創立80周年記念誌を発刊した。
平	成	23	年	旭川がん検診センター30周年記念行事及びがん予防学級開校30周年記念講演会を実施する。 道内初の最新式フラットパネルデジタルマンモグラフィ車を導入する。
平	成	24	年	公益法人制度改革に基づく公益財団法人として北海道知事から認定を受け、名称を「公益財団法人北海道対がん協会」へと変更する。
平	成	25	年	9月13日、さっぽろ芸術文化の館（ニトリ文化ホール）にて「2013年度がん征圧全国大会」を開催し、大会史上最多の約2,000名の参加を得て、盛会裡に終了した。
平	成	27	年	釧路がん検診センター30周年記念行事を実施する。 創立30周年記念誌「30年のあゆみ」を発刊した。 2月9日、北海道が中心となり、道内企業をはじめ各種団体や道民の皆様などからの募金や寄付を財源とした「北海道がん対策基金」を設立。 当協会が事務局を担う。
平	成	29	年	札幌がん検診センターで駐車場用敷地を購入し、50台から80台に拡張する。

4 個人情報保護方針

これからの情報社会において、個人情報の保護は非常に重要な課題です。北海道対がん協会は、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考え、個人情報保護に関する方針を以下の通り定め、役員、職員及び関係スタッフに周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

1. 個人情報の取得・利用・提供

検（健）診の内容と規模を考慮して、個人情報を保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の取得、利用及び提供に関する内部規程を定め、これを遵守します。

2. 個人情報の安全対策と教育

当会は、個人情報の重要性について、職員に対する教育啓発活動を実施するほか、個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏洩などに関する万全の予防措置を講ずることにより、個人情報の安全・正確性の確保を図り、万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。

3. 個人情報に関する法令・規範の遵守

個人情報に関する日本の法令及びその他の規範を遵守します。

4. 継続的改善

当会は、以上の活動を実施するに当たり、個人情報保護を適切に維持するための規程を策定・運用し、運用状況について監査し、これを継続的に見直し改善してゆきます。

5. 個人情報に関するお問い合わせ

個人情報に関するお問い合わせは、下記の相談窓口にてお受けいたします。

公益財団法人 北海道対がん協会

個人情報保護相談窓口（総務課長）

電話011-748-5511（平日午前9時～午後5時）

E-mail office@hokkaido-taigan.jp

平成29年4月1日 制定

公益財団法人 北海道対がん協会

会 長 長 瀬 清

5 検診センターにおける各種検診日

札幌がん検診センター

(第2・第4・第5土曜日休診)(日・祝日休み)

	が ん 検 診					その他の検診
	胃	子 宮	乳	肺	大 腸	
検診日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	・ 胸部CT検査 ・ 前立腺がん検診 ・ 各がん検診の精密検査※ ・ 特定健康診査 ・ 定期健康診断 ・ 人間ドック ・ 生活習慣病予防健診 ・ 骨密度測定 ・ 内臓脂肪CT検査 ・ 腹部超音波検査
受 付 時 間	月 ～ 土 8:30 ～ 11:00	月 ～ 土 8:30 ～ 11:00	月 ～ 土 8:30 ～ 11:00	月 ～ 土 8:30 ～ 11:00	月 ～ 土 8:30 ～ 11:00	
	月 ～ 金 13:00 ～ 15:00	月 ～ 金 13:00 ～ 14:00	月 ～ 金 13:00 ～ 14:00	月 ～ 金 13:00 ～ 15:00	月 ～ 金 13:00 ～ 15:00	

札幌がん検診センター 〒065-0026
札幌市東区北26条東14丁目1番15号
電話(予約)(011) 748-5522

旭川がん検診センター

(第2・第4・第5土曜日休診)(日・祝日休み)

	が ん 検 診					その他の検診
	胃	子 宮	乳	肺	大 腸	
検診日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	・ 胸部肺CT検査 ・ 前立腺がん検診 ・ 各がん検診の精密検査※ ・ 特定健康診査 ・ 定期健康診断 ・ 人間ドック ・ 生活習慣病予防健診 ・ 骨密度測定
受 付 時 間	8:30 ～ 11:00	月 ～ 土 8:30 ～ 11:00	月 ～ 土 8:30 ～ 11:00	月 ～ 土 8:30 ～ 11:00	月 ～ 土 8:30 ～ 11:00	
		月 ～ 金 13:00 ～ 14:00	月 ～ 金 13:00 ～ 14:00	月 ～ 金 13:00 ～ 15:00	月 ～ 金 13:00 ～ 15:00	

旭川がん検診センター 〒071-8122
旭川市末広東2条6丁目6番10号
電話(代)(0166) 53-7111
予約専用フリーダイヤル 0120-972-489

釧路がん検診センター

(第2・第4・第5土曜日休診)(日・祝日休み)

	が ん 検 診					その他の検診
	胃	子 宮	乳	肺	大 腸	
検診日	毎 日	月・水・木	月 ～ 木	毎 日	毎 日	・ 前立腺がん検診 ・ 各がん検診の精密検査※ ・ 特定健康診査 ・ 定期健康診断 ・ 人間ドック ・ 生活習慣病予防健診 ・ 骨密度測定
受 付 時 間	9:00 ～ 11:00	月 9:00 ～ 10:00	9:00 ～ 13:00	月 ～ 土 9:00 ～ 11:00	月 ～ 金 9:00 ～ 16:00	
		水・木 9:00 ～ 13:00		月 ～ 金 13:00 ～ 15:00	土 9:00 ～ 11:00	

釧路がん検診センター 〒085-0058
釧路市愛国東2丁目3番1号
電話(代)(0154) 37-3370

※受診の際は、ご希望の日時と科目を、お電話でご予約下さい。

※各がん検診の精密検査はセンターによって実施している科目が異なります。詳細はお問い合わせください。

6 北海道がん対策基金のご案内



北海道がん対策基金への 募金をお願いします！

～がんに負けない社会の実現を目指して～



「がん」は、本道においても死因の第1位を占め、道民の生命や健康への脅威であり、がんの克服は多くの道民の願いでもあります。

北海道では、「がんになっても安心して暮らせる社会づくり」を目標に、全ての道民が一体となってがん患者やその家族の方々を社会全体で支える仕組みとして、平成27年2月、北海道が中心となり、道内企業をはじめ各種団体や道民の皆様などからの募金や寄付を財源とした基金を設立いたしました。

今後、本基金をもとに、皆様とともに「がんに負けない社会」の実現を目指して様々な取組みを進めてまいりますので、継続的なご支援・ご協力をお願い申し上げます。

募金の方法 ※この募金は法人税、所得税、個人住民税の優遇措置があります。

- 口座への振り込みによる募金
- 協賛商品の購入による募金
- イベント会場での募金
- 直接寄付・募金

振込口座 次の銀行口座で受け付けております。

北洋銀行 札幌南支店
(口座番号)普通 4591650
(口座名)北海道がん対策基金

北海道銀行 札幌駅前支店
(口座番号)普通1877125
(口座名)北海道がん対策基金

ゆうちょ銀行
(口座番号)02740-9-102016
(口座名)北海道がん対策基金

※北洋銀行、北海道銀行については、本・支店に備え付けの振込用紙により窓口で振り込んだ場合及び現金自動預け払い機(ATM)で振り込んだ場合、振込手数料が無料となります。

クレジットカード募金 当協会ホームページからご利用いただけます。<http://hokkaido-taigan.jp/kikin07/>

基金のしくみ



♥ 北海道がん対策基金に寄せられた善意は、こんな事業に役立てられます

◎がん患者・家族への支援

患者やご家族の方々の身体的、経済的な負担を軽減するための療養生活や就労の相談のほか、ピアサポーターの派遣等に活用

※ピアサポーターとは…がん患者や家族を仲間（ピア）として支援するがん患者



◎小児がん患者・がん教育への支援

小児がんの子供への学習支援や家族との交流、幼少期からのがんの知識を深めるためのがん専門医を学校に派遣するがん教育等に活用



◎情報提供・普及啓発

がんの知識や理解を深めるための様々なイベントの開催や啓発素材の作成、地域の療養施設の情報提供等に活用



◎がん検診の受診促進、予防対策

がんになるリスクを減らすため、日頃の生活習慣の改善やがん検診受診の必要性を理解していただくためのイベントの開催や広報活動等に活用

募金状況（H27.2月～H30.9月末）

区 分	金 額
個 人	4,355,192 円
企 業 ・ 団 体 等	9,683,518 円
自 販 機	5,143,061 円
常 設 募 金 箱	491,375 円
臨 時 募 金 箱	298,534 円
計	19,971,680 円

基金支援自販機設置状況（H30.9月末）

キリン

	設置月日	設置場所	住所
1	H27.2.10	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター	札幌市白石区
2	H27.2.10	公益財団法人 北海道対がん協会	札幌市東区
3	H27.2.10	一般社団法人 北海道医師会	札幌市中央区
4	H27.4.3	勤医協西区ひだまりクリニック	札幌市西区
5	H27.5.1	次世代ゴルフフィットネス AQUA札幌	札幌市中央区
6	H27.5.1	日本データサービス株式会社	札幌市東区
7	H27.5.28	モロオANEX北1F	札幌市中央区
8	H27.5.29	山崎製パン株式会社 札幌工場	恵庭市
9	H27.5.29	ノルデン薬局北栄店	札幌市東区
10	H27.6.1	株式会社モロオ 滝川	滝川市
11	H27.6.1	株式会社モロオ 函館	函館市
12	H27.6.1	株式会社モロオ 札幌業務推進センター	札幌市中央区
13	H27.6.1	株式会社モロオ ANNEX 5F	札幌市中央区
14	H27.6.1	株式会社モロオ 小樽	小樽市
15	H27.6.1	株式会社モロオ コールセンター	札幌市中央区
16	H27.6.1	株式会社モロオ 札幌東・豊平	札幌市清田区
17	H27.6.1	株式会社モロオ 苫小牧	苫小牧市
18	H27.6.1	株式会社モロオ 室蘭	室蘭市
19	H27.6.1	株式会社モロオ 岩見沢	岩見沢市
20	H27.6.1	株式会社モロオ 大谷地物流	札幌市白石区
21	H27.6.1	株式会社モロオ 発寒物流2F	札幌市西区
22	H27.6.1	株式会社モロオ 発寒物流3F	札幌市西区
23	H27.6.1	株式会社モロオ 旭川	旭川市
24	H27.6.1	株式会社モロオ 釧路	釧路市
25	H27.6.1	株式会社モロオ 北見	北見市
26	H27.6.1	株式会社モロオ 帯広	帯広市
27	H27.7.22	竹山札幌業務センター	札幌市白石区
28	H27.7.31	徳州会 札幌病院	札幌市厚別区
29	H27.8.24	日鋼記念病院	室蘭市
30	H27.8.29	室蘭保健センター	室蘭市
31	H27.8.28	株式会社ほくやく	札幌市中央区
32	H27.8.31	株式会社 マルベリー	札幌市豊平区
33	H27.9.15	太平洋セメント株式会社 上磯工場	北斗市
34	H27.9.30	株式会社マルベリー さわやかセンター札幌	札幌市東区
35	H27.10.5	社会医療法人 北榆会 札幌北榆病院	札幌市白石区
36	H27.11.25	南タック・コーポレーション(美園7・4メディカル)	札幌市豊平区
37	H27.11.26	株式会社ムトウ	札幌市北区
38	H27.11.27	株式会社パルス室蘭店	室蘭市
39	H28.1.7	一般社団法人 北海道歯科医師会	札幌市中央区
40	H28.1.7	公益財団法人 北海道対がん協会 1F	札幌市手稲区
41	H28.2.8	北海道庁本庁舎13F	札幌市中央区
42	H28.2.25	手稲溪仁会病院	札幌市手稲区
43	H28.2.29	株式会社竹山 石狩商品管理センター	石狩市
44	H28.2.29	㈱マルベリー さわやかセンター帯広	帯広市
45	H28.4.12	株式会社北谷組 滝川江部乙事務所	滝川市
46	H28.5.31	旭川がん検診センター	旭川市
47	H28.5.26	釧路がん検診センター	釧路市
48	H28.5.31	株式会社ほくやく新川物流センター	札幌市北区
49	H28.6.3	深川保健所	深川市
50	H28.6.2	名寄保健所	名寄市
51	H28.6.1	富良野保健所	富良野市
52	H28.6.3	北見保健所	北見市
53	H28.6.2	静内保健所	新ひだか町
54	H28.6.6	根室保健所	根室市
55	H28.6.7	中標津保健所	中標津町
56	H28.6.2	江別保健所	江別市
57	H28.6.2	苫小牧保健所	苫小牧市
58	H28.6.9	八雲保健所	八雲町
59	H28.6.8	滝川保健所	滝川市
60	H28.9.5	紋別保健所	紋別市
61	H28.12.1	北海道キリンビバレッジ棟2F	札幌市
62	H29.4.20	室蘭リノート開発株式会社(室蘭市役所)	室蘭市
63	H29.4.28	トランスコスモス株式会社1F	札幌市
64	H29.5.1	エームサービス株式会社(北海道医療大学歯学部棟1F)	札幌市
65	H29.6.7	株式会社北谷組 深川一己工事現場	深川市
66	H29.6.9	トランスコスモス株式会社6F	札幌市
67	H29.6.27	フタキューセイモア㈱北海道支店(岩内協会病院)	岩内町
68	H29.7.7	医療法人五月会 小笠原クリニック札幌病院	札幌市
69	H28.8.28	室蘭リノート開発株式会社(市立室蘭総合病院)	札幌市
70	H29.9.20	苫小牧身体障がい者福祉協会(苫小牧市役所)	苫小牧市
71	H29.10.21	社会医療法人 製鉄記念室蘭病院	室蘭市
72	H30.2.21	トランスコスモス株式会社4F	札幌市
73	H30.3.1	株式会社NTT東日本サービス 函館116センタ	函館市
74		小樽医師会	小樽市
小 計			74台

サントリー

	設置月日	設置場所	住所
72	H27.6.18	社会医療法人北榆会 札幌北榆会病院 1F	札幌市白石区
73	H27.6.18	社会医療法人北榆会 札幌北榆会病院 1F	札幌市白石区
74	H27.10.27	社会医療法人北榆会 札幌北榆会病院 東棟3F	札幌市白石区
75	H27.10.27	社会医療法人北榆会 札幌北榆会病院 東棟3F	札幌市白石区
76	H28.3.26	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター	札幌市白石区
77	H28.6.19	株式会社ほくやく	札幌市中央区
78	H28.6.19	株式会社竹山業務センター	札幌市中央区

79	H28.10.1	洞爺湖温泉病院	洞爺湖町
80	H28.10.1	洞爺湖温泉病院	洞爺湖町
81	H29.4.1	KKR札幌医療センター(3F事務所)	札幌市
82	H29.4.1	KKR札幌医療センター(2FVDコーナー)	札幌市
83	H29.4.1	KKR札幌医療センター(新管理センターB1F)	札幌市
84	H29.4.1	KKR札幌医療センター(新管理センター2F)	札幌市
85	H29.4.1	KKR札幌医療センター(81検査所)	札幌市
86	H29.4.1	KKR札幌医療センター(大塚機)	札幌市
87	H29.4.1	KKR札幌医療センター(ブリック)	札幌市
88	H29.7.1	介護老人保健施設 ガーデンハウスくりやま	栗山町
89	H29.7.1	特別養護老人ホームアビターレアネックス	札幌市
90	H29.7.1	医療福祉法人愛全会 愛全病院(地下)	札幌市
91	H29.7.1	医療福祉法人愛全会 愛全病院(1F)	札幌市
92	H29.7.1	医療福祉法人愛全会 愛全病院(2F)	札幌市
93	H29.7.1	医療福祉法人愛全会 愛全病院(4F)	札幌市
94	H29.7.1	介護老人保健施設リラコート愛全	札幌市
95	H29.7.1	高齢者総合福祉施設サン グレイス	札幌市
96	H29.7.1	介護老人ホーム 静山荘	札幌市
97	H29.7.1	介護老人保健施設アートヒルズ	札幌市
98	H29.7.1	ケアハウス ローザガーデン	札幌市
99	H29.7.1	高齢者総合福祉施設アビターレ	札幌市
100	H29.12.1	医療福祉法人愛全会 愛全病院(1F売店前)	札幌市
	H29.7.1	竹中工務店(工事現場)	札幌市
小 計			30台

コカ・コーラ

	設置月日	設置場所	住所
101	H28.4.25	大川原脳神経外科病院	室蘭市
102	H28.4.25	東陽上村アドバンス株式会社社長沼工場	長沼町
103	H30.6.12	東陽上村アドバンス株式会社 本社	札幌市
104	H30.6.12	東陽上村アドバンス株式会社 江別工場FV	江別市
105	H28.5.1	株式会社ほくやく竹山ホールディングス本社	札幌市
106	H28.5.1	株式会社ほくやく北32条SPD	札幌市
107	H28.5.1	株式会社ほくやく札幌西センター	札幌市
108	H28.5.1	竹山札幌業務センター	札幌市
109	H28.6.16	札幌医科大学付属病院外来棟1階	札幌市
110	H28.7.1	帯広協会病院	帯広市
111	H28.7.29	北海道歯科医師会4階	札幌市
112	H28.8.4	社会医療法人札幌清田病院1階	札幌市
113	H28.10.19	株式会社保健科学研究所	札幌市
114	H29.4.3	株式会社HBA	札幌市
115	H29.5.31	トヨタ部品北海道共販	札幌市
116	H29.6.29	愛全病院B1ラブリック	札幌市
117	H29.6.29	愛全病院地下	札幌市
118	H29.6.29	愛全病院渡り廊下	札幌市
119	H29.6.29	愛全病院1F	札幌市
120	H29.6.29	愛全病院3F	札幌市
121	H29.6.29	アビターレ	札幌市
122	H29.6.29	静山荘	札幌市
123	H29.6.29	アートヒルズ	札幌市
124	H29.6.29	ローザガーデン	札幌市
125	H29.6.29	アン・ベルアミー	札幌市
126	H29.6.29	サン・グレイス	札幌市
127	H29.6.29	高齢者総合福祉施設アビターレ アネックス	札幌市
128	H29.7.1	愛全病院1階	札幌市
129	H29.8.8	東陽上村アドバンス従業員休憩所	札幌市
130	H29.9.25	ほくやくビル	札幌市
131	H29.11.1	医療法人影和会北海道消化器科病院	札幌市
132	H29.12.1	アフラック札幌総合支社	札幌市
133	H30.9.18	室蘭太平洋病院	室蘭市
小 計			33台

ジャパンビバレッジ

	設置月日	設置場所	住所
116	H28.4.1	市立函館病院	函館市
117	H28.5.1	株式会社ほくやく本社	札幌市
118	H28.5.1	株式会社ほくやくカストマセンター	札幌市
119	H28.5.1	株式会社竹山	札幌市
小 計			4台

ネオス

	設置月日	設置場所	住所
120	H28.11.22	公益財団法人 北海道対がん協会 4F	札幌市東区
121	H28.11.22	公益財団法人 北海道対がん協会 1F	札幌市東区
小 計			2台

PSビバレッジ

	設置月日	設置場所	住所
122	H29.1.1	東陽上村アドバンス㈱江別工場	1台

佛大沼

	設置月日	設置場所	住所
123	H29.1.1	㈱ほくやく 本社ビル	札幌市
124	H29.1.1	㈱ほくやく 北32条 SPDセンター	札幌市
125	H29.1.1	㈱ほくやく 桑園ビル3階	札幌市
126	H29.1.1	㈱ほくやく 桑園ビル4階	札幌市
127	H29.1.1	㈱竹山 札幌業務センター	札幌市
小 計			5台

合 計			149台
-----	--	--	------

常設募金箱設置状況（H30.9月末）

NO	区 分	病 院 名	所 在 地
1	拠点病院	北海道がんセンター	札幌市
2	〃	手稲溪仁会病院	札幌市
3	〃	JA札幌厚生病院	札幌市
4	〃	恵佑会札幌病院	札幌市
5	〃	砂川市立病院	砂川市
6	〃	日鋼記念病院	室蘭市
7	〃	王子総合病院	苫小牧市
8	〃	市立旭川病院	旭川市
9	〃	北見赤十字病院	北見市
10	指定病院	函館中央病院	函館市
11	〃	札幌北楡病院	札幌市
12	〃	札幌共立五輪橋病院	札幌市
13	〃	北海道医療センター	札幌市
14	〃	深川市立病院	深川市
15	〃	市立室蘭総合病院	室蘭市
16	〃	製鉄記念室蘭病院	室蘭市
17	〃	伊達赤十字病院	伊達市
18	〃	苫小牧市立病院	苫小牧市
19	〃	旭川赤十字病院	旭川市
20	一般病院	札幌秀友会病院	札幌市
21	〃	道東勤医協釧路協立病院	釧路市
22	薬局	ふよう調剤薬局	苫小牧市
23	行政	北海道保健福祉部地域保健課	札幌市
24	行政	厚岸町	厚岸町
25	〃	福島町	福島町
26	法人	(株)セイショウ	札幌市
27	〃	(公財)北海道対がん協会(事務局)	札幌市
28	〃	(公財)北海道対がん協会札幌がん検診センター	札幌市
29	〃	〃 旭川がん検診センター	旭川市
30	〃	〃 釧路がん検診センター	釧路市

お問い合わせ

○(管理・運営)公益財団法人北海道対がん協会 Tel(011)-748-5511

○北海道保健福祉部健康安全局地域保健課がん対策グループ Tel(011)-204-5117

北海道のホームページ

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/kak/gan_fund_toppage.htm

7 がん征圧賛助会へのご入会案内

北海道対がん協会は、昭和4年に全国で初めて創立された対がん組織です。その使命には、がんに関する正しい知識の普及と早期発見のための検診事業の推進、がんの研究等があります。

現在、当協会が行っている検診から発見されるがんは、8割以上が治し得るがんです。そのことから、がん検診事業は多くの人命を救う事業と言えます。

北海道においても、がんは年々増え続け、今や2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで亡くなる時代となりました。

当協会では、がん征圧運動を広げるため、賛助会制度を設けております。

ご入会いただいた会員の皆さまから寄せられる会費は、がんに関する正しい知識を知ってもらうための教材を作成することに使用するほか、がん検診機器の整備、がん研究の援助などに使わせていただきます。

がん征圧事業の拡大強化のため、皆さまのあたたかいご支援をお願い申し上げます。

1. 賛助会員（継続して会費を納めて頂き、支援して下さる方）

個人会員 年1口 1,000円

（3口以上で税控除対象）

法人会員 年1口 10,000円

（口数に制限はありません）

2. 特別会員（寄付金を寄せられた方）

金額の多少にかかわらずお受けしております。

多くは香典返しに替えてのご寄附ですが、快気祝、還暦、古希など個人のお祝いや、チャリティイベントにちなんだご寄附などが寄せられております。

※賛助会費は、法人税、所得税、個人住民税の優遇措置があります。寄附金の税控除の手続きには領収書のみで対応できます。必要な場合は、各がん検診センターへお問い合わせください。

3. ご入会後は

がん征圧賛助会員として登録し、パンフレットや当協会の機関誌「しらかば」（年3回発行）等、がんに関する印刷物を作成ごとにお送りいたします。

4. お申し込み・お問い合わせ

詳細は最寄りのがん検診センターへご連絡ください。

公益財団法人北海道対がん協会 札幌がん検診センター 011-748-5511

旭川がん検診センター 0166-53-7111

釧路がん検診センター 0154-37-3370

日本人のためのがん予防法

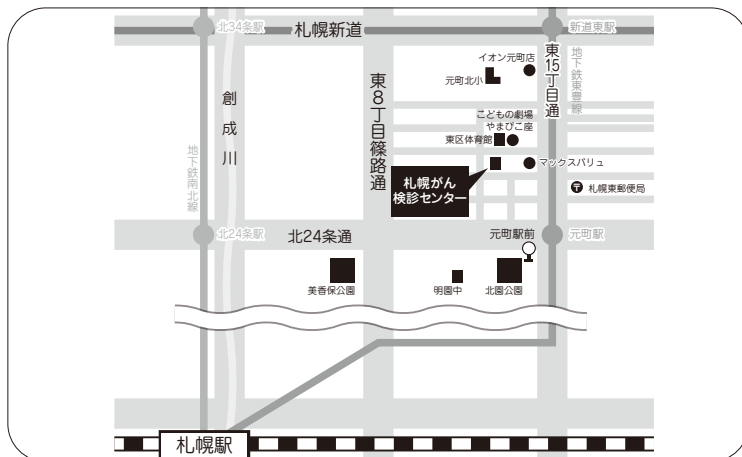
～現状において日本人に推奨できる科学的根拠に基づくがん予防法～

喫煙	タバコを吸わない。他人のタバコの煙を避ける。
飲酒	飲むなら、節度ある飲酒をする。
食事	食事は偏らずバランスよくとる。 *塩蔵食品、食塩の摂取は最小限にする。 *野菜や果物不足にならない。 *飲食物を熱い状態でとらない。
身体活動	日常生活を活動的に。
体形	適正な範囲に維持する。
感染	肝炎ウイルス感染検査と適切な措置を。機会があればピロリ菌検査を。

国立がん研究センターがん対策情報センター
「日本人のためのがん予防法」より抜粋



各がん検診センターの所在地



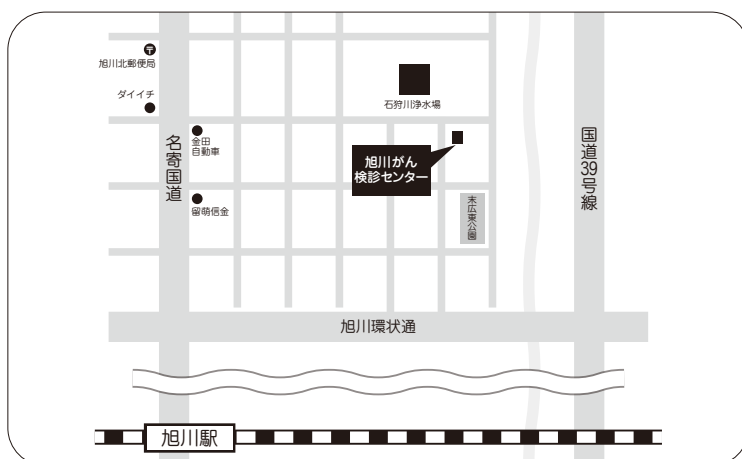
〒065-0026 札幌市東区北26条東14丁目1-15

代表Tel 011-748-5511

札幌がん検診センター

【アクセス】

- 地下鉄東豊線元町駅下車
(2番出口) 徒歩7分
- 中央バス(東70)元町駅前下車
徒歩7分



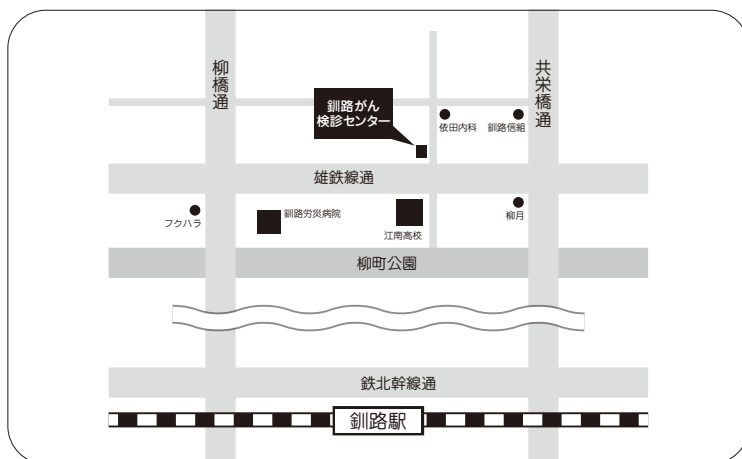
〒071-8122 旭川市末広東2条6丁目6-10

代表Tel 0166-53-7111

旭川がん検診センター

【アクセス】

- 道北バス
「末広1条7丁目」下車 徒歩10分
(2、5、6、7、12、14、15、32系統) ほか
「末広2条7丁目」下車 徒歩4分
(103、106系統)



〒085-0058 釧路市愛国東2丁目3-1

Tel 0154-37-3370

釧路がん検診センター

【アクセス】

- くしろバス
○美原線(63番)
「癌検診センター」下車 徒歩1分
- イオン昭和線(77番)
「愛国東2丁目」下車 徒歩1分
- 南北線(55番)
「愛国」下車 徒歩3分
- イオン釧路線(101番)
「愛国」下車 徒歩3分

令和 元 年 6 月 1 日

編集発行

公益財団法人 北海道対がん協会

札幌市東区北26条東14丁目
電話代表（011）748-5511